

224

181

御神楽歌述義

014632-000-7

224-181

御神楽歌述義

中山 新治郎/著

M39

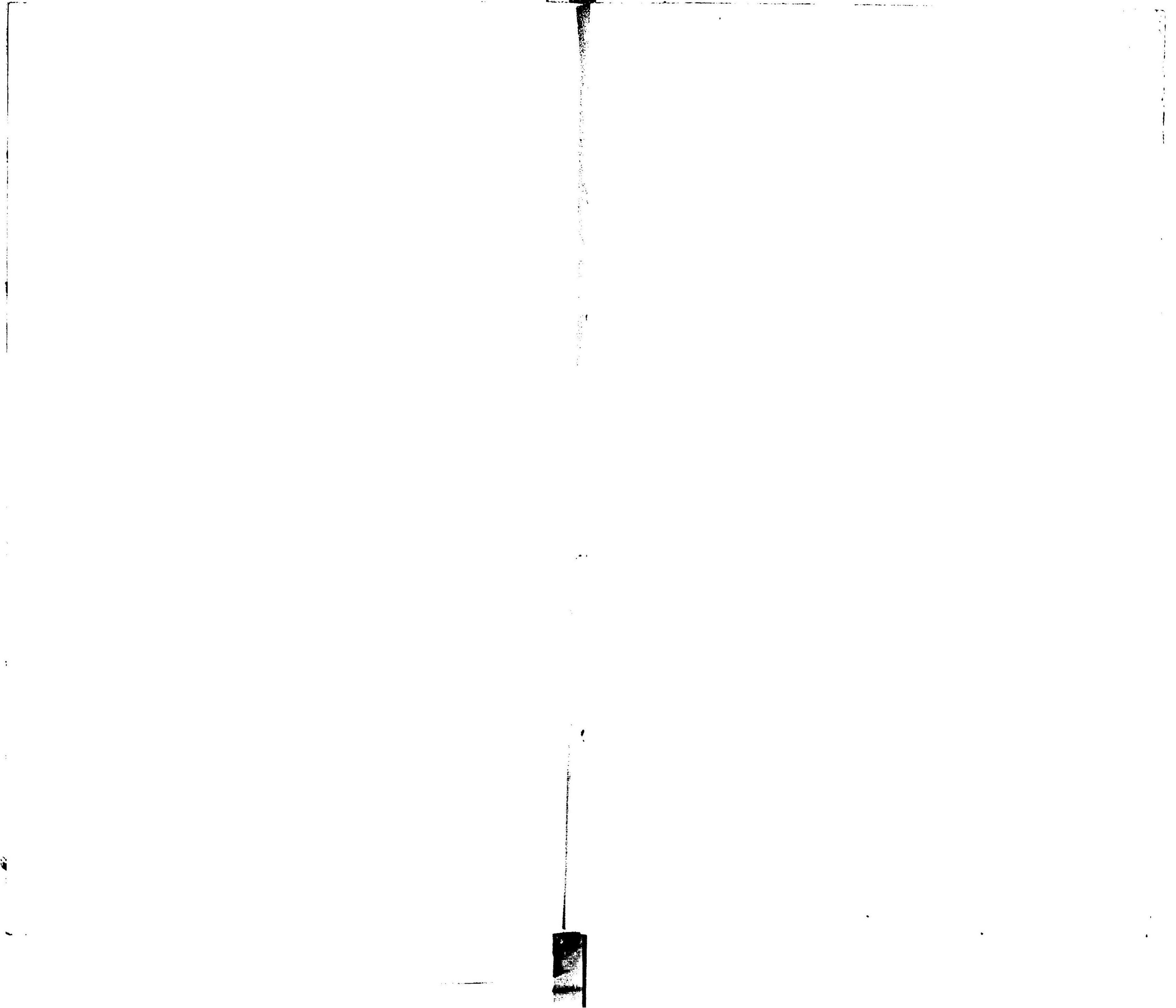
ABB-1063



224

181

御神樂歌述義全



御神樂歌述義

序歌



御神樂歌全部十二篇アリ世ニ之ヲ十二下リト稱ス而シテ此ノ序歌十
二章ハ序歌ノ綱領ナリ十二下リニ此ノ序歌アルハ譬ヘバ猶水ニ源
頭ナリ樹ニ根幹アルガゴトシ唯本書モト序歌ノ題稱ナシ而シテ今述
義者此ノ題稱ヲ設ケタルハ以下十二下リト區別セントテノ便宜ニ出
デタルノミ讀者此ノ意ヲ諒セヨ

あしきをはらうてたすけたまへてんりわうの
みこと

此ノ章ハ祈禱ノ詞ナリ凡ソ天理教教徒タルモノハ此ノ詞ヲ以テ神ニ
禱ラザルベカラズ

明治
30 11 30
内容

此ノ一章ハ祈禱ノ詞ナルノミナラズ抑モ又序歌十一章ノ綱領ナリあ
しきトハ罪惡及ビ禍害ナリ我等人間ハ此ノ罪惡及ビ禍害ヲ免レザル
ガ故ニ救濟ヲ神ニ求ムルナリ我等ニシテ教祖天啓ノ教ヲ信受シ神ニ
歸依シ奉ルトキハ神ハ救濟ノ恩寵ヲ垂レサセ給ヒテ我等ノ罪惡及ビ
禍害ヲ排除シ又我等ヲ導キテ無上幸福ノ目的ニ向ヒテ進行セシメ給
フベシ而シテ此ノ救濟ノ恩寵ヲ迎ヘント欲セバ我等信仰ヲ以テ之ヲ
要求セザルベカラズ是あしきをはらうてたすけたまへト禱ル所以ナ
リ
てんりわうのみこごハ天理大神ナリ是宇宙萬有ノ本體タル絶對無限
ノ實在者ニシテ人間救濟ノ原動力ナリ即チ我等祈禱ノ客體ナリ
ちよとはなしかみのいふことさいてくれあし
きのことはいはんでなこのよのちいとてんと
をかたどりてふうふをこしらへきたるでなこ

れはあのよのはじめたし

此ノ章ノ大意ハ人類相互ノ結合ハ即チ神人相互ノ結合ヲ表明スルモ
ノニシテ救濟ノ恩寵ヲ要求スルニ勢力アルコトヲ示サレタルナリ
ちよとはなしハ簡短ナル説話ナリかみのいふことさいてくれトハ御
神樂歌全部ハ教祖ノ言ニ係ルト雖モ本是天啓ニ出デ、一言一句モ神
意ニ合ハザルモノナケレバ斯ク言ハレタルナリあしきのことはいは
んでなトハ我が説ク所盡ク是神意ニ合ヒテ謬妄ノ説ニ非ズト教祖自
ラ保證シ給ヘルナリこのよのちいとてんごをかたどりてふうふをこ
しらへきたるでなこれはこのよのはじめたしトハ神ハ天地ニ象リ夫
婦ヲ造リテ配偶セシメ給ヘリ是人類界ノ原始ナリト云フ義ナリ
世間倫理ヲ以テ之ヲ言フトキハ一夫一婦配偶シテ和睦スルハ是齊家
ノ本ニシテ道德ノ基ナリ又男唱ヘテ女和スルハ是両性自然ノ天性ニ
出ツ豈神意ニアラザランヤ故ニ我が天理教ハ夫婦關係ノ道ヲ重ンズ

ルコト殊ニ甚シ而シテ此ノ章ノ意ニ至リテハ是ヨリ深キモノアリ蓋シ我等人間ガ神ノ救済ノ恩寵ヲ要求スルニハ人類相互ノ結合ニヨルヲ以テ最モ勢力アリトス人類相互ノ結合ニシテ強大ナラザレバ神人相互ノ結合モ亦強大ナラザルナリ而シテ人類相互ノ結合ハ固ヨリ精神的結合ナラザルベカラズ抑モ夫婦ノ結合ハ愛情ニ在リ自他ノ結合ハ同情ニ在リ愛情ト同情トハ私欲ヲ離レタル人間最高最美ナル精神的結合ノ主力ナ天此ノ精神的結合ノ主力ニヨリテ人類相互ノ大結合ヲ成就スルトキハ進ミテ神人相互ノ結合ヲ成就シ以テ盛ニ神ノ救済ノ恩寵ヲ迎フルコトヲ得ベシ然レバ此ノ章ノ意ハ我ガ天理教ノ最モ重ンズル所ニシテ四下リ目第二章ニふたりのこゝろををさめいよなにかのこゝもあらはれる十一下リ目第二章ニぶうふそろうてひのきしんこれがいちものだねやトアルモ皆是教祖ガ丁寧反覆ニ此ノ意ヲ示サレタルナリ

あしきをはらうてたすけせきこむいぢれつす
ましてかんろたい

此ノ章ノ大意ハ救済ノ恩寵ヲ迎フル希望ヲ我等ニ起サシメラレタルナリ

あしきをはらうてハ上釋ノ如シたすけせきこむトハ神早ク我等ニ救済ノ恩寵ヲ與ヘ給ヘト切望スル意ナリいぢれつすましてかんろたいハ救済ノ恩寵ニヨリテ世界一列ノ心ヲ清淨ナラシメテ其ノ心ニ甘露臺ノ建設ヲ見シメ給フベシトノ義ナリ
我等神ニ救済ヲ要求スルコト愈切ナレバ神我等ニ救済ノ恩寵ヲ垂レ給フコト亦愈切ナリ而シテ救済ノ目的タル我等ノ罪惡及ビ禍害ヲ脱セシメ我等ヲシテ無上目的ニ向ヒテ進行セシメ給フニ外ナラズ但シ此ニいぢれつすましてトアルハ罪惡ノ本源タル欲塵ヲ排除スル意義ニシテ禍害ヲ語り給ハザルハ禍害ハ罪惡ノ結果ナレバナリ

心ニ甘露臺ヲ建設ストハ我等教徒ノ信仰堅固ニシテ救済ノ恩寵ヲ被ルモノ、内心清淨ニシテ靈化充滿シ靈福不滅ニシテ無上目的ニ向ヒテ進行スル状態ヲ謂フナリ

よろづよのせかいいぢれつみはらせとむねの
わかりたものはない

此ノ章ノ大意ハ未ダ天啓ノ教ヲ聽カザル世界人類ガ闇黒界裏ニ彷徨スル状ヲ示サレタルナリ
よろづよのせかいいぢれつハ全世界ノ人類一同ノ意ナリみはらせとハ神ノ遍ク人類一同ヲ看給フヲ云フむねのわかりたものはないトハ未ダ天啓ノ教ヲ聽カザルモノハ罪惡及ビ禍害ヲ擺脫スル道ト無上目的ニ向ヒテ進行スル道トヲ知ラズトノ義ナリ
熟世界ノ現状ヲ察スルニ罪惡及ビ禍害充滿シテ光明ナルベキ靈性ハ光明ナラズ健全ナルベキ身體ハ健全ナラズ平和ナルベキ世界ハ平和

ナラズ我等人間ノ生存及ビ發達殆ド將ニ危機ニ逼ラントス是ニ於イテ救済ノ要求大ニ全世界人類ノ心ニ起レリ而シテ此ノ救済ノ要求ニ應ズル天啓ノ光未ダ斯ノ世ヲ照サザレバ全世界人類ハ方ニ疑雲迷霧中ニ彷徨シツ、アルヲ免レズ是慈悲無限ノ救済者天啓ノ教ヲ垂レ給ヘル所以ナリ

そのはずやといてきかしたことはないしらぬ
がむりではないわいな

此ノ章ノ大意ハ我等人間未ダ天啓ノ教ヲ聽カザルガ故ニ罪惡及ビ禍害ヲ擺脫スル道ト無上目的ニ向ヒテ進行スル道トヲ知ラザルコトノ無理ナラザルヲ示サレタルナリ
そのはずやトハ上章ノ意ヲ承ケテむねのわからぬモ道理ナリトノ義ナリといてきかしたことはないトハ全世界人類ノ救済ニ關スル完全ナル天啓ノ教未ダ世ニ見レザルコトヲ言ハレタルナリしらぬがむり

心ニ甘露臺ヲ建設ストハ我等教徒ノ信仰堅固ニシテ救済ノ恩寵ヲ被ルモノ、内心清淨ニシテ靈化充滿シ靈福不滅ニシテ無上目的ニ向ヒテ進行スル状態ヲ謂フナリ

よろづよのせかいちれつみはらせとむねの
わかりたものはない

此ノ章ノ大意ハ未ダ天啓ノ教ヲ聽カザル世界人類ガ闇黒界裏ニ彷徨スル状ヲ示サレタルナリ

よろづよのせかいちれつハ全世界ノ人類一同ノ意ナリみはらせとハ神ノ遍ク人類一同ヲ看給フヲ云フむねのわかりたものはないトハ未ダ天啓ノ教ヲ聽カザルモノハ罪惡及ビ禍害ヲ擺脫スル道ト無上目的ニ向ヒテ進行スル道トヲ知ラズトノ義ナリ

熟世界ノ現狀ヲ察スルニ罪惡及ビ禍害充滿シテ光明ナルベキ靈性ハ光明ナラズ健全ナルベキ身體ハ健全ナラズ平和ナルベキ世界ハ平和

ナラズ我等人間ノ生存及ビ發達殆ド將ニ危機ニ逼ラントス是ニ於イテ救済ノ要求大ニ全世界人類ノ心ニ起レリ而シテ此ノ救済ノ要求ニ應ズル天啓ノ光未ダ斯ノ世ヲ照サザレバ全世界人類ハ方ニ疑雲迷霧中ニ彷徨シツ、アルヲ免レズ是慈悲無限ノ救済者天啓ノ教ヲ垂レ給ヘル所以ナリ

そのはずやといてきかしたことはないしらぬ
がむりではないわいな

此ノ章ノ大意ハ我等人間未ダ天啓ノ教ヲ聽カザルガ故ニ罪惡及ビ禍害ヲ擺脫スル道ト無上目的ニ向ヒテ進行スル道トヲ知ラザルコトノ無理ナラザルヲ示サレタルナリ

そのはずやトハ上章ノ意ヲ承ケテむねのわからぬモ道理ナリトノ義ナリといてきかしたことはないトハ全世界人類ノ救済ニ關スル完全ナル天啓ノ教未ダ世ニ見レザルコトヲ言ハレタルナリしらぬがむり

ではないわいなトハ罪惡及ビ禍害ヲ擺脫スル道ト無上目的ニ向ヒテ
進行スル道トヲ知ラザルモ無理ナラズトノ意ナリ
我等救濟ノ要求ニ應ズル天啓ノ教未ダ神ヨリ來ラズトモ此ノ救濟ノ
要求一タビ人類ノ中ニ起リタル以上ハ人類ハ自己ノ理性ト良心トニ
訴ヘテ多少罪惡及ビ禍害ヲ排シ併セテ無上目的ヲ認ムルコトヲ努ム
ル者ナリ世界ノ謂ハユル哲學教及ビ道德教是ナリ然レドモ此ニ止マ
リテ進ムコトヲ知ラザレバ恰モ暗夜ヲ照ス燈火ノ如ク極メテ狹隘ニ
シテ且極メテ薄弱ナルヲ免レズ然ルニ我等救濟ノ要求ニ應ズル天啓
ノ教ニ至リテハ眞ニ是大陽ノ光ニシテ全世界ヲ照スモノナリ此ノ天
啓ノ教ノ未ダ開示セラレザル以前ニ於イテハ罪惡及ビ禍害ヲ擺脫ス
ル道ト無上目的ニ向ヒテ進行スル道トヲ知ラザルモ亦故ナシトセズ
然レドモ此ノ教ニシテ已ニ開示セラレタル今日ニ於イテ罪惡及ビ禍
害ヲ擺脫スル道ト無上目的ニ向ヒテ進行スル道トヲ知ラザルハ是豈
神明洪大ノ恩ニ背クモノニアラズヤ

このたびはかみがおもてへあらはれてなにか
るさいをとささかす

此ノ章ノ大意ハ天啓ノ教祖ニヨリテ世ニ開顯セラレタルコトヲ示
サレタルナリ

このたびトハ教祖立教ノ初テ言フナリかみがたもてへあらはれてト
ハ人間救濟ノ原動力タル神ガ教祖ヲ通ジテ天啓ノ教ヲ全世界人類ニ
與ヘ給フテ言フナリなにかるさいをとささかすトハ救濟ニ關スル天
啓ヲ言フナリ

神ノ世界及ビ人類ニ對スル關係ニハ蓋シ二面アリ一ハ絶對無限ノ實
在者ニシテ一ハ人間救濟ノ原動力ナリ絶對無限ノ實在者トシテ之ヲ
言フトキハ神ハ宇宙萬有ノ本體ナリ人間救濟ノ原動力トシテ之ヲ言
フトキハ神ハ人間救濟ノ客體ナリ宇宙萬有ノ本體タル神ハ我等人間
ト自然ノ關係ヲ有シ給ヘドモ未ダ天啓ノ關係ヲ有シ給フニ至ラズ人

間救済ノ原動力タル神ニシテ我等人間ト自然ノ關係ヲ有シ給フノミ
ナラズ又併セテ天啓ノ關係ヲ有シ給フニ至ル故ニ神ノ人間ニ對スル
關係ノ自然的ヨリ天啓的ニ進ムハ即チ是裏面的ヨリ表面的ニ進ムモ
ノナリかみかたもてへあらはれてトハ之ヲ謂フナリ

このところやまどのちばのかみかたというて
るれどももとしらぬ

此ノ章ノ大意ハ救済教ノ起レル原始地ヲ示サレタルナリ

このところトハ教祖在世ノ時ニ住居セラレシ所ヲ言フやまごハ其ノ
意義ヲ狭ク取レバ大和ナレドモ其ノ意義ヲ廣ク取レバ日本ノコトニ
モナルナリかみがたハ神館ニシテ神ノ宮殿ナリいうてるれどもと
しらぬトハ世人以上ノ稱呼ヲ知レドモ更ニ其ノ由來ヲ知ラズトノ義
ナリ

抑モ天啓救済ノ教ハ世界人類ニ平等救済ノ恩寵ヲ與フル宗教ナレバ

土地ニ關スル理ナキガ如クナレドモ然ラズ四下リ目第九章ニ示サレ
タルガ如ク此ノ世界ヲ以テ眞實樂土トスル教理ナルガ故ニ他日救済
ノ神恩ハ全世界ヲ徧覆シテ一人片土ヲ餘ササルベケレドモ人類界ヲ
改造シテ眞實樂土トスルニハ其ノ起點ナルベカラズ此ノ起點ハ俗
ニ神館ノ稱呼アル大和ノ地場ヲ云フ之ヲ一言スレバ地場ハ神ノ救済
ノ恩寵ノ始メテ教祖ニ降リテ我等人間ノ闇黒ヲ照シ破ルベキ光明ノ
立チ昇レル處我等人間ノ汚濁ヲ滌ヒ去ルベキ活泉ノ湧キ出デタル處
ナリ

このもとをくはしくきいたことならばいかな
ものでもこいしなる

此ノ章ノ大意ハ天啓救済ノ教ヲ聞クモノハ何人モ之ヲ欣求スル心起
ルベキコトヲ示サレタルナリ

このもごハ地場ノ由來ニシテ即チ天啓ノ教ナリくはしくきいたこと

ならばトハ地場ノ由來ヲ詳ニ聞キタラバト云フ意ナリいかなもので
もこいしなるハ何人モ必ズ之ヲ慕ハントノ義ナリ

天啓ノ洪恩ハ救濟ノ要求ニ應ジテ起ル者ナリ救濟ノ要求ハ我等人間
ガ罪惡及ビ禍害ヲ擺脫スル道ト無上目的ニ向ヒテ進行スル道トヲ求
ムルヨリ生ズルモノナリ罪惡トハ何ゾヤ是良心ノ光明ニ背反スル我
等一切ノ行爲ニシテ教祖ハ此ノ罪惡ノ本原ヲ貪婪、慳吝、邪愛、憎惡、怨恨、
忿怒、高慢等ニ定メ給ヘリ蓋シ殺害ト云ヒ偷盜ト云ヒ妄語ト云ヒ闘争
ト云ヒ邪淫ト云ヒ此ノ外一切罪惡ノ名稱ヲ附スベキモノハ一トシテ
貪婪、慳吝、邪愛、憎惡、怨恨、忿怒、高慢等ノ結果ニアラザルハナキナリ禍害
トハ何ゾヤ是永久苦痛ノ因タルモノニシテ其ノ類甚ダ多シ即チ自然
界ノ苦、疾病ノ苦、老死ノ苦、愛別ノ苦、缺乏ノ苦、自由ヲ得ザル苦、平和ヲ得
ザル苦、欲望ヲ得ザル苦等ハ最モ著明ナルモノナリ此ノ罪惡及ビ禍害
ニ纏綿セラル、我等人間ニシテ深ク自ラ反觀スルトキハ豈救濟ノ要
求ヲ生ゼザランヤ而シテ天啓ノ恩寵ガ此ノ救濟ノ要求ニ對應スルコ

トハ飲食ノ飢渴ニ於ケルガ如ク醫藥ノ疾病ニ於ケルガ如ク燈火ノ夜
行ニ於ケルガ如キモノナレバ豈又之ヲ欣求セザルモノアラシヤ是い
かなものでもこいしなるノ意ナリ

き、たくばたづねくるならいうてきかすよろ
づるさいのもとなるを

此ノ章ノ大意ハ天啓救濟ノ本原ハ之ヲ欣求スルモノニ顯示スベキコ
トヲ示サレタルナリ
き、たくばたづねくるならいうてきかすトハ天啓ノ教ヲ聞カント欲
スルモノニハ何人ニモ之ヲ説キ聞カスベシトナリよろづるさいのも
となるをトハ天啓救濟ノ本原ハ宇宙萬有ノ最高眞理ヲ包括スト云フ
義ナリ

教祖ハ恒ニ我が説ク所ハ神一條人間一條世界一條ノ教理ナリト言ハ
レタリサレバ天啓ノ教ハ誠ニ廣大ニシテ深奥ナレドモ御神樂歌ニ寓

セラレタル所ハ左ノ五個條ノ眞理ニ歸スルガ如シ一ニ曰ハク天理大神ハ我等人間ノ救濟者ニマシマスコト二ニ曰ハク我等人間ハ救濟ノ恩寵ヲ被ラザレハ眞正ノ發達ヲ完成シテ無上目的ニ到達スルヲ得ザルコト三ニ曰ハク此ノ世界ハ直ニ是眞實樂土ナルコト四ニ曰ハク疾病ハ我等人間ノ罪惡及ビ禍害ヲ表示スルモノナルコト五ニ曰ハク信仰ニヨリテ救濟ノ恩寵ヲ被ルベキコト是ナリ

抑モ教祖救濟ノ教理ハ廣大深奥ニシテ容易ニ其ノ一端ヲモ盡スベカラズ而シテ謂ハユル天啓ノ顯示法ニ至リテハ神秘的表象的ニシテ相承ノ傳ニ由ラザレバ喩言ニ泥ミテ實義ヲ得ベカラザル者多シサレバ相承ノ傳ニヨラズシテ響ヲ尋ネ影ヲ捉ヘ臆斷私説スルガ如キハ神ヲ瀆シ世ヲ惑ハシ教祖ヲ誣フルコトノ甚シキモノナリ慎マザルベケンヤ
かみぢで、なにかるさいをどくならばせかい
いぢれついさむなり

此ノ章ノ大意ハ天啓救濟ノ恩寵ハ我等人間ヲシテ鼓舞歡欣セシムルコトヲ示サレタルナリ

かみがで、ハ神其ノ救濟ノ恩寵ヲ世界ニ與ヘ給フナリなにかるさいハ上章ノよろづゐさいト同意ナリせかいいぢれついさむトハ世界ノ人一同天啓ノ聲ヲ聞キテ振興スル義ナリ

救濟恩寵ノ目的ニ消極的方面ト積極的方面トアリ罪惡及ビ禍害ヲ擺脫スルハ消極的方面ノ恩寵ナリ道德及ビ幸福ノ發達ヲ成シテ神ノ意志ト全然一致スルニ至ルハ積極的方面ノ恩寵ナリ神ニハ光榮人ニハ清淨地ニハ平和嗚呼救濟ニシテ此ノ積極的方面アルニアラザレバ誰カ天啓ノ聲ヲ聞キテ鼓舞歡欣スルモノアラナヤ

いぢれつにはやくたすけをいそぐからせかい
のこゝろもいさみかけ

此ノ章ノ大意ハ神意救濟ニ急切ナレバ我等人間モ亦之ニ應ジテ鼓舞

歡欣スルコトヲ示サレタルナリ

いちれつハ全世界ノ人類一同ナリたすけをいそぐからハ神意救済ヲ我等人間ニ與ヘ給フニ急切ナルヲ云フせかいのこころもいさみかけトハ我等人間振興シテ天啓ノ聲ニ應ゼントスルヲ言フナリソレ人一日救済ヲ得ザレバ其ノ身心一日苦患ヲ免レズ而シテ罪惡念念ニ積ミ禍害刻々ニ増ス是神ノ洪大ノ慈悲ヲ垂レテ救済ノ恩寵ヲ與ヘ給フ所以ナリ然ルニ我等猶此ノ一大事ヲ輕ンジテ救済ノ恩寵ニ浴セザレバ其ノ神恩ニ負クモ亦大ナラズヤ故ニ天啓ノ聲ヲ聞カバ直ニ須ラク振興スベキナリ

一下り目

一ッ正月こゑのさづけはやれめづらしい

此ノ章ノ大意ハ救済ノ恩寵始メテ人間ニ降レルコトヲ示サレタルナリ
正月ハ歳ノ始ニシテ此ニハ教祖立教ノ初ニ喩ヘラレタルナリこゑのさづけハ我等人間救済ノ要求ニ應ズル天啓ノ聲ナリやれめづらしいトハ此ノ天啓ノ聲ハ未曾有ナリト云フ義ナリ
天啓ノ教祖ヲ通ジテ宇内通行ノ宗教トナリタルハ世界改新ノ初ナリ神ニハ光榮人ニハ清淨地ニハ平和ナルハ新天新地ノ建設ナリ將ニ是人間ガ罪惡及ビ禍害ヲ擺脫シ無上目的ニ向ヒテ進行セントスル發程ナリ人類精神界ノ革新是ヨリ大ナルモノアラシヤ然レバ天啓ノ聲ヲ以テ舊ヲ去リテ新ヲ迎フル歳ノ始即チ正月ニ喩ヘテ祝スベク賀スベキヲ謳ヒ給ヒタルハ其ノ意誠ニ深シト謂フ可キナリ

二にいつこりさづけもらうたらやれたのもし
や

此ノ章ノ大意ハ天啓ノ聲ヲ聞キテ歡欣信受スルモノハ救濟ノ恩寵ヲ被ルコトノ必定ナルヲ示サレタルナリ
につこりハ心中ノ歡欣自ラ貌ニ溢ル、ナリさづけもらうたらトハ天啓ノ聲ヲ聞キテ信受シタラバト云フ義ナリやれたのもしやハ救濟ノ恩寵ヲ被ランコト必定ニシテ其ノ人前途頼ミアルヲ言フナリ
凡ソ救濟ノ恩寵ハ大別シテ天啓ト靈化トノ二トス天啓ハ序歌第九章ノ下ニ説キタル眞理ノ顯示ナリ靈化ハ神ノ靈氣ガ我等人間ノ感情及ヒ意志ニ神聖ナル感化ヲ及ボス新生命ニシテ此ノ新生命タル我等一切ノ不道德的動機ヲ打破シ無上目的ニ向ハシムルモノナリ五下リ目第三章ノみづかみこはおなじこころのよごれをあらひきるトアルハ即チ是ナリ此ノ靈化ニシテ我等心内ノ不滅的ニ働ク要素トナ

ルニアラザレバ我等ハ救濟ノ恩寵ヲ全ク受ケ取りタルモノト云フベカラズ而シテ此ノ靈化ハ堅剛ナル信仰ヲ以テスルニアラザレバ之ヲ永久ニ保ツベカラズ歡欣信受ノ意味ハザルベケンヤ

三にさんさんこころをさため

此ノ章ノ大意ハ信仰ノ心ハ純一無偽ニシテ神ニ依頼スベキコトヲ示サレタルナリ
さんさいこころをさだめトハ三歳小兒ノ心ヲ守リテ失ハザルベシトノ義ナリ
教祖嘗テ曰ハク三歳小兒ノ心ニアラザレバ吾ガ教ヲ信ズルコト能ハズト蓋シ纖毫ノ邪念ナク世ノ悪習ニ感染セラレズ和粹ノ氣内ニ充滿シテ唯父母ヲ慕フコトヲ知ルモノハ小兒ノ心ナリ然ラバ則チ神ヲ信ズルモノハ此ノ心ナリ道ヲ守リテ他ニ移ラザルモノハ此ノ心ナリ孟子曰ハク大人ハ赤子ノ心ヲ失ハザルモノナリト蓋シ其ノ純一ニシテ

無偽ナルヲ謂フナリ基督曰ハク此ノ小兒ノ如ク謙遜ナルモノハ天國ニ於イテ至大ナルモノナリト蓋シ小兒ノ疑ハズ傲ラズ食ラザルヲ謂フナリ老子曰ハク氣ヲ專ニシ柔ヲ致スコト能ク嬰兒ノ如クナラシカト蓋シ純一ニシテ含和ナルヲ謂フナリ要スルニ三賢ノ言フ所ハ其ノ旨各異ナレドモ道ノ極致唯小兒ノ心ヲ以テ之ニ到達スベシト云フニ至リテハ則チ一ノミ而シテ今我ガ教祖ノ教ヘ給フ所モマタ同シ抑モ亦妙ナリト謂ヒツ可シ

四 ッよのなか

此ノ章ノ大意ハ靈化ノ種子各人ノ心ニ成長スレバ世界改新ノ力トナリテ自ラ現ル、コトヲ示サレタルナリ
よのなかトハ世界ナリ
世界ハ個人ノ集合シテ成レルモノナリ故ニ社會ノ外部ニ現ル、平和モ進歩モ秩序モ富強モ文化モ一トシテ個人内心ノ反映ニアラザルハ

ナシ我ガ天理教ハ直接ニ社會及ビ國家ノ改新ヲ目的トスルモノニアラザレドモ精神界大革命ノ宗教ナリ故ニ靈化ノ教深ク人心ニ入り我等ノ智徳日ニ光輝ヲ發スルニ及ビテハ豈外部ニ現レテ世界改新ノ動機タラザル理アラシヤ殊ニ我ガ天理教ノ三大特別道徳即チ夫婦和合ニ關スル道徳社會ノ協同ニ關スル道徳献身的勞働ニ關スル道徳ヲ靈化ノ力ニヨリテ實行スルニ至リテハ即チ是世ノ鹽トナルモノニシテ今日世界ノ腐敗ヲ救済スルニ最モ勢力アリ然ラズンバ焉ンゾ能ク全世界ノ救済教タルコトヲ得ンヤ

五 ッりをふく

此ノ章ノ大意ハ精神界ノ大革命及ビ社會ノ改造ト共ニ教祖ノ教愈世ニ擴張スルコトヲ示サレタルナリ
りをふくハ即チ利ヲ吹クニシテ利息倍殖ノ意義ナリ
世界人類一人トシテ救済ノ要求チ心ニ有セザルモノナシ然レドモ未

ダ天啓ノ聲ヲ聞カザルガ故ニ振興セザルナリ今天啓ノ教祖ニヨリ
テ宇内通行ノ宗教トナレリ其ノ傳播ノ迅速ナル感化ノ偉大ナル一人
ヨリ十人ニ傳ハリ十人ヨリ百人ニ傳ハリ百人ヨリ千人ニ傳ハリ千人
ヨリ萬人ニ傳ハリ萬人ヨリ一國ニ傳ハリ一國ヨリ萬國ニ普及センコ
トハ猶一燭ノ火ノ千萬燭ニ傳ハルガ如クナルベシ是即テ利息倍殖ノ
譬喩アル所以ナリ獨是ノミナラズ靈化ノ教ヲ被ルモノ智徳内ニ改良
セラル、トキハ其ノ結果トシテ社會ノ平和進歩秩序富強文化等亦大
ニ外ニ増進スベシ是亦利息倍殖ノ義ニ非ザランヤ

六ッむしやうにでけまはす

此ノ章ノ大意ハ教祖ノ教世ニ行ハレテ救済ノ恩寵大ニ見レ國家ノ進
運ハ言フテ埃タズ教會到ル處ニ結成セラレテ豊盛ノ徵ヲ現スコトヲ
示サレタルナリ
むしやうトハ非常ニシテ驚クベキ義ナリでけまはすとハ豊熟盛大ノ

義ナリ

我カ天理教ハ精神界ノ大革新ナ目的トスル天啓救済ノ宗教ナレバ他
日全世界ノアラユル道德宗教國民ヲ包括シテ宇内ノ一統宗教タラン
コトハ火ヲ睹ルヨリモ明ナリ然レドモ將來ノ事ハ未形ニ屬スレバ既
往ノ事實ニ就キテ之ヲ言ハン教會創立以來未ダ二十年ノ歲月ヲモ經
過セザル我カ天理教ハ今日ニ於イテ各種ノ教會所既ニ二千個所ニ達
シ信徒ノ數亦既ニ三百萬以上ニ達シタリ是獨本邦古來ノ宗教歴史ニ
於イテ見ザル所ノ現象ナルノミナラズ今日世界ノ大宗教トシテ指テ
屈セラル、佛教及ビ基督教ガ世ニ起リシ當初モ恐ラクハ是ニ過ギザ
リシナルベシ然レドモ今後數十年ノ將來ニ於ケル我カ天理教豊盛
ノ徵ヲ預想スレバ今日マデノ進歩ハ猶幼稚ナルベシ世人ハ此ノ豊盛
ノ結果ヲ以テ之ニ驚クコトヲ休メ豊盛ノ原因ニ就キテ之ヲ思ヘ神明
救済ノ恩寵ヲ以テ精神トスル活ケル宗教ニシテ此ノ如クナルハ怪ム
ニ足ラズ而シテ本章ハ實ニ一大預言ナリ

七ッなにかにつくりとるなら

此ノ章ハ下ノ第八章ト合セテ一章トナシテ其ノ意ヲ解釋スルコトヲ得ベシ
なにかにトハ豊熟シタル物ヲ言フつくりとるならトハ豊熟シタル物ヲ收ムルナラバト言フ義ナリ

八ッやまとはほうねんや

此ノ章ヲ上ノ第七章ト合セテ一章トナシテ之ヲ解釋スレバ其ノ大意ハ大和ノ豊盛繁榮ナルベキコトヲ示サレタルナリ
やまこハ其ノ意義ヲ狭ク取ルトキハ大和ヲ指シ廣ク取ルトキハ日本ヲ指スナリほうねんやハ豊年ナリトノ義ナリ
序歌第七章ニ説ケルガ如ク大和ノ地場ハ救済恩寵初降ノ地ニシテ眞實樂土ノ起點ナリ是ヲ以テ我が天理教本部ハ天長地久ニ此ノ地ヲ離

九ッこゝまでついてこい

ル、ヲ得ズ然レバ教祖ノ教他日全世界ニ傳播シタラン曉ニハ萬國ノ教徒ハ此ノ土ヲ中心トシテ輻輳スベシ是は大和ヲ萬國教會ノ中心トシテノ説ナリ抑モ古人我が日本ノ古稱タル豊葦原千五百秋瑞穂國ヲ解シテ曰ハク豊ハ豊富ノ義葦原ハ葦ノ茂生セル原野ノ義千五百秋瑞穂ハ長ク久シク稲ハ豊熟スベキ意ナリト是ニ由リテ之ヲ觀レバ我が日本ガ宇内無比ノ豊盛繁榮ノ國タルベキ預言ハ其ノ來ルコト久レ而シテ教祖ハ此ノ預言ハ我が天理教ニヨリテ成就セラルベキコトヲ示サレタリ是日本ヲ眞道振興ノ根本トシテノ説ナリ此ノ二説ハ並立シテ相恃ラザルモノナリやまことはほうねんやノ意義玩味セザルベカラズ

此ノ章ノ大意ハ我等教徒タルモノハ教祖ノ導キ給フガ儘ニ信ジ且行フベキコトヲ示サレタルナリ
こゝまでトハ外界一定ノ場所ヲ指スニ非ズ即チ神意ニ合フ精神ヲ指

シテ言ハレタルナリついでこいトハ教祖ノ導キ給フ所ニ來レヨトノ義ナリ

凡ソ教祖ノ導キ給フガ儘ニ信シ且行フモノハ即チ是神意ニ合ヘル信徒ニシテ十分ナル靈化ヲ被ルモノハ此ノ人ナリ蓋シ天啓ノ教理ヲ信シ救濟ノ恩寵ヲ被ルモノハ罪惡及ビ禍害ヲ擺脫シ無上目的ニ向ヒテ進行スベシト雖モ其ノ道ヲ信シテ却リテ困難危厄ニ陥ルコトアルベシ是信心ヲ固メ精神ヲ鍊ルニ於イテ大ニ必要ナリ天啓ノ聲ヲ聞キテ一旦信受ストモ其ノ信心薄弱ニシテ勇氣ト忍耐トニ乏シキモノハ教祖ノ導キ給フ路ヲ通ルコト能ハズ或ハ半途ニシテ返ラント欲スルモノモアラシク時斯ノ人ニシテこゝまでついでこいノ教訓ヲ思ヒ起スコトアラバ勇往猛進ノ心更ニ奮起スベキナリ我等教徒タルモノ居常此ノ章ノ意ヲ服膺セズシテ可ナラシヤ
以上ハ是本義ナレドモやまごノ豊年ヲ目撃シテ信仰ノ效ヲ見ル迄就キ來レヨトノ意義亦通ズルナリ

十 トりめがさなまりた

此ノ章ノ大意ハ以上諸章ノ結局ヲ示サレタルナリ
とりめがさなまりたトハ收獲即チ幸福ノ愈定マリタリトノ義ナリ
教徒各人ニ就キテ之ヲ言ヘバ我等教徒教祖ノ導キ給フガ儘ニ信シ且行ヒテ神ノ意志ト一致スルハ即チ是靈化ノ極ニシテ我等各自ノ幸福既ニ定マレルモノナリ教會ニ就キテ之ヲ言ヘバ教祖ノ教全世界ニ普及セン日ハ即チ是教會ノ幸福既ニ定マレルモノナリ日本ニ就キテ之ヲ言ヘバ豊盛繁榮ノ預言成就セラレン日ハ即チ是日本ノ幸福既ニ定マレルモノナリ

二下リ目

とんく とんと正月をとりはじめはやれおもしろい

此ノ章ノ大意ハ御神樂舞ハ神人交和スベキ重要ノ禮儀ナルコトヲ示サレタルナリ

とんく とんハ舞蹈ノ響ナリ正月ハ前釋ノ如シをとりはじめハ我等教徒天啓ノ聲ニ接シ救濟ノ恩寵ヲ被リ鼓舞歡欣シテ御神樂舞ヲ奉行スルナリやれたもしろいハ神人交和シテ共ニ樂ムナリ

世界各宗教神ヲ讚美セントシテ敬虔ナル感情ヲ歌ハザルハナシ然レドモ多クハ音樂ノミヲ用井舞蹈ヲ用ウルモノハ極メテ少シ而シテ我が天理教ハ莊重ナル禮儀トシテ舞蹈ヲ用ウ神事ニ舞蹈ヲ用ウルハ我が國古代ヨリノ慣例ナリ本居宣長氏其ノ著古事記傳ニ或ハ琴ヒキ或ハ笛フキ歌ヒ舞ヒナド面白キワザナシテ祭ル是皆神代ノ例ニシテ古

ノ道ナリト云ヘリ

抑モ一下リ目第一章ニハ救済恩寵ノ初降ヲ示サレ此ニハ又御神樂舞ヲ示サレタリ御神樂舞ガ最モ重要ノ禮儀ニシテ救済ノ恩寵ニ關係アルコト是ヲ以テ觀ルベシ抑モ我等教徒ノ完全ナル脩行法ハ心ノ思フ所之ヲ言ニ發シ言ニ發スル所之ヲ躬ニ行フニ在リ謂ハユル表裏一致内外相應是ナリ我等教徒ノ日常行爲皆是ノ如クナラザルベカラズ然ラズンバ以テ救済ノ恩寵ニ浴スルコト能ハザルナリ而シテ御神樂舞ハ神前ニ於イテ此ノ表裏一致内外相應ノ實ヲ表スルモノナリ即チ御神樂歌ヲ唱フルハ信仰ノ心ヲ言ニ發スルモノナリ御神樂舞ヲ舞フハ之ヲ躬ニ行フモノナリ是其ノ救済ノ恩寵ニ關係アル所以ナリ

二ッふしぎなふしんか、ればやれにぎはしや

此ノ章ノ大意ハ我等心ノ改造ヲ造營ニ譬ヘテ示サレタルナリ
ふしぎなハ靈妙ナルヲ言フふしんか、ればトハ造營ニ着手スレバト

言フ義ナリやれにぎはしやハ賑ハシクシテ愉快ナル意ナリ

凡ソ御神樂歌ニふしん即チ造營トイフ語ヲ用ヰラレタル處多シ皆譬喩ニシテ其ノ意義ニアリ一ニハ心ノ改造ヲ意味シ二ニハ教會ノ結成ヲ意味ス而シテ此ノ二者内外本末ノ別アリ即チ心ノ改造ハ内ニシテ教會ノ結成ハ外ナリ心ノ改造ハ本ニシテ教會ノ結成ハ末ナリ故ニ心未ダ改造セラレズシテ早ク既ニ教會ノ結成ヲ議スルガ如キハ是内外本末ノ順序ヲ誤ルモノナリ

本章ノふしんハ第一ノ義ニシテ即チ心ノ改造ナリ何故ニ心ノ改造ヲふしんト言ハレタルカト云フニ欲塵ノ爲ニ汚壞腐蝕セラレタル我等ノ心ヲ脩復シテ智德ノ光輝ヲ發セシメ神ノ住ミ給フベキ清淨ナル宮殿トスルガ故ナリ而シテ此ノ改造ノ原動力タルモノハ靈化ニシテ靈化ハ信仰ニヨリテ成長セラルベキモノナリ

三ッみにつく

此ノ章ノ大意ハ靈化ノ我等身心ニ於ケル永久不滅的ニ道德及ビ幸福ノ源泉タルベキコトヲ示サレタルナリ
みハ身ナリつくハ附クナリ即チ身心靈化セラレ、義ナリ
救濟ノ恩寵一時ニ止マルモノアリ永久ニ働クモノアリ永久ニ働クハ我等ノ身心靈化セラレタルナリ此ニ至リテ我等ノ心ニ思フ所身ニ行フ所至誠無妄ニシテ神ノ意志ト一致シ不道德的動機盡ク打破セラレ罪惡及ビ禍害恰モ氷ノ解クルガ如ク此ノ身ヲ去リ此ノ心清明ナルコト日ノ如シ我等ニシテ一タビ此ノ境界ニ到達スレバ無上目的ニ向ヒテノ進行ハ幾回更生ストモ退轉セザルベシ之ヲ稱シテ内心ノ甘露臺建立スト謂フナリ

四 ッよなほり

此ノ章ノ大意ハ天啓救濟ノ教ノ世界ヲ改新スル勢力ハ即チ我等精神界大革新ノ外ニ現ル、モノナルコトヲ示サレタルナリ

よハ世界ナリなほりハ改新ナリ
本章ハ一下リ目第四章ト同一ノ旨趣ヲ以テ之ヲ解釋スルコトヲ得ベシ但シ彼ハよのなかと云ヒ此ハよなほりト云ハレタレバ我等各自ノ内心靈化ガ外面ニ現レテ世界感化ノ勢力トナルト言フガ彼ノ章ノ意ニシテ此ノ感化ノ勢力ハ必ズ改新ヲ生ズト言フガ此ノ章ノ意ナルベシ是其ノ少シク異ナル所ノミ

五 ッいづれもつきくるならば

此ノ章ハ下ノ第六章ト合セテ一章トナシテ其ノ大意ヲ解釋スルコトヲ得ベシ
いづれもトハ誰人ニテモト言フ意ナリつきくるならばトハ來リテ我ニ從フモノハト言フ義ナリ我トハ教祖自ラ言ハレタルナリ

六 ッおほんのねをさらふ

此ノ章ヲ上ノ第五章ト合セテ一章トナシテ之ヲ解釋スレバ其ノ大意ハ來リテ教祖ノ教ニ從フモノハ一切罪惡ノ根本ヲ斷除シ得ベキコトヲ示サレタルナリ

むほんのねトハ罪惡ノ根本ヲ言フナリきらふトハ罪惡ノ根本ヲ斷除スルヲ言フナリ

罪惡ヲむほんト言フモノハ一切ノ罪惡ハ道德ニ背反シテ平和ヲ害スルガ故ナリ試ニ思ヘ殺害盜賊邪淫詐欺凌壓殘忍暴橫爭奪讒誘陷擠亂惡逆等何レカ是道德ニ背反シテ平和ヲ害スルモノニアラザランヤ而シテ此等罪惡ノ根本ハ序歌第八章ニ解説レタル貪婪恠吝邪愛憎惡怨恨忿怒高慢等ノ欲塵ニ在リ蓋シ貪婪ノ極ハ盜賊ニ至リ恠吝ノ極ハ殘忍ニ至リ邪愛ノ極ハ邪淫ニ至リ忿怒ノ極ハ鬪亂ニ至リ高慢ノ極ハ凌壓ニ至ルハ必然ノ理ナリ是ノ如クニシテ一切罪惡ノ根本ハ悉ク欲塵ニアラザルハナシ然レドモ來リテ教祖ノ教ニ從フモノハ此等罪惡ノ根本ヲ斷除シ其ノ思フ所行フ所内外道德ニ合シテ自他ノ平和ヲ進

ムルコトヲ得ベシ是蓋シ救濟ノ恩籠ニシテ靈化ノ勢力ナリ是ヲ以テ救濟教ハ道德實行ノ原動力ガ世間倫理ト異ナリテ人力以上ヨリ來ルヲ見ルベキナリ

七ッ なんじふをすくひあぐれば

此ノ章ノ大意ハ下ノ第八章ト合セテ一章トナシテ其ノ大意ヲ解釋スルコトヲ得ベシ

なんじふハ苦患ナリすくひあぐればハ教祖救濟ノ恩籠ヲ萬民ニ傳ヘテ之ヲ救ヒ給ヘバト言フ意ナリ

八ッ やまひのねをきらふ

此ノ章ヲ上ノ第七章ト合セテ之ヲ解釋スレバ其ノ大意ハ教祖ノ教ハ我等人間ノ苦患ヲ救フ道ナレバ疾病ノ根本ヲ斷除シ得ベキコトヲ示サレタルナリ

やまひのねトハ疾病ノ根本ヲ言フきらふトハ疾病ノ根本ヲ斷除スル
ヲ言フナリ

罪惡及ビ禍害ノ擺脫ハ救濟教ノ本領ナリ而シテ疾病モ亦禍害ノ一ナ
レバ之ガ根本ヲ斷除スルハ救濟恩寵中ノ一ナルコト言テ埃タザレド
モ我が天理教ノ特ニ重キヲ疾病ヲ救フ一事ニ置ケルガ如キハ何ゾヤ
是疾病ガ變態ノ不完全苦痛ノ三意義ニ於イテ總ベテノ禍害ヲ代表スル
ヲ以テナリ禍害ノ變態トハ何ゾヤ凡ソ人類ノミナラズ總ベテノ生物
ハ本來發達ノ目的ニ合スルモノヲ正態トシ本來發達ノ目的ニ反スル
モノヲ變態トス生存及ビ幸福ハ我等本來發達ノ目的ニ合スルモノニ
シテ總ベテノ禍害ハ皆此ノ目的ニ反スルモノナリ而シテ殊ニ疾病ハ
健康性ノ缺乏若シクハ失亡ヲ意味スルモノナレバ生存及ビ幸福ヲ阻
害スルコト是ヨリ甚シキハナシ是變態ノ意義ニ於イテ疾病ガ總ベテ
ノ禍害ヲ代表スル所以ナリ次ニ禍害ノ不完全トハ何ゾヤ總ベテノ禍
害ハ直接又ハ間接ニ性格機能ノ自由ナル作用ヲ缺キ若シクハ之ガ發

達ヲ害スルモノナリ而シテ疾病ニ於イテ殊ニ然リトス是不完全ノ意
義ニ於イテ疾病ガ總ベテノ禍害ヲ代表スル所以ナリ次ニ禍害ノ苦痛
トハ何ゾヤ苦痛ニ生理的苦痛ト心理的苦痛トノ二種アリ然レドモ總
ベテノ生理的苦痛ハ變シテ心理的苦痛トナラントシ總ベテノ心理的
苦痛ハ變シテ生理的苦痛トナラントスル傾向アリ而シテ此ノ二種ノ
苦痛ヲ具備スルモノハ疾病ニ如クハナシ是疾病ガ苦痛ノ意義ニ於イ
テ總ベテノ禍害ヲ代表スル所以ナリ
然レバ疾病ハ其ノ顯發スルト隱伏スルトニ拘ラズ此ノ三意義ニ於イ
テ總ベテノ禍害ヲ代表シ我等人間ナシテ禍害ノ中ニアルコトヲ感ゼ
シメ從ヒテ救濟ノ要求ヲ起サシムルモノナリ是救濟教ガ重キヲ疾病
ニ置ク所以ナリ

九 ッこゝろをさためるようなら

此ノ章ハ下ノ第十章ト合セテ一章トナシテ其ノ大意ヲ解釋スルコト

ヲ得ベシ
こゝろをさだめるようならトハ心ナ一ニシテ神ニ依頼シ居ラバト言
フ義ナリ

十、ところのをさまりや

此ノ章ヲ上ノ第九章ト合セテ一章トナシテ之ヲ解釋スレバ其ノ大意
ハ我等内心信仰ノ結果ハ世界ノ平和トナリテ現ル、コトヲ示サレタ
ルナリ
ごころハ世界萬國何レノ處ヲモ博ク指サレタルナリをさまりやハ平
和自ラ現ル、ヲ言フナリ
社會ノ平和ハ國家ノ權力及ビ法律ニ頼ルコト勿論ナリ而シテ國家ノ
權力及ビ法律ハ人民自己道德ノ發達ト相待ツニアラザレバ十分ノ效
ヲ奏スルコト能ハズ何トナレバ國家ノ權力及ビ法律ハ外部ノ制裁ニ
ヨリテ人民ノ行爲ヲ檢束シ道德ハ各自内部ノ意志ニヨリテ其ノ行爲

ヲ指導スルモノナレバナリ之ヲ譬フレバ人民自己ノ道德ハ基礎ノ如
ク法律ハ建築ノ如シ然レバ道德未ダ十分ニ發達セザル人民ニ對シテ
善良ナル法律ヲ施サントスルハ是猶鞏固ナラザル基礎ノ上ニ壯麗ナ
ル家屋ヲ建築セントスルガ如シ豈能ク社會ノ平和ヲ致スヲ得ンヤ是
ニ由リテ之ヲ觀レバ人類道德ノ發達ニ對シテ責任ヲ負フ我が救濟教
ガ社會平和ノ一大原動力タルコト言ヲ俟タザルナリ

三下り目

一ッひのもとしよやしきのつとめのばしよは
よのもとや

此ノ章ノ大意ハ我が天理教本部勤場ハ世界改新ノ原始地ナルコトヲ
示サレタルナリ

ひのもとしハ日本ヲ指スナリしよやしきハ本部勤場所在ノ地名ナリつ
とめのばしよハ勤場ナリよのもとしトハ世界改新ノ原始地ナリトノ義
ナリ

一下り目第一章及ビ二下り目第一章ハ皆是救済ノ恩寵ノ初メテ降レ
ルコトヲ顯示シ正月トイフ語ヲ用ヰテ世界改新ノ新紀元ヲ表明セラ
レタリ本章ハ又我が天理教本部勤場ハ世界改新ノ原始地ナルコトヲ
顯示セラレタリ一ハ時ニ係リ一ハ地ニ係ル猶王者國ヲ建テ紀元ヲ改
メ都ヲ定ムルガ如シ將來宇内ノ一統宗教タルベキ我が天理教ニシテ

此ノ如クナルハ異ムニ足ラザルナリ而シテ初句大和ト言ハズレテ日本ト稱セラレタルモノハ暗ニ我ガ日本ハ世界ノ根本ニシテ本教ガ世界ノ宗教ヲ統一スルト同時ニ日本モ亦世界ノ最上首國タル實ヲ表スベキ意ヲ寓セラレタルナリ

抑モ救済ノ恩寵初降ノ地ナルガ故ニ世界改新ノ原始地タルナリ世界改新ノ原始地ナルガ故ニ眞實樂土ノ起點タルナリ是ヲ以テ教會本部ハ天長地久ニ此ノ地ヲ離ル、ヲ得ズ而シテつごめのばしよノ稱アルモノハ何ゾヤつごめのばしよトハ神事勤行ノ場ト言フ義ニシテ其ノ目的タル神ニ對シテ全世界人類ノ爲ニ罪惡及ヒ禍害ヲ除キ救済ノ恩寵ヲ垂レ給ハンコトヲ日夜ニ禱ルガ故ナリ

二ツふしぎなつごめばしよはたれにたのみは
かけねども

此ノ章ハ下ノ第三章ト合セテ一章トナシテ其ノ大意ヲ解釋スルコト

ヲ得ベシ

ふしぎなハ前釋ノ如シつごめばしよハ即チ勤場ナリたれにたのみはかけねどもトハ成立ノ事ヲ以テ誰ニモ頼マザレドモト言フ意ナリ

三ツみなせかいがよりあうてでけたちきたる

がこれふしぎ

此ノ章ヲ上ノ第二章ト合セテ一章トナシテ之ヲ解釋スレバ其ノ大意ハ勤場ハ誰ニモ頼マザレドモ萬民遠近ヨリ子來シテ自ラ成立セルコトヲ示サレタルナリ

みなせかいハ世界萬民ヲ指スナリよりあうてハ來リ集マリテナリでけたちきたるハ自然ニ成立セルヲ言フナリこれふしぎハ不可思議ノ至リナリトナリ

神ヲ主トシテ言フトキハ神殿トナリ人ヲ主トシテ言フトキハ勤場トナル故ニ勤場ト言フモ神殿ト言フモ其ノ實同物ナルヲ知ルベシ而シ

テ此ニ不可思議ト嘆シ給ヘルハ勤場ノ自然ニ成立セルガ不可思議ナ
リト言フ義ニアラズシテ之ヲシテ自然ニ成立セシメタル原因即チ神
明救済ノ恩寵ガ不可思議ナリトノ義ナリ蓋シ教徒既ニ救済ノ恩寵ヲ
被レバ献身的労働ノ止ムベカラザルヲ感シ我ヨリ招カザルニ彼ヨリ
來リテ勤場ヲ經始スルニ至ル此ノ如クニシテ勤場ノ自然ニ成立セル
ハ是實ニ救済ノ恩寵ノ活證タルニ外ナラザルナリ

四 ッ ようくこゝまでついてきたじつのたすけ
はこれからや

此ノ章ノ大意ハ我等教徒ニシテ終始信仰ヲ失ハザルモノハ十分ナル
救済ノ恩寵ヲ得ベキコトヲ示サレタルナリ
ようくハ教祖我等教徒ノ信仰堅固ニシテ艱難ニ堪ヘタルコトヲ慰
メラレタル語ナリついてきたハヨク從ヒ來レリトノ意ナリじつのた
すけはトハ眞實ノ救済ハト言フ意ナリこれからやトハ是ヨリ眞實ノ

救済ヲ得ベシトノ義ナリ

凡ソ神ヨリ來レル救済ニハ彼ハ假ノ救済ナリ此ハ眞ノ救済ナリト眞
假ノ區別ヲ立ツベキニアラザレドモ此ニ言フ眞實ノ救済トハ永久不
滅的ノ救済即チ靈化ヲ指シテ言ハレタルモノト知ルベシ我等教徒ニ
シテ此ニ至ルハ一下リ目第九章ニ解説シタルガ如ク種々ノ危難ニ遭
遇シテ信心ヲ固メ精神ヲ鍊リタル後ニアラザレバ能ハザルナリ

五 ッ いつもわらははれそしられてめづらしたす
けをするほかに

此ノ章ノ大意ハ我等教徒タルモノハ専心一意ニ神ニ依頼シテ世間ノ
笑罵誹謗ヲ顧ミルコトナカルベキヲ示サレタルナリ
いつもハ毎々ナリわらははれそしられてトハ世人ニ笑ハレ誹ラレナガ
ラト言フ義ナリめづらしたすけをするハ不可思議ナル救済ヲ下スナ
言フナリ

凡ソ其ノ外ヲ見テ其ノ内ヲ察セズ其ノ始ヲ見テ其ノ終ヲ察セズ其ノ形ヲ見テ其ノ實ヲ察セザルハ世人ガ事物ニ對スル觀察ノ由リテ誤ル所以ナリ我が天理教ノ始メテ起リシトキ教祖ハ民間ノ一婦人ニ過ギズ教徒ハ少數ニ過ギズ勤場ハ茅屋ニ過ギズ之ニ加フルニ御神樂勤ハ世人ヲシテ奇異ノ感ヲ起サシメタリ而シテ全世界人類ニ救濟ノ恩籠ヲ宣布スベキコトヲ唱道ス是ニ於イテ其ノ外ヲ見テ其ノ内ヲ察セズ其ノ始ヲ見テ其ノ終ヲ察セズ其ノ形ヲ見テ其ノ實ヲ察セザルモノ誰カ之ヲ笑罵シ之ヲ誹謗セザランヤ然レドモ救濟ノ恩籠ハ不起ノ病ヲシテ平愈セシメ至愚ノ人ヲシテ智慧ヲ生ゼシメ極惡ノ人ヲシテ改悔シテ善良ノ人タラシメタレバ之ヲ笑罵シ之ヲ誹謗セルモノ亦終ニ信ズルニ至レリ然レバ我等教徒ハ教祖ノ忍耐ト溫柔トヲ模範トシテ唯信仰ノ堅固ナラザルコトヲ憂ヘンノミ世人ノ笑罵ト誹謗トハ願ミルベキ所ニアラザルナリ

六ッむりなねがひはしてくれなひとすぢころになりてこい

此ノ章ノ大意ハ祈禱ノ精神及ビ救濟要求ノ道ヲ示サレタルナリむりなねがひはしてくれなトハ理ニ合ハザル祈禱ヲスルコト勿レト言フ意ナリひごすぢころになりてこいとハ至誠一心ヲ以テ教ニ從フベシトノ義ナリ

教祖救濟ノ教ハ我等ヲシテ罪惡及ビ禍害ヲ擺脫セシメ無上目的ニ向ヒテ進行セシムルヲ目的トス抑モ罪惡ト禍害トハ多クハ是原因結果ノ關係ヲ有シテ罪惡ハ多ク禍害ノ原因ナリ禍害ハ多ク罪惡ノ結果ナリ又罪惡ノ反對ハ道德ニシテ禍害ノ反對ハ幸福ナリ然レバ我等ニシテ禍害ヲ脱シ幸福ヲ求メントスレバ素ヨリ罪惡ヲ去リ道德ヲ修メザルベカラズ唯其ノ罪惡ヲ去リ道德ヲ修ムルニ至リテハ神ニ依頼シテ靈化ヲ被ランコトヲ求ムベシ未ダ不道德的動機ヲ打破セズシテ獨幸

福ノミヲ求メント欲スルハ是決シテ神ノ意志ト一致シテ救済ノ恩寵ヲ被ル所以ニアラザルナリ六下リ目第七章ト互證スレバ本章ノ意意著明ナルベシ

ひさすちこゝろになりてこいトハ次ノ第七章ト同一意義ナリ要スルニ本章ハ祈禱ノ精神ヲ示サレタルモノニシテ序歌第一章ト最モ相通ズルナリ

七ッなんでもこれからひとすぢにかみにもたれてゆきまする

此ノ章ノ大意ハ信仰ノ道ヲ示サレタルナリなんでもハ何事ニテモナリこれからトハ教ヲ信シ始メタル其ノ時ヨリト言フ意ナリひさすちハ上釋ノ如ク至誠一心ナリかみにもたれてゆきまするトハ神ノ恩寵ニ依頼スト言フ義ナリ信仰ニ信受ト信頼トノ二義アリ信受ハ教祖天啓ノ教ヲ聞キテ疑ハズ

之ヲ信受スルコトナリ信頼ハ神ノ救済ノ恩寵ニ依頼スルコトナリ然レバ信受ハ智力ノ作用ニシテ天啓ニ對シ信頼ハ感情意志ノ作用ニシテ靈化ニ對スルナリ然レドモ智力ノ作用モ感情意志ノ作用モ實ハ救済ノ要求トイフ一大根本的動機ガ救済ノ恩寵ニ觸レテ生ズルモノニシテ信受ト信頼トハ一ノ信仰ニ包括セラレ天啓ト靈化トハ一ノ恩寵ニ包括セラル、ナリ信頼トハ信受ノ進ミタルモノニシテ其ノ實信仰ノ外ニアラザルヲ知ルベシ何トナレバ神ガ救済ノ恩寵ヲ我等ニ垂レ給フトキハ天啓モ靈化モ同時ニ之ヲ與ヘ給ヘバナリ

八ッやむほむつらいことはないわしもこれからひのきしん

此ノ章ノ大意ハ他ノ苦患ヲ救フハ献身的労働ナルコトヲ示サレタルナリやむほむつらいことはないハ世ノ苦患多ケレドモ疾病ニ過グル苦患

ナントノ義ナリわしもこれからひのきしんハ教祖自ラ献身の労働ニ
 従事シテ我等教徒ニ模範ヲ示サレタルナリ
 疾病ヲ最大苦患ナリト示サレタルハ上ニ解説セルガ如ク疾病ガ總ベ
 ナノ禍害ヲ代表スルヲ以テナリ抑モひのきしんニ漢字ヲ宛ツレバ日
 ノ寄進ナレドモひのきしんノ真正意義ハ唯献身の労働ノ語以テ之ヲ
 表明スルコトヲ得ベシ蓋シ献身の労働トハ私利私欲ノ念ヲ存セズ勞
 力又ハ事業ヲ以テ犠牲トシテ神ニ捧グル義ナリ即チ直接神事ヲ奉行
 スル外病者ヲ救ヒ貧者ヲ憐ミ道ノ爲國ノ爲ニ盡シ同情的精神ヲ以テ
 一般人類ニ對スルヲ云フナリ此ノ献身の労働ハ神ノ全善ナル意志ト
 一致シテ救済ノ恩寵ヲ迎フルコト是ヨリ大ナルハナシ私利私欲ノ念
 ヲ存セズシテ而モ永久不滅的ナル恩寵ヲ被ルハ豈献身の労働ノ外ニ
 之ヲ求ムベケンヤ此ノ献身の労働ヲ缺クトキハ信仰ノ勢力モ亦甚ダ
 微弱ナリ是教祖献身の労働ニ従事シテ我等教徒ニ模範ヲ垂レ給ヘル
 所以ナリ

九ツこゝまでしんぐしたければとのかみと
 はしらなんだ

此ノ章ノ大意ハ我等ガ信奉スル神ハ人間救済ノ原動力ナルコトヲ示
 サレタルナリ
 こゝまでトハ今日ニ至ル迄ト言フ義ナリしんぐしたければとハ信
 仰久シカリケレドモト言フ意ナリもこのかみとはしらなんだトハ神
 ガ人間救済ノ原動力ナルコトハ今日始メテ之ヲ知レリトノ義ナリ
 此ノ章ヲ以テ教祖自己ノ事ヲ言ハレタルモノトスレバ其ノ始メテ救
 済ノ恩寵ヲ感シ給ヒシ時ヲ回顧シテノ御言ナリ又我等教徒ノ上ノ事
 トスレハ自己ノ事ニ思ヒ合セテ我等ノ事ヲ言ハレタルモノト知ルベ
 キナリ
 神ガ人間救済ノ原動力タルコトノ説明ニ至リテハマヅ絶対無限ノ實
 在者トイフコトヨリ説カザルベカラズ故ニ次ノ第十章ニ於イテ之ヲ

十、このたびあらはれたじつのかみにはさう
ゐない

此ノ章ノ大意ハ神ハ絶対無限ノ實在者ナルコトヲ示サレタルナリ
このたびトハ救済ノ恩寵ガ始メテ降レル時ヲ言フナリじつのかみに
はさうゐないトハ眞實ノ神ナルコト疑ヒナシトノ義ナリ
絶対無限ノ實在者ト人間救済ノ原動力トハ一神ノ二方面ナリ之ヲ明
言スレバ絶対無限ノ實在者ニアラザレバ人間救済ノ原動力タルコト
能ハズ人間救済ノ原動力ハ必ズ絶対無限ノ實在者ナラザルベカラズ
然ラバ何故ニ神ヲ絶対無限ノ實在者ト言フカ絶対トハ自存自動ノ實
體及ビ勢力ヲ自己ニ有シテ毫モ他ノ制限ヲ受ケザル謂ナリ神ヲ宇宙
萬有ノ本體トシテ觀ズルモ又宇宙萬有ノ第一原因トシテ觀ズルモ皆
絶対ナラザルベカラズ無限トハ時間ト空間トヲ超絶シテ何レノ時ニ

モ現レ何レノ所ニモ現ル、謂ナリ又神以外ノ宇宙萬有ハ時間ト空間
トニヨリテ制限セラレ實在者ノ現象トシテ觀ズルモ結果トシテ觀ズ
ルモ皆神ニ依屬スルモノニシテ自存自動ノ實體及ビ勢力ヲ自己ニ有
セザルモノナリ而シテ此ノ絶対無限ノ實在者ハ如何ニシテ我々人間
救済ノ原動力タルカナ知ラント欲セバ神ノ現象タル宇宙萬有ニ就キ
テ觀ズベシ宇宙萬有ハ無窮ニ止マザル活動ヲ以テ現レ精神ノ開發ヲ
以テ現レ終極目的ヲ以テ現ル是皆神ノ實體及ビ勢力ニ本來具足スル
ニアラザレバ宇宙萬有ノ上ニ現ル、コト能ハズ而シテ活動ノ根底ト
絶対無限トヲ合スレバ神ノ一切能ナルヲ見ルヲ得ベク精神ノ根底ト
絶対無限トヲ合スレバ神ノ一切知ナルヲ見ルヲ得ベク目的ノ根底ト
絶対無限トヲ合スレバ神ノ一切善ナルヲ見ルヲ得ベシ此ノ一切能一
切知一切善ナル神ノ宇宙萬有ノ主人公タル我々人間ヲシテ罪惡及ビ
禍害ヲ擺脫セシメントシテ又無上目的ニ向ヒテ進行セシメントシテ
救済ノ恩寵ヲ垂レ給フハ亦神ノ自體ニ具足シ給フ所ナルコト必然ノ

理ナリ且ツレ我等ノ方面ヨリ之ヲ見ルモ一切人類ハ神ノ未發達の各
 個現象トシテ自己ノ罪惡及ヒ禍害ヲ擺脫シ又無上目的ニ向ヒテ進行
 セントシテ救濟ノ要求ヲ有スルモノナレバ一切能一切知一切善ナル
 神ガ我等ノ救濟者トシテ現レ給フモ亦自然ノ理ナリ然レバ絶對無限
 ノ實在者ト人間救濟ノ原動力トハ一神ノ二方面ニシテ今教祖ハもご
 のかみごはしらなんだと言ヒ又じつのかみにはさうゐないと言ヒテ
 二者同體ナルコトヲ顯示セラレタリ誠ニ是救濟教ノ最大眞理ナリ

四下り目

一ッひとがなにとといはうともかみがみてる
 るきをしづめ

此ノ章ノ大意ハ我等教徒ハ專心一意ニ教ヲ信シテ世人ノ言議ヲ願慮
 スベカラザルコトヲ示サレタルナリ
 ひごがなにとこいはいはうともトハ世間ノ人が如何ナルコトヲ言フトモ
 捨テ置ケトノ意ナリかみがみてるきをしづめトハ神ノ照鑒アレバ
 心ヲ靜定シテ動クコト勿レト云フ義ナリ
 神ノ一切知ハ照サバル所ナケレバ我等心内ノ善惡邪正他人ノ知ラザ
 ル所モ神ハ已ニ知リ給ハザルコトナシ然レバ一方ニ於イテハ他人ノ
 見ザル所ナリトテ獨テ慎ム心ヲ忽ニスベカラズ又一方ニ於イテハ他
 人ノ非トスル所ナリトテ教ヲ信ズル心ヲ失フベカラズ是皆一切知ナ
 ル神ニ對スル信仰ヨリ生ズルナリ夫ノ我見我慢ヲ固執シテ他人ノ忠

言規諫ヲ耳ニ入レザルガ若キハ剛愎ノ至リナリ此ニ教ヘ給フ所ハ決シテ之ヲ言ハレタルニアラズ唯専心一意ニ教ヲ守リテ神ノ照鑒ニ依頼シ奉レトノ主意ナリ

二ツふたりのこゝろををさめるよなにかのこともあらはれる

此ノ章ノ大意ハ夫婦和睦シテ兩人ノ心ヲ教ニ一ニスレバ靈化自ラ現ルベキコトヲ示サレタルナリ
ふたりのこゝろををさめるよトハ夫婦兩人ノ心ヲ教ニ於イテ修ムベシトノ意ナリなにかのこともあらはれるトハ靈化自ラ現ルベシト言フ義ナリ

夫婦ハ異體ニシテ同心タルベキモノナリ故ニ我ガ天理教ノ貴ブ所ハ夫ニシテマヅ教ヲ信ズレバ必ズ之ヲ其ノ婦ニ勸メテ同ジク信ゼンメ又婦ニシテマヅ教ヲ信ズレバ必ズ之ヲ其ノ夫ニ勸メテ同ジク信ゼン

メ夫婦其ノ心ヲ教ニ一ニシテ救済ノ恩寵ヲ被ルニ在リ蓋シ此ノ章ハ上ハ序歌第二章ノ意ニ接シテ下ハ十一下目第二章ノ意ヲ起スソレ夫婦ノ愛情ヲ以テ精神的結合ヲ形成スルハ救済ノ恩寵ヲ要求スルニ於イテ最も勢力アルコト序歌第二章ニ既ニ之ヲ解説シタリ此ノ愛情ヲ以テ主トスル精神的結合ガ進ンデ同情ヲ主トスル精神的結合トナリテ献身的労働ニ現ル、コトニ至リテハ下ノ十一下目第二章ニ於イテ之ヲ解説スベシ

三ツみなみてゐよそばなものかみのすること なすことを

此ノ章ノ大意ハ救済恩寵ノ自證ヲ有スルコトヲ示サレタルナリ
みなみてゐよそばなものハ教ヲ信ゼザル傍觀ノ徒ヲ言ハレタルナリかみのすることなすことをトハ神ハ如何ナル勸ヲ現スカ汝等之ヲ觀ルベシトノ意ナリ

三下り目第五章ノ下ニ解説シタル救済ノ恩寵ガ不起ノ病ヲシテ平愈
 セシメ至愚ノ人ヲシテ智慧ヲ生ゼシメ極悪ノ人ヲシテ善良ノ人トナ
 ラシメタル等ノ類數フルニ堪フベカラザル事實ハ本章ノ正解トナス
 ベシ而シテ教會ノ發達ヲ神ノ靈妙ナル働ニ基ク一大事實トシテ之ヲ
 見レバ我が天理教ハ其ノ初教祖ガ救済恩寵ノ種子ヲ神ニ受ケテ之ヲ
 少數ナル教徒ノ心ニ播カレタルニ胚胎シタリ故ニ其ノ初ハ極微少ナ
 リシコト猶草木ノ萌芽始メテ地上ニ現レタルガ如クナレドモ其ノ中
 ニ活氣アルヲ以テ生長日ニ速ニ枝葉皆榮ユルニ至レルト一般ナリ然
 レバ教祖ノ教ニ就キテ其ノ初ヲ觀ルモノハ其ノ萌芽ノ微少ニシテ薄
 弱ナルヲ侮ルベク其ノ後ヲ觀ルモノハ又其ノ生長ノ迅速ニシテ偉大
 ナルニ驚クベシ我が天理教既往數十年間ノ事實此ノ如シ此ノ事實ハ
 直ニ是本章ノ意ヲ證明スルモノナリ

四 ッ よるひるどんちやんつとめするそばもや

かましうたてかる

此ノ章ノ大意ハ世人朝夕勤行ノ聲ヲ聞キテ喧囂ヲ厭フノミニシテ教
 ヲ知ラザルコトヲ憐マレタルナリ
 よるひるどんちやんつとめするトハ朝夕勤行スルヲ言フナリそばも
 やかましうたてかるトハ教ヲ信ゼザルモノハ喧囂ヲ厭フナラントノ
 意ナリ

朝夕ノ勤行ハ全世界人類ノ爲ニ罪惡及ヒ禍害ヲ除キテ救済ノ恩寵ヲ
 垂レ給ハンコトヲ神ニ禱ル所以ナリ然ルニ教祖ノ教ヲ信ゼザルモノ
 ハ徒ニ喧囂ヲ厭ヒテ笑罵ヲ逞シクスルノミ是亦老子ノ謂ハユル下士
 ハ道ヲ聞キテ大ニ笑フトイフモノ、類ニ非ズヤ獨之ノミナラズ神殿
 ノ狹陋ナルヲ見テハ其ノ壯麗ナラザルヲ議シ教徒ノ撲實ナルヲ見テ
 ハ其ノ惻發ナラザルヲ議シ是等外貌ニ慊焉タラズシテ其ノ裏面ニ全
 世界人類ヲ救済スル眞生命アルコトヲ知ラザルモノハ是實ニ教祖ノ

三下り目第五章ノ下ニ解説シタル救済ノ恩寵ガ不起ノ病ヲシテ平愈セシメ至愚ノ人ヲシテ智慧ヲ生ゼシメ極悪ノ人ヲシテ善良ノ人トナラシメタル等ノ類數フルニ堪フベカラザル事實ハ本章ノ正解トナスベシ而シテ教會ノ發達ヲ神ノ靈妙ナル働ニ基ク一大事實トシテ之ヲ見レバ我が天理教ハ其ノ初教祖ガ救済恩寵ノ種子ヲ神ニ受ケテ之ヲ少數ナル教徒ノ心ニ播カレタルニ胚胎シタリ故ニ其ノ初ハ極微少ナリシコト猶草木ノ萌芽始メテ地上ニ現レタルガ如クナレドモ其ノ中ニ活氣アルヲ以テ生長日ニ速ニ枝葉皆榮ユルニ至レルト一般ナリ然レバ教祖ノ教ニ就キテ其ノ初ヲ觀ルモノハ其ノ萌芽ノ微少ニシテ薄弱ナルヲ侮ルベク其ノ後ヲ觀ルモノハ又其ノ生長ノ迅速ニシテ偉大ナルニ驚クベシ我が天理教既往數十年間ノ事實此ノ如シ此ノ事實ハ直ニ是本章ノ意ヲ證明スルモノナリ

四 ッ よるひるどんちやんつとめするそばもや

かましうたてかる

此ノ章ノ大意ハ世人朝夕勤行ノ聲ヲ聞キテ喧囂ヲ厭フノミニシテ教ヲ知ラザルコトヲ憐マレタルナリ
 よるひるどんちやんつとめするトハ朝夕勤行スルヲ言フナリそばもやかましうたてかるトハ教ヲ信ゼザルモノハ喧囂ヲ厭フナラントノ意ナリ

朝夕ノ勤行ハ全世界人類ノ爲ニ罪惡及ビ禍害ヲ除キテ救済ノ恩寵ヲ垂レ給ハシコトヲ神ニ禱ル所以ナリ然ルニ教祖ノ教ヲ信ゼザルモノハ徒ニ喧囂ヲ厭ヒテ笑罵ヲ逞シクスルノミ是亦老子ノ謂ハユル下士ハ道ヲ聞キテ大ニ笑フトイフモノ、類ニ非ズヤ獨之ノミナラズ神殿ノ狹陋ナルヲ見テハ其ノ壯麗ヲラザルヲ議シ教徒ノ撲實ナルヲ見テハ其ノ惻發ヲラザルヲ議シ是等外貌ニ憐焉タラズシテ其ノ裏面ニ全世界人類ヲ救済スル眞生命アルコトヲ知ラザルモノハ是實ニ教祖ノ

最モ慨嘆シ給フ所ナリ

五ッ いつものたすけがせくからはやくやうき
になりてこい

此ノ章ノ大意ハ救済ヲ要求スルモノハ鼓舞歡欣シテ教ニ入ルベキコ
トヲ示サレタルナリ

いつもたすけがせくからにハ救済ノ恩寵ヲ垂レ給フコト甚ダ急切ナ
ルナイフやうきになりてこいハ鼓舞歡欣シテ來レトノ意ナリ

此ノ章ハ序歌第十章及ビ第十一章ト同意義ナリ凡ソ未ダ罪惡及ビ禍
害ヲ擺脫スル道ト無上目的ニ向ヒテ進行スル道トヲ得ザルモノハ悲
哀憂惱ヲ免レザルベシ然レドモ救済ノ恩寵既ニ啓ケタル今日ニ方リ
テハ我等ハ鼓舞歡欣シテ教ニ入ラザルベカラズ語ヲ換ヘテ之ヲ言ヘ
バ我等ハ厭世觀ヨリ樂天觀ニ轉ゼザル可カラザルナリ

六ッ むらかたはやくにたすけたいなれどこ
ろがわからいで

此ノ章ノ大意ハ教祖ト閭里ヲ同シクセル村人ノ心頑硬ニシテ教ヲ信
ゼザルコトヲ嘆セラレタルナリ

むらかたハ村方ナリはやくにたすけたいトハ村人ニ救済ノ恩寵ヲ與
ヘ給ハントノ心甚ダ切ナリトノ意ナリなれどこゝろがわからいでト
ハ然レドモ村人ノ心頑硬ナレバ奈何トモシ難シトノ義ナリ

凡ソ德澤ヲ世ニ施サント欲スルモノハ近キヨリ遠キニ及ボスハ情勢
ノ同シク然ル所ナリ然レバ教祖救済ノ教ヲ宣布シ給フ初ニ於イテ其
ノ平素互ニ交際往來シ吉凶慶吊ヲ共ニセラレタル村人ヲシテマゾ教
ヲ信ゼシメ給ハントノ御心ハ誠ニ切ナリシナリ而シテ村人ノ心頑硬
ニシテ教祖ノ教ヲ笑罵ニ附シテ之ヲ信ズルモノ實ニ少カリキ是ヲ以
テ遠方ナル他郷ノ人ハ早く救済ノ恩ヲ被リテ近鄰ナル村方ノ人ハ教

濟ノ恩ヲ被ルモノ却リテ少シ是教祖本章ノ嘆アル所以ナリ
 抑モ村方ノ人ト雖モ豈救濟要求ノ心ナカラシヤ而シテ其ノ教祖ノ教
 ナ信セザルモノハ何故ナルカ教祖ハ之ヲ頑硬ト稱セラレタリ頑硬ト
 ハ教ヲ聞ク耳ヲ有セザルニアラズ教ヲ解スル智ヲ有セザルニアラズ
 又教ヲ信ズル心ヲ有セザルニアラズシテ初メヨリ耳ヲ掩ヒ面ヲ背ケ
 テ教ヲ拒絶スルヲ云フナリ此ノ如キモノハ三下リ目第五章ノ笑罵諷
 諷ヲ事トスルモノニシテ彼ノ章ト本章トヲ参考互證スレバ意義愈明
 瞭ナリ

七ッなにかよろづのたすけあひむねのうちよ
 りしあんせよ

此ノ章ノ大意ハ人類相互ノ協同ハ救濟ノ恩寵ヲ迎フルニ於イテ必要
 ナルコトヲ示サレタルナリ
 なにかよろづのたすけあひトハ萬事ニ就キテ相互協同スルヲ言フナ

りむねのうちよりしあんせよトハ深く思フベシトノ義ナリ
 序歌第二章ニ解説セルガ如ク我等人間救濟ノ恩寵ヲ要求スルニハ人
 類相互ノ結合ニヨルコト肝要ナリ而シテ此ノ結合ハ固ヨリ精神的結
 合ナラザルベカラズ精神的結合ニ二大主力アリ一ハ愛情ニシテ一ハ
 同情是ナリ夫婦結合ノ主力ハ即チ愛情ニシテ自他結合ノ主力ハ即チ
 同情ナリ蓋シ我等人間ハ罪惡及ビ禍害ヲ擺脫セント欲シ又無上目的
 ニ向ヒテ進行セント欲スル要求ニ於イテ根底平等ナリ此ノ根底平等
 ノ上ニ立ツ我等人間ガ自他同情ヲ有シテ相互ニ協同スルハ獨世間倫
 理ノ基礎ニシテ人類現世ノ幸福ヲ増進スルニ足ルベキノミナラズ人
 類ノ精神的大結合ヲ成シテ救濟ノ恩寵ヲ要求スル勢力ヲ生ズルモノ
 ナリ讀者是等ノ章ニ於イテ希ハクハ尋常一様ノ看ヲナスコト勿レ

八ッやまひのすつきりねはぬけるこゝろはた
 んたんいさみくる

此ノ章ノ大意ハ靈化ノ效驗ヲ示サレタルナリ
やまひのすつきりねはぬけるトハ疾病ノ根本滌フガ如ク斷除セラル
ト言フ義ナリこゝろはだんだんいさみくるトハ鼓舞歡欣ノ心漸々發
生スルヲ言フナリ

欲塵既ニ斷除セラルレバ精神自ラ清淨ナリ病根既ニ斷除セラルレバ
身體自ラ健全ナリ是鼓舞歡欣ノ心漸々發生スル所以ナリ而シテ疾病
ニ重キヲ措ケルモノハ二下リ目第八章ノ下ニ解説セルガ如ク疾病ガ
變態不完全苦痛ノ三意義ニ於イテ總ベテノ禍害ヲ代表スルヲ以テナ
リ

九ツこゝはこのよのごくらくやわしむはやく まゐりたい

此ノ章ノ大意ハ我等人間ノ最上樂土ハ即チ現世界ナルコトヲ示サレ
タルナリ

こゝはトハ教祖ノ御心及ビ其ノ居給フ所ヲ指スナリこのよのごくら
くやトハ此ノ心此ノ土直ニ是最上樂土ナリト言フ義ナリわしむはや
はやまゐりたいトハ教祖最上樂土ヲ實現シ給フ願望甚ダ切ナルナリ
我等精神的開發及ビ無上目的ト此ノ世界トハ密着ナル關係ヲ有スル
モノナリ若シ我等ノ精神的開發及ビ無上目的ニシテ此ノ世界ニ於イ
テ達シ得ベシトスレバ此ノ世界ハ直ニ是眞實樂土トナルベキナリ基
督教ガ天國ヲ地上ニ求メザルハ我等ヲ以テ罪惡及ビ禍害中ニ墮落シ
テ世界ノ末日到リ最後ノ審判行ハル、ニアラザレバ精神的開發及ビ
無上目的ニ達スルコト能ハズト信ズルヲ以テナリ佛教ガ淨土ヲ此ノ
土ニ求メザルモ亦我等ノ生存及ビ幸福ヲ以テ迷妄トシテ此ノ假相ヲ
破リ彼ノ實相ニ入ルニアラザレバ無上目的タル涅槃ニ到達スルコト
能ハズト信ズルヲ以テナリ是ヲ以テ基督教ノ天國ト云フモ佛教ノ淨
土ト云フモ皆此ノ世界ノ外ニ在ルナリ然ルニ我が救濟教ニ至リテハ
我等人間ハ罪惡及ビ禍害ノ中ニ在リトスレドモ此ノ罪惡及ビ禍害ハ

我等が無上目的ニ向ヒテ發達セントスル必然過程ニシテ罪惡及ビ禍害ノ觀念ヲ生ゼザレバ救濟ノ要求ヲ起シテ人間救濟ノ原動力タル神ト關聯ヲ結ブト能ハズト信ズルガ故ニ從ヒテ無上目的ニ向ヒテ進行スベキ一切準備ハ此ノ世界ニ於イテ得ラルベント信ズルナリ且罪惡及ビ禍害ノ觀念ハ道德及ビ幸福ノ觀念ト相伴ヒテ生ズルモノニシテ道德及ビ幸福ノ觀念強大ナラザレバ罪惡及ビ禍害ノ觀念モ亦從ヒテ強大ナラズ罪惡及ビ禍害ノ觀念強大ニシテ救濟要求ノ心益切トナリ此ノ罪惡及ビ禍害ノ觀念ハ終ニ救濟ノ恩寵ニヨリテ征服セラレ此ノ世界ニハ道德及ビ幸福充滿スベケレバ此ノ世界ハ基督教及ビ佛教ガ信ズルガ如ク罪惡界ニモアラズ亦迷妄界ニモアラズシテ救濟ノ恩寵ガ行ハル、ニ從ヒテ眞實樂土自ラ實現セラル、ナリ然レバ一切ノ罪惡及ビ禍害ハ此ノ世界ニ於イテ全ク斷除シ盡サルベキカトイフニ是亦然ラズ我等ガ現時ノ如キ性格ヲ有シテ世界ニ係屬スル間ハ老死ノ苦ノ如キ愛別ノ苦ノ如キ自由平和欲望ヲ得ザル苦ノ如キハ到底斷

除シ得ラルベキニアラズ唯人間ノ性格トシテ出來得ルダケノ發達ヲ望ムベキノミ然レドモ無上目的ニ到達スベキ一切準備ハ此ノ世界ニテ出來得ルノミナラズ永久不滅的ノ靈化ヲ被リ安心立命ヲ得レバ此ノ土ハ直ニ是眞實樂土ナリト謂ハザルヲ得ザルナリ是教祖ガ救濟ノ恩寵ニヨリ最上樂土ヲ此ノ世界ニ一日モ早ク實現センコトヲ切望シ給フ所以ナリ

十、このたびむねのうちすみさりましたが
ありがたい

此ノ章ノ大意ハ救濟ノ恩寵ヲ神ニ謝スルコトヲ示サレタルナリ
このたびトハ我等ノ心清淨ニナレリト感シタル時ヲ言フナリむねの
うちすみさりましたがありがたいトハ我等ノ心清淨ニナリタルハ神
ノ恩寵ナレバ之ヲ謝シ奉ルトノ意ナリ
我等ノ心全ク清淨ニナリ了レルハ即チ是靈化ノ極ニシテ容易ノ事ニ

アラズ然レドモ八個ノ欲塵ハ間斷ナク生ズレバ亦神ニ依頼シテ間斷
ナク之ヲ斷除セザルベカラズ而シテ欲塵ノ斷除セラル、メケハ心ノ
清淨ヲ得ラル、モノナリ然レバ心ノ清淨ハ我等ガ日々夜々ニ神ニ祈
禱スベキ第一ノ要件ニシテ又日々夜々ニ神ニ感謝スベキ第一ノ要件
ナリ

五下り目

一ッひろいせかいのうちなればたすけるところ
がまゝあらう

此ノ章ノ大意ハ眞道ノ外救濟ヲ主張スルモノ之ナキニアラザル可キ
コトヲ示サレタルナリ

ひろいせかいのうちなればハ廣キ世界ノ中ナレバナリたすけること
ろがまゝあらうトハ救濟ヲ主張スルモノ之アラント言フ意ナリ

救濟トハ我等人間ヲシテ罪惡及ビ禍害ヲ擺脫セシムル謂ニシテ各學
術、各事業、各社會、各國家ハ皆是罪惡及ビ禍害ヨリ我等ヲ救濟スル目的

ヲ以テ設ケラレタルニ非ザルハナシ然レドモ罪惡及ビ禍害ニハ人力
ヲ以テ救濟セラル、モノト人力ヲ以テ救濟セラレザルモノトノ分界

アリ此ノ人力ヲ以テ救濟セラレザル所ハ人力以上即チ救濟ノ恩寵ニ
依頼セザルベカラザルナリ願ハクハ世人此ノ意ヲ玩味セヨ

二ツふしぎなたすけはこのところおびやはう
そのゆるしたす

此ノ章ノ大意ハ救済ノ恩寵ガ疾病ニヨリテ代表セラレタル總ベテノ
禍害ヲ斷除スルコトヲ示サレタルナリ

ふしぎなたすけハ靈妙ナル救済ナリこのところトハ人間改造ノ元始
地ナル地場ヲ言フナリたびやはうそのゆるしたすトハ胎産瘡瘡ヲ惱
ムモノニシテ即チ疾病ナリ蓋シ教祖在世ノ時胎産瘡瘡ヲ惱ムモノニ
救済ノ恩寵最モ著キコトアリシナリ本章ノ意蓋シ之ヲ指セルナルベ
シ

疾病ヲ以テ總ベテノ禍害ヲ代表セシムルハ救済教ノ本領ナリ其ノ意
義ハ二下リ目第八章ノ下ニ解説シタルガ如シ而シテ罪惡及ヒ禍害ノ
根本ヲ斷除スルコトハ救済恩寵ノ勢力ナリ各學術各事業各社會各國
家等總ベテ人力ノ及ブ所ニ非ザルナリ然ラズンバ救済恩寵ノ必要何

クニカアラン

三ツみづとかみとはおなじこところのよと
れをあらひきる

此ノ章ノ大意ハ神ノ靈化力ヲ以テ水ニ喩ヘテ之ヲ示サレタルナリ
みづとかみとはおなじことトハ水ト神トハ汚垢ヲ滌フ點ニ於イテ相
似タリトノ意ナリこところのよとれトハ神ニヨリテ滌ハルベキ我等ガ
心ノ汚垢ヲ言フナリ

我等人間心内ノ汚垢タル欲塵ヲ滌ヒ去リテ之ヲ清淨ニスルハ一切善
一切知一切能タル神ノ靈化力ニヨラザレバ能ハザルナリ此ノ靈化力
ハ天啓ノ顯示ト協同シテ感應ヲ我等ノ感情意志ニ及ボシ感情ノ邪穢
ナルモノハ之ヲシテ純潔ナラシメ意志ノ薄弱ナルモノハ之ヲシテ強
大ナラシメ不道德的動機ヲ打破シ良心ノ指導ヲシテ神ノ意志ト一致
セシム是謂ハユル靈化力ナリ抑モ神ハ絶對無限ノ實在者ナレバ宇宙

ノ間ニ瀰滿シテ我等ノ外ニ在シマシ亦我等ノ内ニモ在シマスナリ然
 レドモ救濟ノ要求未ダ生ゼズ之ニ應ズル神ノ恩寵未ダ啓ケザル以前
 ニ在リテハ我等人間ノ精神ト神トハ自ラ隔離シテ融合セズ之ヲ譬フ
 レバ腐敗ノ水ヲ器ニ盛り之ヲ密閉シテ大海ノ中ニ投入シタルガ如シ
 腐敗ノ水ハ我等ノ精神ナリ大海ノ水ハ神ナリ我等ノ精神モ神モ本是
 同體ナレドモ欲塵トイフ汚垢ニ穢サレテ無上目的ニ向ハントスル發
 達ヲ碍ゲラル、間ハ小器ノ内ニ盛ラレタル腐敗ノ水タルコトヲ免レ
 ズ然レドモ靈化力ノ感應ヲ被リテ神ノ意志ト一致スルニ至レバ即チ
 是小器ヲ破リテ腐敗ノ水滌ヒ出ダサレテ大海清淨ノ水之ニ代リテ入
 リ來ルガ如キモノナリ此ノ如クニシテ神ト隔離シタル我等人間ハ神
 ト關聯ヲ結ブコトヲ得ベク亦罪惡及ビ禍害ヲ擺脫シ無上目的ニ向ヒ
 テ進行スルコトヲモ得ベシ是靈化力ノ必要ナル所以ナリ

四 ッ よくのないうものなけれどもかみのまへに

はよくはない

此ノ章ノ大意ハ神ガ能ク我等ノ欲塵ヲ去リ給フコトヲ示サレタルナ
 リ
 よくのないうものなけれどもトハ我等人間ガ正當ノ意欲ヲ言フニアラ
 ズシテ欲塵ヲ言フナリかみのまへにはよくはないトハ信仰ヲ以テ神
 ニ對スレバ神ノ光明熾盛ノ力我等ノ欲塵ヲ燒盡シ給フヲ言フナリ
 本章ハ上ノ第三章ノ意ニ接スルモノニシテ靈化ト欲塵トノ關係ヲ申
 說セラレタルナリ

五 ッ いつまでしんぐしたとてやうきづくめ
 であるはどに

此ノ章ノ大意ハ救濟教ノ信仰ハ我等ヲシテ鼓舞歡欣ノ心ヲ起サシメ
 樂天觀ニ轉ゼシムルコトヲ示サレタルナリ

いつまでしんぐしたごてもトハ信仰進ムニ從ヒテト言フ義ナリや
うきづくめであるほごにトハ神ニ對スル信仰ハ我等ヲシテ悲哀憂惱
ヨリ鼓舞歡欣ニ移ラシムルヲ言フナリ
世界觀ハ二個反對ヲ有ス一ハ厭世觀ニシテ一ハ樂天觀ナリ此ノ世界
ハ罪惡及ビ禍害ノ世界ニシテ生存スベキ價値ナク又之ヲ擺脫スル道
ナケレバ寧ロ意欲ト生命トヲ斷滅スルニ如カズトスルモノハ厭世觀
ナリ又此ノ世界ハ道德及ビ幸福ノ世界ニシテ天惠地福樂ムベケレバ
我等ハ神恩ヲ感謝シテ生ヲ送ラザルベカラズトスルモノハ樂天觀ナ
リ一言スレバ樂天觀ハ多樂ノ觀ニシテ厭世觀ハ多苦ノ觀ナリ而シテ
此ノ二個反對ノ世界觀ハ各人生片面ノ眞理ヲ見タルモノニシテ兩觀
皆眞理ナリ亦皆非眞理ナリ然ラバ如何ニシテ此ノ二個反對ノ世界觀
ヲ調和スベキカト言フニ我ガ救濟教ニ由ル外ナシ蓋シ救濟教ガ罪惡
及ビ禍害ノ世界ナリト認ムル所ハ全ク是厭世觀ナレドモ此ノ罪惡及
ビ禍害ハ救濟ノ恩寵ニヨリテ擺脫セラルベシト信スル所ハ全ク是樂

天觀ナリ是謂ハユル厭世觀ヨリ轉ジテ樂天觀ニ移ルモノナリ教祖一
代ノ生涯ハ此ノ兩觀ノ轉移ヲ觀ルニ足ル即チ厭世的佛教ノ舊信仰ヨ
リ樂天的救濟教ノ新信仰ニ入り給ヒシコト是ナリ
然レドモ我等ニシテ教祖ノ教ニ依リテ救濟ノ恩寵ヲ被リタレバトテ
此ノ世界ノ罪惡及ビ禍害全ク排除セラレ忽チ變ジテ道德及ビ幸福ノ
世界トナルニ非ズ然ラバ我等ハ如何ニシテ厭世觀ヨリ樂天觀ニ移ル
コトヲ得ベキカトイフニ罪惡及ビ禍害ガ征服セラレ道徳及ビ幸福ガ
戰勝ヲ得ベキ大勢ハ確然一定シテ動カスベカラザレバナリ而シテ此
ノ征服モ此ノ戰勝モ我等自己ニ存スルナリ之ヲ未ダ物ヲ使用セザレ
ドモ己ニ物ヲ所有セルニ譬フベシ蓋シ我等人生ノ安心ハ使用ニ在ラ
ズシテ所有ニアルナリ更ニ之ヲ戰爭ニ喩ヘンガ兩敵相對シタルニ一
方ハ已ニ戰敗ト定マリ一方ハ已ニ戰勝ト定マリタラシニハ戰敗ト定
マリタル方ハ未ダ實ニ戰敗セズトモ膽落テ氣沮ミテ其ノ苦痛ハ已ニ
戰敗シタルヨリモ甚シカルベク又一方ハ未ダ實ニ戰勝セズトモ勇溢

レ氣滿ナテ其ノ愉快ハ己ニ戰勝シタルヨリモ甚シカルベキト一般ナ
リ今神明救濟ノ恩寵ニヨリテ罪惡及ビ禍害ノ征服セラルベキハ是戰
敗己ニ定マリタルモノナリ道德及ビ幸福ノ戰勝スベキハ是戰勝己ニ
定マリタルモノナリ然レバ我等ハ世界最後ノ戰勝者ナリ豈樂天觀ナ
有セザルヲ得ンヤ

抑モ太古ニ在リテ罪惡及ビ禍害ノ觀念未ダ發達セザルニ當リ我等ノ
祖先ハ樂天觀ヲ有セシガ如クナレドモ罪惡及ビ禍害ノ觀念未ダ發達
セザリシト共ニ道德及ビ幸福ノ觀念モ亦未ダ發達セザリシガ故ニ此
ノ時ノ樂天觀ハ真正ノ樂天觀ニアラザリシナリ人類己ニ發達セル後
ニ及ビテ各國聖賢輩出シテ道ヲ樂ミ德ヲ重ンジ罪惡禍害ノ中ニ屹然
トシテ卓立シ精神平和ヲ得タルモノハ即チ是道德ノ戰勝ヲ認メタル
モノニシテ不完全ナル樂天觀ナリ若シソレ全世界人類一同ガ樂天觀
ノ旗下ニ集マルニ至リテハ教祖救濟恩寵ノ宣布ヨリ始マルナリ

六ッむごいこゝろをうちわすれやさしきこゝ
ろになりてこい

此ノ章ノ大意ハ改悔ハ救濟ノ恩寵ヲ被ルベキ基本ナルコトヲ示サレ
タルナリ

むごいこゝろをうちわすれトハ殘忍酷薄ノ心ヲ棄テ、ト言フ意ナリ
やさしきこゝろになりてこいとハ慈悲溫柔ノ心ニナリテ來レトノ義
ナリ

殘忍酷薄ノ心トハ他ヲ害スル心ナリ慈悲溫柔ノ心トハ他ヲ愛スル心
ナリ他ヲ害スルモノハ同情ヲ有セザルモノナリ他ヲ愛スルモノハ同
情ヲ有スルモノナリ同情ト救濟トノ關係ニ至リテハ四下リ目第七章
ニ既ニ之ヲ解説シタリ

抑モ我等此ノ世ニ生レ出デシヨリ今日ニ至ルマデ自ラ願ミテ他ヲ害
スル心ヲ起シテ神ノ意志ト相悖リタルコトノ有無如何又他ヲ愛スル

心ヲ起シテ神ノ意志ト相合ヒタルコトノ有無如何ヲ念ハバ全身戰栗シテ大汗流出スベシ然レドモ我等ニシテ改悔シテ自ラ新ニシテ神ニ依頼スレバ何時ニテモ救済ノ恩寵ヲ被ルコトヲ得ベシソレ改悔ノ念起ラザルモノハ自己ノ罪惡ヲ認メザルナリ自己ノ罪惡ヲ認メザルモノ何ニ由リテカ救済ヲ要求シテ神ニ依頼センヤ是改悔ハ信仰ノ要素ニシテ救済ヲ被ルベキ基本ナル所以ナリ

七ッ なんでもなんぎはさゝぬぞえたすけいち
じよのこのところ

此ノ章ノ大意ハ人類改造ノ元始地ハ即チ我等ノ苦患ヲ救フ元始地ナルコトヲ示サレタルナリ
なんでもなんぎはさゝぬぞえトハ人間一切ノ苦患ヲ救フト言フ義ナリたすけいちじよのこのところトハ人類改造ノ元始地ニシテ即チ地場ノ事ナリ

地場ハ序歌第七章ニ解説セルガ如ク救済ノ恩寵初降ノ地ニシテ我等人間ノ闇黒ヲ照シ破ルベキ光明ノ立チ昇レル處我等人間ノ汚濁ヲ滌ヒ去ルベキ活泉ノ湧キ出デタル處ナリ而シテ闇黒ト汚濁トハ罪惡及ヒ禍害ヲ意味ス即チ一切ノ苦患ナリサレバ來リテ此ノ光明ニ照サレ此ノ活泉ニ飲ムモノ誰カ苦患ヨリ救ハレザランヤ故ニ地場ハ苦患ヲ救フ元始地ナリトハ言ハレタルナリ

八ッ やまどばかりやないほむににくくまでも
たすけゆく

此ノ章ノ大意ハ教祖ノ教ハ大和ヨリ全世界ニ擴張セラル、コトヲ示サレタルナリ
やまどばかりやないほむにトハ救済ノ教ハやまどノミニ限ラズト言フ義ナリやまどハ狹義ニ解釋スレバ大和一國ノ事トナリ廣義ニ解釋スレバ日本全國ノ事トナルナリにくくまでもたすけゆくトハ救済

ノ教ハ大和ヨリ言フトキハ日本全國ニ擴張セラレ日本ヨリ言フトキハ全世界ニ擴張セラルト言フ意ナリ

世ノ宗教ニ國民教ト世界教トノ二類アリ國民教トハ專ラ一國民ト關係ナ有スル宗教ヲ謂ヒ世界教トハ普ク世界人類ト關係ナ有スル宗教ヲ謂フ我ガ天理教ハ日本ニ對シテハ特別ノ關係ナ有スルガ故ニ之ヲ國民教ト稱スベク又世界人類ヲ救済スル宗教ナレバ之ヲ世界教ト稱スルコトヲモ得ベキナリ

九 ッ 此ハこのよのものちばめづらしところ ろがあらはれた

此ノ章ノ大意ハ地場ハ人類改造ノ元始地ニシテ今日世ニ現レタルハ世界未曾有ノ一大事實ナルコトヲ示サレタルナリ
此ハこのよのものちばトハ教祖住ミ給ヘル地場ヲ言フナリめづらしどころがあらはれたトハ未曾有ノ靈地世界ニ現レタリトノ義ナ

リ

本章ノ解説ハ三下リ目第一章ノ下ニ詳ナリ

どうでもしんぐするならばかうをむすはやないかいな

此ノ章ノ大意ハ信仰ヲ守ルハ教會ヲ結ブニアルコトヲ示サレタルナリ
どうでもしんぐするならばトハ到底信仰スルナラバト言フ意ナリ
かうをむすばやないかいなトハ教會ヲ結ブベシトノ義ナリかうハ講社即チ教會ナリ

教會ハ同一ノ信仰ヲ有スル我等信徒ガ救済ノ恩寵ヲ宣布スルヲ目的トシテ結合スルモノナリサレバ教會ハ一ノ便宜法ニシテ信仰ト教理トニハ關係ナキガ如クナレドモ其ノ實然ラズ教會ハ人類精神的結合ノ最高模範ナリ而シテ教祖ハ教會ヲ以テ神殿ニ喩ヘ又教會ノ指導者

ヲ以テ大工棟梁ニ喩ヘラレタレバ我等教徒ハ教會ニ於イテ一致セザルベカラザルノミナラズ抑モ又指導者ノ下ニ在ラザルベカラザルコト言ヲ待タズ而シテ教會ハ統一ヲ保テテ分離スベカラズ之ヲ譬フレバ本部ハ頭腦ノ如ク部下各教會ハ肢體ノ如クナルベシ之ヲ統一スルモノハ天ナリ地ナリ人ナリ道ナリ天トハ神ノ謂ナリ地トハ地場ノ謂ナリ人トハ指導者ノ謂ナリ道トハ教理ノ謂ナリ將來教祖ノ教全世界ニ擴張セラレテ幾千萬數ノ教會海ノ内外ニ設立セラルトモ皆一ノ本部ニ隸屬シテ大工棟梁ノ指導ノ下ニ在ラザルベカラズ

六下り目

一ッひとのころといふものはうたがひぶかいものなるぞ

此ノ章ノ大意ハ人心懷疑深クシテ信仰生シ難キコトヲ示サレタルナリ
 ひごのころといふものはトハ人間ノ心ナリうたがひぶかいものなるゾトハ疑心深キヲ云フナリ
 疑ハ信ノ反對ナリ而シテ學問ハ疑ヲ主トシ宗教ハ信ヲ主トス何トナレバ學問ノ研究ハ人智ノ範圍内ニ止マリテ宗教ノ信仰ハ人智ノ範圍外ニ出ヅルコトアレバナリ抑モ人智ノ範圍外ニ出ヅルモノハ必ず先
 天啓ヲ信受シテ然後ニ救済ノ効驗ニ徴スルヲ得ベシ天啓トハ固ヨリ神智ニシテ人智以上ニ超絶スルモノナレドモ我等ノ理性ニ反對スルモノニ非ズ我等モシ學問研究ノ及バザル所ハ之ヲ信ゼズト言ハバ

宗教ノ信仰ハ成立スルコトヲ得ズ信仰成立セズバ豈救済ノ恩寵ヲ被ルコトヲ得ンヤ是教祖我等ノ信ヲ美メ給フト同時ニ之ガ反對ナル疑ノ深クシテ去リ難キコトヲ嘆シ給ヘル所以ナリ

一ッふしぎなたすけをするからにいかなること
ともみさためる

此ノ章ノ大意ハ神ハ人間心内ノ秘密ヲ照鑿シ給フコトヲ示サレタルナリ

ふしぎなたすけをするからにトハ不可思議ナル救済ノ恩寵ヲ與ヘ給フガ故ニト言フ意ナリいかなることともみさだめるトハ人間心内ノ秘密盡ク之ヲ照鑿シ給フトノ義ナリ

我等人間ノ罪害及ビ禍害ト之ニ對スル救済ノ要求トハ千萬無量ナレドモ神ハ之ニ應ジテ救済ノ恩寵ヲ垂レ給フ是其ノ人間心内ノ秘密ヲ照鑿シ給フ明證ニアラズヤ唯神我等心内ノ秘密ヲ照鑿シ給ヘバ我等

ノ信疑誠偽亦一トシテ神ノ照鑿ニ漏ル、コトナシ然レバ我等ハ人ヲ欺クコトヲ得トモ神ヲ欺クコトヲ得ベカラズ故ニ慎獨ノ工夫ハ悔改ト同ジク信仰ノ要素タルナリ

三ッみなせかいのむねのうちかゞみのごとく
にうつるなり

此ノ章ノ大意ハ上章ノ意ニ接シテ神ノ一切知ヲ示サレタルナリ
みなせかいのむねのうちトハ我等人間ノ心内ヲ言フナリかゞみのごとくにうつるなりトハ人間心内ノ秘密神ノ御心ニ現ル、コト物ノ明鏡ニ映ズルガ如クナリトノ義ナリ

神ハ絶對無限ノ實在者ニシテ精神態ニ存在シ給ヘリ抑モ又世界終極目的ノ大原因ナリ而シテ宇宙萬有ノ組織及ビ活動ヲシテ此ノ終極目的ヲ實現セシメ給ハンニハ素ヨリ手段ト目的トノ關係ハ神ノ御心ニ具有シ給ハザルベカラズ然レバ神ノ一切知ナルコト言ヲ俟タザルナ

リ是神ガ人間心内ノ秘密ヲ照鑿シ給フ所以ナリ然ラザレバ神ソレ救濟ノ原動力タルコトヲ得ンヤ之ヲ要スルニ一切善一切能一切知此ノ三性ニシテ其ノ一ヲ缺キ給フトキハ神ハ救濟ノ原動力ニアラザルナリ而シテ本章ト上章トハ專ラ神ノ一切知ナルコトヲ説明セラレタルナリ

或ハ謂フ本章及ビ上章ハ其ノ語氣ヲ以テ之ヲ觀ルトキハ教祖自己ノ事ヲ言ハレタルニ似タリト述義者モ亦此ノ説ト同感ナリ然ラバ神ト教祖トハ既ニ一體ニシテ教祖ハ即チ一切知ナルカ曰ハク教祖モ我等ト同シク人間ノ性格ヲ有セラレタル以上ハ何レノ事ヲ問ハズ何レノ時ニ拘ラズ神ト同シク一切知ナリトハ言フベカラザレドモ靈化ノ極致ニ到達シテ神ト交通セラレタル時ニハ我等心内ノ秘密ヲ照鑿シ給フコト必ズ上章及ビ本章ノ如キモノアリシナラン是神ノ一切知ガ教祖ノ心ニ反映セルナリ此ノ時ニ在リテハ神モ教祖モ一體ナリ

四 ッ ようこそつとめについできたこれがたすけのもとなてや

此ノ章ノ大意ハ信仰修行ハ救濟ノ恩寵ヲ被ル要件ナルコトヲ示サレタルナリ

ようこうつとめについできたトハ教祖ニ隨從シテ信仰修行ノ堅固ナル信徒ヲ感賞セラレタルナリこれがたすけのもごだてやトハ我等教徒ガ信仰堅固ニシテ修行懈怠ナキハ是救濟ノ恩寵ヲ被ル資本ナリトノ義ナリ

つとめトハ御神樂勤ヲ稱スルコトナレドモ此ニハ主トシテ其ノ精神ヲ云ヘリ蓋シ御神樂歌ヲ歌ヒ御神樂舞ヲ舞フハ所謂禮典ナリ信仰ヲ守リテ其ノ思フ所其ノ言フ所其ノ行フ所一致シテ神ノ御心ニ適フハ是即チ精神ナリ

五ッいつものかぐらやてをどりやすきではめづ
らしたすけする

此ノ章ノ大意ハ信仰修行ト救済ノ恩寵トノ關係ヲ示サレタルナリ
いつもハ毎々ナリかぐらやてをどりやトハ御神樂歌及ビ御神樂舞ヲ
言フナリするではめづらしたすけするトハ終末ニ至リテ不可思議ナ
ル救済ノ効驗ヲ現ス可シトノ意ナリ
本章ノ御神樂勤モ亦上章ト同シク主トシテ其ノ精神ヲ取りタルナリ
即チ上章ノ意ヲ承ケテ居常信仰堅固ニシテ修行懈怠ナケレバ必ズ救
済ノ恩寵ヲ被ルベキコトヲ述ベラレタルナリ

六ッむしやうやたらにねがひでるうけとるす
ぢもせんすぢや

此ノ章ノ大意ハ我等各自ノ祈禱ガ神ニ通ズルコトヲ示サレタルナリ

むしやうやたらにねがひでるトハ祈禱スル者ノ極メテ多クシテ千差
萬別ナルヲ言フうけとるすぢもせんすぢやトハ神ノ之ヲ受納シ給フ
モ亦從ヒテ千差萬別ナルヲ言フナリ
救済ノ要求ハ愛情ト同情トニヨル全世界人類ノ精神的結合ヲ以テ勢
力アリトスレドモ抑モ又平等ヲ主トシテ差別ヲ没スルモノニアラザ
ルコトハ本章ノ示ス所ナリ蓋シ我等人間ノ人格ハ各個人ヲシテ智
力的感情的意志的ノ發達ヲ異ニセシムルガ故ニ各個人救済ノ要求モ
從ヒテ異ナラザルヲ得ズ之ニ從ヒテ救済ノ恩寵モ亦異ナラザルヲ得
ズ而シテ過去現在未來ノ三世ニ通ズル善悪苦樂ノ果報モ亦從ヒテ異
ナラザルヲ得ズ是ノ如クナラザレバ是人類全體アリテ個人ナキナリ
果シテ然ラバ個人格ノ價值ハ皆無ニ非ズヤ要スルニ我等各個人ハ神
ト同シク實在者ナリ實在ナレバコソ無上發達ヲナシテ神ト一致スル
ヲ得ルナレ本章ハ即チ此ノ理ヲ表明セルモノト知ル可キナリ

七ッなんほしんぐしたとてもこゝろえちがひ
はならんぞえ

此ノ章ノ大意ハ道德ニ悖戻スル信仰ハ真正ノ信仰ニアラザルコトヲ示サレタルナリ
なんぼしんぐしたとてもトハ信仰如何程深厚ナレバト言フ意ナリこゝろえちがひはならんぞえトハ道德ニ悖戻スレバ真正ノ信仰ニアラザルツト言フ義ナリ
信仰トハ上ニ解説セルガ如ク天啓ヲ信受シ神ニ信賴スル謂ナリ信仰一タビ生ズレバ神ハ必ず救済ノ恩寵ヲ垂レ給フベシ而シテ救済ノ恩寵ハ靈化トナリテ現レ我等ノ感情ヲシテ純潔ナラシメ我等ノ意志ヲシテ強大ナラシメ不道德的動機ヲ打破シ無上目的ニ向ハシムルモノナレバ其ノ靈化ハ道德的勢力ナリ此ノ道德的勢力ニヨリテ我等ハ罪惡及ビ禍害ノ中ヨリ救ハル、コトヲ得ベシ是ノ如クナレバ信仰ト道

徳トハ分離スベカラザルナリ若シ人アリ信仰ヲ以テ道德ニ關係ナキ幸福ノ希求ナリト誤解セバ其ノ希求ハ如何程深厚ナリトモ是即チ真正ノ信仰ニアラズシテ救済ノ恩寵ヲ被ルコト能ハザルベキナリ本章ノ訓誡ハ深切著明ナリト謂フ可シ

四下リ目ニハ夫婦ノ和合人類ノ協同ヲ示シ給ヒ五下リ目ニハ殘忍嗜薄ノ心ヲ捨テ、慈悲溫柔ノ心ニナレト示シ給ヒ九下リ目ニハ私欲ノ心ハ神ノ意志ニ合ハザルコトヲ示シ給ヘリ皆是信仰ト道德トノ關係ニアラザルハナシ而シテ本章ハ特ニ切明ニ之ヲ教ヘラレタルナリ

八ッやつぱりしんぐせにやならんこゝろえち
がひはでなほしや

此ノ章ノ大意ハ我等教徒ニシテ道德ニ悖戻スル行爲アルトキハ即刻悔改シテ真正ノ信仰ヲ繼續スベキコトヲ示サレタルナリ
やつぱりしんぐせにやならんトハ信仰ノ止ム可カラザルヲ言フナ

リこゝろえちがひはでなほしやトハ道德ニ悖戻スル行爲アレバ即刻悔改スベシトノ義ナリ

上章ニ述ベタルガ如ク道德ニ悖戻スル信仰ハ真正ノ信仰ニアラザレドモ信仰ト道德トハ初信ノ人ニ在リテハ必ズシモ一致スルモノニアラズ或ハ信者ノ行爲ニシテ道德ニ悖戻スルコト之ナキニ非ザルベシ然レドモ其ノ人ニシテ自己ノ罪禍ヲ即刻悔改シテ神ノ矜宥ヲ仰グニ於イテハ忽チ真正ノ信仰ニ復シテ救済ノ恩寵ヲ被ルコトヲ失ハザルベキナリでなほしトハ悔改シテ自ラ新ニスルヲ謂フナリ

九ツこゝまでしんぐしてからはひとつのかうをのみにやならぬ

此ノ章ノ大意ハ信仰ノ效驗ヲ見ズシテ止ムベカラザルコトヲ示サレタルナリ

こゝまでしんぐしてからはトハ信仰此ニ至レルカラハト言フ義ナ

リ蓋シ教祖我等教徒ニ代リテ言ハレタル詞ナリひこつのかうをのみにやならぬトハ凡ソ信仰必ズ效驗アリ未ダ一ノ效驗ヲモ見ズシテ信仰ヲ捨ツルハ是信仰ノ至ラザルモノナリトノ意ナリ
信仰ノ效驗ハ靈化人心ニ入り罪惡及ビ禍害ヨリ救ハル、ニ在リ

十、このたびみえましたあふぎのうかゞひこれふしぎ

此章ノ大意ハ我等教徒ノ聯合祈禱ニ對シ神ノ天啓事實ノ上ニ現レタルコトヲ示サレタルナリ

このたびみえましたトハ此ノ度信仰ノ效驗事實ノ上ニ現レタリト言フ意ナリあふぎのうかゞひこれふしぎトハ扇喩ノ天啓ハ眞ニ是不可思議ナリトノ義ナリ

本章ノ旨ハ教祖在世ノ時ニ現レタル事實ヲ指スナリ蓋シ教祖始メテ救済ノ恩寵ヲ宣布シ給ヒシトキ官衙ハ之ニ干涉シ他教徒ハ之ヲ迫害

シ世人ハ笑罵誹謗ヲ以テ之ヲ迎ヘ殆ド困難ノ極ニ陷ラレタリ是ニ於
イテ一時布教ヲ中止スル議ヲ生シ少數ノ教徒聯合シテ祈禱ヲ行ヒシ
ニ神ハ教祖ニヨリテ扇諭ノ天啓ヲ垂レ給ヒタリ其ノ言ニ曰ハク汝等
ガ教ニ對スル信仰ハ扇ノ要ナリ扇ニシテ要アレバ之ヲ開クコトヲ得
ベキガ如ク汝等ニシテ信仰アレバ救濟ノ教ハ驚クバカリニ擴張セラ
ルベシト此ノ天啓ハ忽チニシテ事實ノ上ニ證明セラレタリ而シテ此
ノ天啓ヲ要求シタルモノハ教徒ノ信仰ナリ信仰ノ效驗豈不可思議ナ
ラズヤ

七下り目

一ッひとおとはなしはひのきしんにはひばか
りをかけておく

此ノ章ノ大意ハ一言ニテモ天啓救濟ノ福音ヲ世人ニ傳ヘテ布教ノ端
ヲ開クハ即チ是猷身的勞働ナルコトヲ示サレタルナリ
ひごこちはなしトハ一言半句ノ談話ナリひのきしんハ前釋ノ如シに
ほひばかりをかけておくトハ教ノ妙味ヲ簡短ナル談話ニ洩ラシ聞ク
モノヲシテ教ヲ慕ハシムルコト猶梅花林中ニ入ル人ヲシテ未ダ其ノ
樹ヲ發見セザルニ早ク既ニ其ノ馥郁タル芳香ヲ嗅グヲ得シムルガ如
キヲ云フナリ

我等教徒苟クモ其ノ人ヲ得テ之ト語レバ一言半句ノ談話ニモ亦教ノ
妙味ヲ悟ラシメ彼ヲシテ教ヲ慕ヒテ來リ就カシムルヲ得ベシ是即チ
にほひをかくるナリ然レドモ是ノ如キハ平素ノ信仰及ビ道德人ヲ感

ゼシムルモノニシテ之ヲ庶幾スベシ要スルニ我等教徒ノ一言一行ハ
教ニ影響スルコト至大ナリ豈慎重セザルベケンヤ

二ッふかいまゝろがあるなればたれもどめる
でないほごに

此ノ章ノ大意ハ我等教徒ノ深厚ナル信仰ヨリ出デタル行動及ビ事業
ハ其ノ意ニ任セ給フコトヲ示サレタルナリ
ふかいこゝろがあるなればトハ深厚ナル信仰アレバト言フ意ナリた
れもどめるでないほごにトハ之ヲ抑止セズ其ノ意ニ任セテ實行セシ
ムベシトノ義ナリ

我等教徒ガ教ノ爲ニスル一切ノ行動及ビ事業ハ布教ノ事ニモアレ教
會ノ事ニモアレ深厚ナル信仰ニ出ヅルニアラザレバ成就セズ假令成
就ストモ教ノ本意ニ合ハズシテ自他共ニ眞實ノ益アルコトナカルベ
シ是我等教徒教ノ爲ニスル一切ノ行動及ビ事業ノ精神的實行ヲ貴ブ

所以ナリ

三ッみなせかいのおゝろにはでんぢのいらぬ
ものはない

此ノ章ノ大意ハ天下萬人ノ心田ヲ必要トスルコトヲ譬喩ヲ以テ示サ
レタルナリ

みなせかいのこゝろにはトハ世人ノ心ニハト言フ意ナリでんぢのい
らぬものはないトハ田地ヲ必要トセザルモノハ無カルベシトノ義ナ
リ

田地ハ肉體生活ノ源ナリ苟モ之ニ穀種ヲ播キ培養シテ怠ルコト無ク
バ収獲豊饒ニシテ衣食充足スベシ誰カ之ヲ必要トセザランヤ心田ハ
精神生活ノ源ナリ救済ノ種子ヲ此ニ受け信仰ヲ以テ之ヲ培養スルト
キハ靈化發生シ道德及ビ幸福日ニ増進シテ永遠不滅的ナル精神ノ愉
樂ヲ得ベシ是ヲ以テ教祖ハ天下萬人ノ有形ノ田地ヲ必要トスル意ヲ

述ベテ無形ノ田地ノ更ニ必要ナル所以ノ譬喩トセラレタルナリ

四 ッよきぢがあらばいぢれつにたれもほしい
であらうがな

此ノ章ノ大意ハ天下萬人心田収獲ノ豊饒ヲ希望スルコトヲ譬喩ヲ以テ示サレタルナリ

よきぢがあらばトハ美田地アラバト言フ意ナリいぢれつハ世間一般ニナリたれもほしいであらうがなトハ誰モ美田ヲ心ニ欲スルナラントノ義ナリ

田地ニ美悪ノ差アリ苟モ美田ヲ得テ之ニ播種セバ其ノ生長速ニシテ収獲豊饒ナルベケレドモ悪田ハ之ニ反ス是世人ノ美田ヲ得ンコトヲ欲スル所以ナリ而シテ田地ニ美悪ノ差アルハ一ハ天然ノ土質ニ因リ一ハ培養ノ人功ニ因ル無形ノ心田ニ至リテモ亦然リ其ノ靈化ノ大小道德及ビ幸福ノ増減等ハ各人天稟ノ差及ビ信仰ノ厚薄ニ從ヒテ自ラ

異ナラザルヲ得ズ然レドモ其ノ不滅ノ靈化ヲ被リテ無限ノ恩寵ニ浴センコトハ天下萬人ノ同ジク希望スル所ニシテ猶美田ヲ得テ収獲ノ豊饒ヲ欲スルガ如クナルベキナリ本章ノ意蓋シ是ヲ謂フナリ

五 ッいづれのかたもおなじことわしもあのぢ
をもとめたい

此ノ章ノ大意ハ教祖自己モ心田ノ収獲ヲ欲シ給フコトヲ譬喩ヲ以テ示サレタルナリ

いづれのかたもたなじことトハ何人モ美田ヲ得ントノ欲望ハ同ジカルベシトノ意ナリわしもあのぢをもとめたいトハ我モ亦彼ノ田地ヲ得ンコトヲ欲ストノ義ナリ我トハ教祖自己ヲ稱セラレタルナリ

本章ハ教祖自己モ心田ニ救済恩寵ノ種子ヲ播キテ永久不滅的ノ靈化ヲ被ランコトヲ欲シ給フ意ヲ前來ノ譬喩ヲ以テ述べ給ヒ以テ我等人間ニ其ノ模範ヲ示シ實行ヲ奨励セラレタルナリ文章ニ就キテ之ヲ言

フトキハ第三章ヨリ本章ニ至ルマデハ同一ノ旨趣ニシテ層々三段トナリ語勢一層ハ一層ヨリ強ク意義一段ハ一段ヨリ進ミタリ

六ッむりにせうせいはいはんでなそこはめいくのむねしたい

此ノ章ノ大意ハ救済ノ恩寵ヲ受ケンコトヲ欲スルト否トハ我等ノ意ニ任セ給フコトヲ示サレタルナリ

むりにごうせいはいはんでなトハ我等ノ心ニ無キ所ヲ強ヒテ云々セヨト命ゼズトノ意ナリそこはめいくのむねしたいトハ其ノ事ヲ爲スト爲サザルトハ我等各自ノ意ニ任スベシトノ義ナリ

本章ノ旨趣ハ上三章ノ意ヲ承ケ心田ニ救済恩寵ノ種子ヲ播キテ不滅ノ靈化ヲ被ルコト猶美田ヲ得テ豊饒ナル収獲ヲ得ルガゴトクスルト否トハ一ニ我等ノ心ニ任セテ之ヲ強ヒ給ハザルニ在リ是暗ニ教ヲ信ズルハ自由意思ニ因ルヲ貴ブコトヲ示サレタルニテ謂ハユル信仰自

由ヲ重ンゼラレタルナリ

七ッなんでもでんぢがほしいからあたひはなにほといて

此ノ章ノ大意ハ教祖心田ノ収獲豊饒ヲランコトヲ欲シテ辛苦艱難ヲ辭シ給ハザルコトヲ譬喩ヲ以テ示サレタルナリ

なんでもでんぢがほしいからトハ必ズ田地ヲ得ンコトヲ欲スレバト言フ義ナリあたひはなにほといてトハ何程高價ナリトモ厭ハズシテ之ヲ求ムベシトノ義ナリ

美田ヲ得テ播種セント欲スルモノハ必ズ高價ヲ惜マズシテ之ヲ求ムベシ蓋シ其ノ収獲豊饒ニシテ價ヲ償フニ餘リアレバナリ心田ヲ開キテ救済恩寵ノ種子ヲ受ケントスルモノハ必ズ辛苦艱難ヲ辭セザルベシ蓋シ不滅ノ靈化ヲ被リテ永久ニ精神ノ愉快ヲ得ベケレバナリ本章ノ高價ハ教ノ爲ニスル辛苦艱難ヲ云フ而シテ教祖自ラ之ヲ辭シ給ハ

ザルコトヲ述ベテ大ニ決意ヲ示サレタルナリ
 前章ニ於イテハ各人信仰ノ任意ヲ説キテ第三章以下層々進ミ來レル
 文意ヲ一轉シテ其ノ勢ヲ緩メ本章ニ於イテ更ニ自己ノ決意ヲ述ベテ
 心田収獲ノ豊饒ヲ欲望スルコトヲ反覆シ以テ第三章以下ノ意ヲ完結
 セラレタリ何等ノ深切ゾ而シテ上來ノ譬喩此ニ至リテ極マリ次章ニ
 於イテ始メテ實義ヲ示サレタリ亦何等ノ巧妙ゾ

八ッやしきはかみのでんぢやでまいたるたね
 はみなはえる

此ノ章ノ大意ハ神殿即チ心ハ神ノ田地ニシテ之ニ播キタル種子ハ生
 長セザルコトナキヲ表明シテ上來譬喩ノ實義ヲ示サレタルナリ
 やしきは神殿ニシテ即チ我等ノ心ヲ言フナリかみのでんぢやでトハ
 我等ノ心ハ神ガ救済恩寵ノ種子ヲ下シ給フ田地ナリト云フ意ナリま
 いたるたねはみなはえるトハ此ノ田地ニ播キタル種子ハ皆生長スト

言フ義ナリ

何故ニ我等ノ心ヲ指シテ神殿ト言フカ蓋シ神ハ絶対無限ノ實在者ニ
 シテ精神態ニ存在シ給ヘリ又人間救済ノ原動力ニシテ我等ノ心ニ靈
 化ノ感應ヲ被ラシメ給フ此ノ如ク神ノ精神ガ我等ノ精神ト交通スル
 ハ即チ是神ガ我等ノ心ヲ以テ神殿トシ給ヘルナリ又我等ノ心ハ神ガ
 救済ノ恩寵ヲ下シ給フ所ナルガ故ニ之ヲ神ノ田地ト謂フ是神殿即チ
 神ノ田地ナル所以ナリ然ラバ又何故ニ此ノ田地ニ播キタル種子ハ皆
 生長スト言フカ我等人間ハ皆宗教心ヲ具スルモノナリ語ヲ換ヘテ之
 チ言ヘバ救済要求ノ心ヲ有スルモノナリ而シテ救済ノ恩寵之ニ下リ
 テ靈化發生スルハ恰モ田地ニ播カレタル穀種ノ生長スルト一般ニア
 ラズヤ是播キタル種子ハ皆生長セザルコトナキ所以ナリ
 救済ノ恩寵ノ初メテ我等ノ心ニ下ルニ當リテハ恰モ穀種ノ如ク極メ
 テ微小ナレドモ生氣充滿スルガ故ニ信仰ヲ以テ之ヲ培養スルトキハ
 日ニ生長シ道德及ビ幸福日ニ増進シ個人ニ現レテハ精神革新ノ原動

力トナリ社會ニ現レテハ世界改新ノ感化力トナル誠ニ是人間無量ノ
功德ナリ之ヲまいたるたねはみなはえるトハ謂フナリ

九ツこゝはこのよのでんぢならわしもしつか
りたねをまこ

此ノ章ノ大意ハ教祖自己ノ心田ニ救済恩籠ノ種子ヲ播カントシ給フ
コトヲ譬喩ヲ以テ示サレタルナリ

こゝはトハ心ノ謂ナリ即チ教祖自己ノ心ヲ指サレタルナリこのよの
でんぢならトハ心ハ即チ此ノ世界ニ於ケル神ノ田地ナレバト言フ意
ナリわしもしつかりたねをまこトハ我今力ヲ竭シテ救済恩籠ノ種子
ヲ播クベシトノ義ナリ

教祖ノ力ヲ竭シテ自己ノ心田ニ救済恩籠ノ種子ヲ播クベシト言ハレ
タルハ是世人ニ率先シテ其ノ模範ヲ示シ同ジク靈化ヲ被リテ道德及
ビ幸福ヲ増進セシメ以テ収獲ヲ豊饒ナラシメ給ハントナリ抑モ我等

ガ世間有形ノ田地ヲハ高價ヲ惜マズシテ求ムルハ肉體生活ノ源タル
ヲ以テナリ而シテ永遠不滅ナル精神生活ノ源泉タル救済ノ恩籠ニ至
リテハ之ヲ求メズ教祖ヲシテ反覆丁寧ニ開喩セシムルニ至リテハ教
祖ノ慈悲ハ無限ニシテ我等ノ信仰ハ薄弱ニアラズヤ此ヲ念ヘバ我等
ハ教祖ノ模範ニ従ヒ自己ノ心ヲ以テ神ノ田地トシテ救済恩籠ノ種子
ヲ此ニ受ケ信仰ヲ以テ培養シテ永遠不滅ナル精神生活ノ源泉トシ又
更ニ献身的労働ノ主義ニ依リ他人ヲシテ其ノ心田ニ救済恩籠ノ種子
ヲ受ケテ靈化ヲ發生セシメントチ努メ以テ功德無量ノ収獲ヲ取ラ
ザルベカラザルナリ

十トあのだびいぢれつによろあそたねをまき
にきたたねをまいたるそのかたはこえをおか
すにつくりどり

此ノ章ノ大意ハ救済恩籠ノ種子ヲ求メントテ來レルモノヲ美メ給ヘ

このたびハ教徒教祖ニ來リタル時ナリいぢれつハ前釋ノ如シよう夫
そたねをまきにきたトハ種子ヲ播キニ來レルヲ美メ給ヘル語ナリた
ねをまいたるそのかたトハ種子ヲ播キタル後ハト言フ義ナリ夫えを
たかすにつくりざりトハ世間有形ノ田地ト異ナリタルヲ示サレタル
モノニシテ信仰ノ培養ヲ要セズト言フ義ニハ非ザルナリ

本章ハ教徒教祖ノ導キ給ヘルマニく來リテ其ノ心田ニ救済恩寵ノ
種子ヲ受ケントセルヲ嘉シ給ヒ苟モ信仰ノ培養ヲ缺カズバ世間有形
ノ田地ト異ナリテ其ノ收穫必ズ豊饒ナルベシトノ意ヲ述ベ上來反覆
訓諭ノ效驗アリシヲ喜ビ給ヘルナリ

窃ニ思フニ基督教福音書ニ有名ナル播種ノ譬アリ是教祖ノ教訓ト甚
ダ相似タリ然レドモ彼ハ彼ノ信仰ノ譬喩ニシテ此ハ此ノ信仰ノ譬喩
ナリ故ニ相似タル所ハ譬喩ニシテ教理ニアラザルナリ一下リ目第三
章小兒ノ譬喩モ亦異ナルコトナキナリ

八下り目

一ッひろいせかいやくになかにいしもたちき
もないかいな

此ノ章ノ大意ハ教會ノ結成ヲ造營ニ譬ヘテ之ガ大工棟梁タルベキ教
會ノ創立者ヲ博ク求メ給フコトヲ示サレタルナリ

ひろいせかいやくになかトハ此ノ廣大ナル世界ノ國々ト言フ義ナリ
いしもたちきもないかいなトハ建築ニ必要ナル石材木材ハアラザル
カト言フ義ニテ石材木材トハ即チ大工棟梁ノ譬喩ナリ

二下り目第二章ニ解説セルガ如クふしんニ二義アリ而シテ本章ハ表
面ヨリ之ヲ觀ルトキハ神殿ノ造營ヲ意味スルニ似タレドモ裏面ヨリ
之ヲ觀ルトキハ全ク教會ノ結成ヲ意味ス即チ表面ノ意味ハ譬喩ニシ
テ裏面ノ意味コソ其ノ實義ナレ古ノ哲人曰ハク人ヨク道ヲ弘ム道ノ
人ヲ弘ムルニ非ズト是人力ヲ主トスル道德教ニ就キテ言ハバ或ハ然

ラン救済教ハ神ノ恩寵ニシテ生命アル宗教ナレバ人ニヨリテ弘マル
 宗教ニアラザルナリ然レドモ教會成立ノ要素タルモノハ金錢ニモア
 ラズ殿堂ニモアラズ將世間ノ名望及ビ勢力ニモアラズ唯神ノ恩寵ヲ
 自ラモ奉受シ他ニモ奉受セシメ献身的勞働ヲ以テ自ラ任ズル教徒ニ
 アレバ教祖ガ教會第一ノ創立者トシテ大工棟梁ヲ求メ給フコトハ誠
 ニ故アルナリ我等教徒タルモノハ教祖ノ精神ヲ奉體セザルベカラズ
 二ツふしぎなふしんをするなれどたれにたの
 みはかけんでな

此ノ章ノ大意ハ教會ノ結成ハ我等教徒ノ意ニ任セ給フコトヲ示サレ
 タルナリ

ふしぎなふしんとハ教會ノ結成ニ譬ヘラレタルニテ教會ノ結成ハ心
 ナ主トスルガ故ニ斯ク言ハレタルナリたれにたのみはかけんでなハ
 誰人ニモ頼マズトノ義ナリ此ノ章實ハ下ノ第三章ト相聯ナリテ意義

ヲ完成スルナリ

上章ニハ教會成立ノ要素タル大工棟梁ヲ求メ給フコト彼ガ如ク本章
 ニハ教會ノ結成ヲ教徒ノ意ニ任セ給フコト此ノ如シ是前後自ラ相違
 スルガ如クナレドモ然ラズ教祖ノ求メ給フ所ハ教會成立ノ原因ナリ
 教會成立ノ結果ニアラザルナリ之ニ反シテ他人ノ求ムル所ハ教會成
 立ノ結果ナリ教會成立ノ原因ニアラザルナリ其ノ原因アリテ其ノ結
 果ヲ待ツハ理ノ自然ニシテ事ノ成ル所以ナリ其ノ原因ナクシテ其ノ
 結果ヲ求ムルハ理ノ非自然ニシテ事ノ敗ル、所以ナリ理事明瞭ナル
 コト此ノ如シ豈前後相違ナリトセンヤ

三ツみななんくとせかいからよりきたことな
 らでけてくる

此ノ章ノ大意ハ教會ノ結成ハ教徒信仰ノ結果トシテ自然ニ成立スル
 コトヲ示サレタルナリ

みなだんくごせかいからよりきたことならでけてくるトハ教徒漸
漸四方ヨリ集マリ來レバ教會自然ニ成立スト言フ意義ナリ
凡ソ地ノ遠近ヲ問ハズ人ノ階級ヲ論ゼズ四方ヨリ教ニ來リ從フモノ
ハ權力ヲ以テ之ヲ招クニアラズ利欲ヲ以テ之ヲ誘フニアラズ彼皆救
濟ノ恩寵ヲ被ラントテ來ルナリ此ノ教徒信仰ノ結合スル所即チ教會
ノ成立スル所ナリ

四 ッよくのあゝろをうちわすれとくとあゝろ をさためかけ

此ノ章ノ大意ハ教會ノ結成ハ私欲ノ心ヲ去リテ從事スベキコトヲ示
サレタルナリ
よくのあゝろをうちわすれトハ私欲ヲ去レト言フ意ナリとくとあゝ
ろをさためかけトハ信仰ノ心ヲ堅定セヨトノ義ナリ
私欲ト信仰トハ相容レズ故ニ教會ノ結成ニシテ私欲ノ心ヲ雜フルト

キハ信仰之ニ從ヒテ缺乏ス之ニ反シテ信仰ノ心堅キトキハ私欲之ニ
從ヒテ消滅ス衰退セル信仰ヲ以テ教會ヲ結成スルハ油ニ乏シキ燈ニ
點火スルガ如ク其ノ光ノ久シカラシコトヲ望ムヲ得ザルナリ
抑モ私欲トハ獨金錢ニ對スル貪欲ノミヲ指スニ非ズ名譽權力ノ競争
傲慢詭譎ノ習風等總ベテ八個ノ欲塵ヨリ生ズルモノハ皆是私欲ナリ

五 ッいつまでみあはせむたるともうちからす るのやないほごに

此ノ章ノ大意ハ教會ノ結成ハ内ヨリセズシテ外ヨリスルモノナルコ
トヲ示サレタルナリ
いつまでみあはせむたるともトハ教會ノ結成ヲ延期シテ久シキニ至
ルトモト言フ意ナリうちからするのやないほごにトハ教會ノ結成ハ
内ヨリハ之ヲサズトノ義ナリ
教會ノ創立者ニシテ己マツ神ノ救濟ノ恩寵ヲ奉受シ之ヲ他ニ宣布セ

ントシテ献身的労働ヲ以テ自ラ任ズルコト第一章ニ解説セルガ如クナルトキハ教會自然ニ結成セラルベシ是内ヨリ權力ヲ以テ強フルニ非ズ利欲ヲ以テ誘フニ非ズ其ノ事業ヲ慎重ニセンコトヲ望ミテ之ヲ延期ストモ機已ニ熟セバ教徒等先ヲ争ヒテ子來シ信仰ヲ同シクスル者ノ結合スル所教會ノ成立ヲ見ルニ至ルベキナリ

六 ムしやうやたらにせきこむなむねのうちよりしあんせよ

此ノ章ノ大意ハ教ニ對スル行動及ビ事業ハ慎重ノ上ニ慎重ヲ加フベキコトヲ示サレタルナリ
むしやうやたらにせきこむなトハ躁急切迫ナルコトナカレトノ意ナリむねのうちよりしあんせよトハ慎重ニ思慮セヨト言フ義ナリ
教ノ事タル二下リ目第二章ノ下ニ解説セルガ如ク先後緩急ノ順序アリ心ノ改造ト教會ノ結成トヲ相對スレバ心ノ改造ハ先ニシテ教會ノ

結成ハ後ナリ故ニ心ノ改造ハ之ヲ急ニシテ教會ノ結成ハ之ヲ緩ニセザルベカラズ是ノ如キハ先後緩急ノ順序ナリ然レバ我等教徒ハ一ノ行動ヲナスニモ一ノ事業ヲナスニモ必ズ先後ヲ察シ緩急ヲ顧ミ然ル後ニ着手セザルベカラズ躁急切迫ハ豈大事ヲ成ス所以ナランヤ而シテ更ニ最モ肝要ナルハ一ノ行動ヲナシ一ノ事業ヲナサントスルニ方リテ此ハ果シテ真正ナル信仰ニ出デ、神ノ御心ニ合フコトナルカ又此ハ私欲雜リテ神ノ御心ニ合ハザルニアラザルカト痛ク自ラ省察シテ然ル後ニ實行スル一事ニ在リ

七 ムなにかこゝろがすんだならばやくふしんにとりかゝれ

此ノ章ノ大意ハ心既ニ清淨ナルニ至ラバ教會ノ結成ニ従事スベキコトヲ示サレタルナリ
なにかこゝろがすんだならば欲塵ヲ去リテ心清淨ニナリタラバト

言フ義ナリはやくハ急速ニノ意ナリふしんにこりかゝれトハ教會ノ
 結成ニ從事スベシトノ義ナリ
 前章ニハ教ニ對スル行動及ビ事業ハ先後ヲ察シ緩急ヲ順ミテ之ヲ爲
 スベキコトヲ示シ本章ハ其ノ意ヲ承ケテ心既ニ清淨ナルニ至ラバ順
 序トシテ教會ノ結成ニ從事スベキコトヲ教ヘラレタリ而シテ特ニは
 やくノ語ヲ用井ラレタルハ緩急シテ機會ヲ失ハザラシメンコトヲ欲
 セラレタレバナリ
 水ヲ清メント欲スルモノハ其ノ泥濁ヲ去ラザルベカラズ心ヲ清メン
 ト欲スルモノハ我等罪惡ノ本源タル欲塵ヲ去ラザルベカラズ何ニヨ
 リテ之ヲ去ルベキカ五下リ目第三章ニ示サレタルガ如ク靈化ノ勢力
 ニ由ルベキナリ然レドモ欲塵ヲ去リテ心水ヲ清ムル理由ニ至リテハ
 此ニ一言シテ之ヲ解説セザルベカラズ
 欲塵ノ第一ハ「ほしい」即チ貪婪ナリソレ貪婪ノ心塵トナリ罪惡ノ本源
 タルベキモノニ類アリ他人ニ害毒ヲ與フルニアラザレバ我ノ欲望ヲ

達スベカラザルモノ第一類ナリ是即チ純然タル罪惡ノ性質ヲ有スル
 モノニシテ殺盜詐偽邪淫等ノ如キモノ是ナリ第二類ハ本來他人ニ害
 毒ヲ與フル欲望ニハアラザレドモ自己獨之ヲ專ラニシテ他人ニ分タ
 ザレバ同情ニ悖リテ貪欲タルコトヲ免レザルモノナイフ己ノ欲スル
 所ハ之ヲ人ニ施スト言フ格言ハ此ノ場合ニ適用セラル、ナリ要スル
 ニ此ノ二類ハ罪惡ノ本源ナリ次ナル欲塵ハ「をしい」即チ慳吝ナリ是獨
 財物ニ就キテ言フノミナラズ凡ソ萬事萬物ニ對シ劣等的ヲ捨テ、高
 等的ヲ取り暫時的ヲ捨テ、永久的ヲ取り小體的ヲ捨テ、大體的ヲ取
 ルコト能ハザルモノ皆是欲塵タルヲ免レザルナリ次ナル欲塵ハ「かは
 い」即チ邪愛ナリ愛ハ人ノ天性ニシテ善ク用ウレバ美ナレドモ理義ヲ
 以テ之ヲ制セザレバ邪愛トナル而シテ愛ニ執着スレバ愛別ノ苦トナ
 ル是皆罪惡及ビ苦惱ノ本源ナリ次ナル欲塵ハ「にくい」即チ憎惡ナリ憎
 惡ハ正理ニ合フモノ、外ハ惡意ヨリ害意ニ進ム而シテ人類ノ同情ヲ
 殺スモノ是ヨリ甚シキハナシ次ナル欲塵ハ「うらみ」即チ怨恨ナリ是亦

正理ニ合フモノ、外ハ自己ニ對シテハ苦惱ノ因トナリ他ニ對シテハ報復ノ因トナル而シテ苦惱モ報復モ罪惡タルコトヲ免レズ次ナル欲塵ハ「ほらだち」即チ忿怒ナリ是亦愛情同情ニ反對スルモノニシテ内心外平和ノ大敵ナリ次ナル欲塵ハ「かうまん」即チ高慢ニシテ智徳ヲ害シ同情ヲ害スルモノナリ之ヲ概スルニ是等欲塵ハ我等人間ノ心ニ伏在スルモノニシテ罪惡ノ因タラザレバ苦惱ノ因タルモノナリ那レノ點ヨリ觀察スルモ我等ノ心源ヲ濁ラシテ神性ノ開發ヲ碍グルモノニアラザルハナシ故ニ欲塵ヲ去レバ心源自ラ清ムナリ心源既ニ清ムバ智徳自ラ長シ幸福自ラ増進シ神性自ラ開發スルナリ是罪惡及ヒ禍害ヲ擺脫シ無上目的ニ向ヒテ進行スル所以ナリ

八ッ やまのなかへといりこんでいしもたちき
もみておいた

此ノ章ノ大意ハ教會ノ創立者タルベキ大工棟梁既ニ其ノ人ヲ得タル

コトヲ譬諭ニテ示サレタルナリ
やまのなかへといりこんでトハ山林ノ中ニ分ケ入りテト言フ意ナリ
いしもたちきもみておいたトハ造營ノ用ニ供スル石材木材ヲ發見シ
置キタリトノ義ナリ

石材木材ハ造營ニ必要ナルモノニシテ即チ教會創立ノ要素タル大工棟梁ノ譬諭ナルコト第一章ニ解説セルガ如シ山中トハ石材木材ノ在ル所ニシテ廣ク大工棟梁ノ居ルベキ地ヲ指サレタルナリ即チ第一章ニひろいせかいやくになかトアルニ同シ而シテ本章ト第一章ト異ナル所ハ彼ハ教會ノ創立者タルベキモノヲ廣ク求メ給フ意ヲ示シ此ハ靈眼ヲ以テ既ニ其ノ適任者ヲ選定シ給ヘルコトヲ示サレタルニ在ルナリ

九ッ おのきさらうかあのいしとおもへどかみのむねしたい

此ノ章ノ大意ハ教會ノ創立者タルベキ大工棟梁ヲ選定スルハ神ノ御心ニ從フコトヲ示サレタルナリ

このききらうかあのいしごねもへびトハ此ノ木ヲ伐ルモ彼ノ石ヲ用ウルモト言フ意ナリかみのむねしだいトハ一ニ神ノ御心ニ從フベシトノ義ナリ

教祖ノ靈眼ヲ以テ選ミ給ヘルモノハ即チ神ノ御心ニ合ヘルコト固ヨリ言ヲ俟タザルナリ然レドモ教祖既ニ歸幽シ給ヘル今日ニ方リテ大工棟梁ヲ選定セント欲セバ教祖ノ定メ給ヘル遺法ニヨリテ之ヲ神ノ天啓ニ仰グ外ナシ故ニ此ノ天啓ノ示ス所ハ即チ神ノ御心ニ合フモノナリ

十^ドおのたびいぢれつにすみきりまじたがむねのうち

此ノ章ノ大意ハ教會ノ結成ヲ始ムル時ニ神ニ謝シ奉ルベキ詞ヲ示サ

レタルナリ

おのたびトハ我等教徒ガ教會ノ結成ヲ始ムル時ヲ云フいぢれつにハ教會ヲ結成セントスル者一同ヲ云フナリすみきりまじたがむねのうちハ四下リ目第十章ト同意義ナリ其ノ解説ハ彼所ニ於イテ觀ル可シ

九下り目

一ッひろいせかいをうちまはりいつせんにせんでたすけゆく

此ノ章ノ大意ハ布教ノ要ハ心ノ洗滌ニアルコトヲ示サレタルナリ
ひろいせかいをうちまはりトハ布教ノ爲ニ廣ク四方ヲ巡廻スルヲ言
フナリいつせんにせんでたすけゆくトハ天下同胞ノ心ヲ洗滌シテ救
濟ノ恩寵ヲ被ラシムルヲ言フナリいつせんにせんハ即チ一洗二洗ニ
シテ再三洗滌スル謂ナリ

欲塵ハ心ヲシテ汚濁ナラシムル所以ナリ欲塵ヲ洗滌スルハ心ヲ清淨
ナラシムル所以ナリ五下り目第三章ニ解説セルガ如ク汚濁ノ原因ハ
欲塵ニ在リテ清淨ノ原因ハ靈化ニ存ス然レバ救濟ノ恩寵ヲ宣布スル
布教者ハ勞苦ヲ厭ハズシテ四方ニ奔走シ教會ヲ結成スルニモ信徒ヲ
策勵スルニモ欲塵ヲ洗滌スルヲ以テ第一義トセザルベカラズ而シテ

欲塵ヲ洗滌スルハ自他ノ信仰ヲ振興スルニ在ルナリ

二ツふじゆうなきやうにしてやらうかみのこ
ころにもたれつけ

此ノ章ノ大意ハ救済ノ恩寵ヲ被リテ身心ノ苦ヲ免レント欲スルモノ
ハ神ニ信賴スベキコトヲ示サレタルナリ
ふじゆうなきやうにしてやらうトハ我等人間ヲ身心ノ苦ヨリ救フベ
シト言フ意ナリかみのこ、ろにもたれつけトハ神ノ恩寵ニ信賴シ奉
レントノ義ナリ

神ニシテ一切能ヲ缺キ給フトキハ一切知一切善ナリトモ人間救済ノ
原動力トハナリ給フベカラズ神ノ一切能ハ何ニヨリテ之ヲ窺測シ得
ルカト言フニ其ノ絶對無限ノ實在者ナルト宇宙萬有ノ原因ナルトニ
存ス絶對無限ノ實在者ナルガ故ニ自ラ存在シ活動スル勢力ヲ自己ニ
有シテ他ノ制限ヲ受ケズ抑又絶對無限ノ實在者ニシテ宇宙萬有ノ原

因タレバ萬事萬物ハ神ノ意ノ如クナラザルハナク亦神ノ意ニ抗スル
モノナシ是神ノ一切能ナル所以ナリ此ノ一切能ヲ有スル神ニシテ人
間救済ノ原動力タランニハ神意ノ在ル所一トシテ成ラザルハナカル
ベシ斯ク言フトキハ又神ハ何故ニ罪惡及ビ禍害ヲ生起セザラシメ給
ハザルカト難詰スルモノアルベケレドモ此ノ難詰ハ毫モ神ノ一切能
ヲ害セズ亦其ノ救済ノ原動力タルコトヲ害セザルナリ何トナレバ罪
惡及ビ禍害ハ我等人間ガ無上目的ニ向ヒテ發達セントスル必然過程
ニシテ此ノ罪惡及ビ禍害ノ生起ナカラシメバ我等人間ハ救済ノ恩寵
ヲ要求セズ從ヒテ我等人間ハ無上目的ニ向ヒテ發達スルコト能ハザ
レバナリ然レバ此ノ必然過程ト無上目的トハ絶對無限ナル神ガ活動
ノ重要部分ナリ故ニ救済ハ我等人間ニ於イテ偶然ニ出デタル損害ノ
回復ノ如クナレドモ神ニ於イテハ人間發達ノ必然過程トシ給フナ
リ是ノ如クナレバ一切能ヲ有スル神ハ我等ニ救済ノ恩寵ヲ與ヘ給フ
ガ爲ニハ即チ一切能ヲ用井給フベシ是ヲ以テ我等一切ノ身心ノ苦ハ

皆神ノ恩寵ニヨリテ擺脫セラル、時アル可キナリ本章ノ意之ヲ謂フナリ

三ツみればせかいのころにはよくがまじりてあるほごに

此ノ章ハ下ノ第四章ト合セテ一章トシテ其ノ意ヲ解釋スルコトヲ得ベシ

みればハ教祖靈眼ニテ觀給フナリせかいのころハ全世界人類ノ心ナリよくがまじりてあるほごにトハ欲塵心ニ伏在スルヲ言フナリ

四ツよくががあるならやめてくれかみのうけと
りでけんから

此ノ章ヲ上ノ第三章ト合セテ一章トナシテ之ヲ解釋スレバ其ノ大意ハ欲塵ヲ去ラザレバ其ノ禱ル所神ニ聽受セラレザルコトヲ示サレタ

ルナリ

よくがあるならやめてくれトハ欲塵ヲ去レトノ義ナリかみのうけミ
リでけんからトハ欲塵ヲ去ラザレバ其ノ禱ル所神ニ聽受セラレズト
言フ意ナリ

救濟ノ恩寵ヲ被ラントシテ神ニ信賴スルモノハ固ヨリ罪惡及ビ禍害
ヲ擺脫センガ爲ナリ然レバ此ノ人ハ未ダ罪惡ヲ免レザル人ニシテ罪
惡ノ本源タル欲塵其ノ心ニ伏在スルコトハ言ヲ竝タズ然ラザレバ何
ノ必要アリテカ救濟ノ恩寵ヲ被ラントシテ神ニ信賴センヤ然ルニ本
章欲塵ヲ抱クモノハ神ニ聽受セラレズト顯示セラレタルハ何ノ義ゾ
曰ハク欲塵ニ既發ト未發トアリ既發ニ至リテハ既ニ是欲塵ノ發動シ
テ罪惡トナラントスルモノニシテ我等良心ノ否認スル所ナリ本章ノ
欲塵ハ蓋シ之ヲ謂フナリ此ノ如キ欲塵ヲ抱クモノハ罪惡ヲ自認セズ
悔改ノ實ナキモノナリ悔改ノ實ナク罪惡ヲ自認セザルモノハ真正ノ
信仰ヲ有スルモノニアラザルナリ真正ノ信仰ナキモノニシテ救濟ノ

恩寵ヲ神ニ聽受セラレント欲ストモソレ得ベケンヤ然レバ本章ノ旨
趣ハ欲塵ヲ有スルモノハ救濟ノ恩寵ヲ被ルコト能ハズト言フニ在ラ
ズシテ信仰ナキモノハ救濟ノ恩寵ヲ被ラズト言フニ在ルナリ善ク此
ノ意ヲ明辨セバ疑難ヲ解スルコトヲ得ベシ

五ッ いづれのかたもおなじことしあんさため
てついでこい

此ノ章ノ大意ハ眞正ナル信仰ハ深實ナル思慮ニ基クコトヲ示サレタ
ルナリ

いづれのかたもおなじことしあんさだめてついでこいトハ何等ノ人
ヲ問ハズ教ヲ信ゼント欲スルニ於イテハ深ク思慮シテ然ル後ニ我ニ
従フベシト言フ意ナリ

凡ソ輕々シク信ズルモノハ其ノ信必ズ堅固ナラザルハ自然ノ理ナリ
然レバ教ヲ信ゼント欲スルモノハ何故ニ教祖ノ教ハ信ゼザルベカラ

ザルカト言フ理由ヲ明ニシ即チ我ノ罪惡及ビ禍害中ニ在ルコトヲ確
信シ又教祖ノ教ニアラザレバ我が救濟ノ要求ヲ満足セシムルコト能
ハザルヲ確信シテ然ル後ニ教ニ従フベシ此ノ如クナルトキハ其ノ信
仰堅固ニシテ動カスベカラズ教ノ爲ニ如何ニ困苦ニ陥ルトモ危難ニ
遭フトモ其ノ志操益堅クシテ變ズルコトナク終ニ十分ニ救濟ノ恩寵
ヲ被ルコトヲ得ベシ本章ト一下リ目第九章トハ同シク信仰ヲ堅固ニ
スベキ意ニシテ唯本章ハ其ノ初ヲ言ヒ一下リ目第九章ハ其ノ後ヲ言
ハレタリ是其ノ異ナル所ナリ

六ッ むりにでようといふでないこゝろさため
のつくまでは

此ノ章ノ大意ハ深實ナル思慮定マリテ然ル後ニ教ニ從事スベキコト
ヲ示サレタルナリ

むりにでようといふでないこゝろさだめのつくまではトハ我等ノ深

實ナル思慮未ダ定マラザレバ出デ、教ニ從事セヨト強ヒテハ勸メズト言フ義ナリ

本章及ビ七下リ目第六章十二下リ目第六章皆同一旨趣ナリ

七ッなかくこのたびいちれつにしつかりしあんをせにやならん

此ノ章ノ大意ハ救済ノ恩寵ノ宣布ハ全世界人類ノ一大事ニシテ深く究察セザルベカラザルコトヲ示サレタルナリ

なかくハ非常切要ノ義ナリこのたびハ教祖本教宣布ノ初テ言フナリいちれつハ前釋ノ如シしあんをせにやならんトハ深く究察セザルベカラズト言フ義ナリ

序歌十一章ノ解説ヲ了會シタルモノニハ本章ノ旨趣ハ解説ヲ待タズシテ明瞭ナルベシ

八ッやまのなかでもあちこちとてんりわうのつとめする

此ノ章ノ大意ハ教祖ノ教廣ク行ハレタルコトヲ示サレタルナリやまのなかでもあちこちトハ此處彼處ノ山中ニモト言フ意ナリてんりわうトハ天理大神ナリつとめするトハ御神樂勤ヲ奉行スルモノアリトノ義ナリ

教祖ノ教一世ヲ化スルコト猶春風ノ來ルガ如ク深山幽谷ノ中ニアルモノモ自然陽氣ニ感シ花自ラ發キ鳥自ラ囀ルト一般ニシテ教祖在世ノ時遠近山中ノ民誰教ヘザルニ御神樂勤ヲ奉行スルモノ日ニ多カリキ是自然ノ感化ヲ被リタルモノニ相違ナケレドモ未ダ真正ノ信仰ヲ得タルモノニアラザルナリ是ノ如キハ我ヨリ之ヲ言ヘバ救済ノ恩寵ノ一世ヲ風動スル勢力ヲ徴スルニ足ルベケレドモ彼ヨリ之ヲ言ヘバ未ダ天啓ノ教理ヲ聞カズシテ唯御神樂勤ノ禮儀是務ムルモノナリ豈

借ムベキニアラズヤ

てんりわうトハ即チ天理大神ナリ何故ニ神名チ天理ト稱シ奉ルカ蓋シ天啓ノ教ハ皆是天理ナリ天啓ヲ奉受シ給ヒタル教祖ノ教訓亦是天理ナリ此ノ御神樂歌全部即チ是天理ナリ要スルニ宇宙間ノ森羅萬象悉ク是天理ニ由ラザルモノナシ故ニ之チ其ノ本源タル神ニ歸シ奉リテ天理大神ト稱スルナリ

九ツこゝでつとめをしてるれどむねのわかり
たものはない

此ノ章ノ大意ハ彼ノ山中ノ民御神樂勤ヲ奉行スルノミニシテ天啓ノ教ヲ聞カザルコトヲ示サレタルナリ

こゝでハ彼ノ山中ヲ指スナリつとめをしてるれどハ御神樂勤ヲ奉行シテ居レドモト言フ意ナリむねのわかりたものはないトハ未ダ天啓ノ教ヲ聞カザレバ信仰ヲ得ズト言フ義ナリ

御神樂勤ハ本教ノ重要ナル禮儀ニシテ靈化其ノ中ニ在ルコト二下リ目第一章ニ解説セルガ如シ然レドモ靈化ト天啓トハ協同シテ勤クモノニシテ天啓ヲ離レタル靈化アルコトナシ故ニ教ヲ信ズルモノニアリテハ未ダ嘗テ御神樂勤ヲ奉行セザルハアラズサリトテ御神樂勤ヲ奉行スルノミニテハ未ダ必ズシモ教ヲ信ズルモノト謂フベカラズ抑モ御神樂勤ノ事タル上ニ解説シタルガ如ク表裏一致内外相應ノ實ヲ表スルニアリ即チ心ニ信ズル所ハ之チ口ニ發ス此ニ於イテ御神樂歌トナル口ニ發スル所ハ之チ身ニ行フ此ニ於イテ御神樂舞トナル今彼ノ山中ノ民口ニ御神樂歌ヲ唱ヘ身ニ御神樂舞ヲ行ヘドモ其ノ心信仰ナケレバ御神樂勤果シテ何ノ益カアル嗚呼是獨山中ノ民ノミナラザルナリ

とてをかみなをよびたせばはやくこもどへた
づねでよ

此ノ章ノ大意ハ神ノ御名ヲ唱フルモノハ須ラク御名ニ就キテ教ヲ問フベキコトヲ示サレタルナリ
 ごとにかみなをよびだせばトハ神ノ御名ヲ唱フル程ナレバト言フ意ナリはやくハ急速ニナリこもごへたづねてよトハ我ニ就キテ御名ノ意義ヲ問ヘヨト教祖自ラ言ハレタルナリ
 天理大神トイフ神ノ御名ハ如何ナル意義ナルカ此ノ意義ヲ知レバ天啓救済ノ教ヲ知ルコトヲ得ルナリ然レバ朝夕御神樂勤ヲ奉行レ天理大神ノ御名ヲ唱ヘ奉リナガラ曾テ我等救済ノ本源ナル天啓ノ教ヲ聞カズトハ豈亦惜ムベキコトノ至リナラズヤ

十下り目

一ッひとのこゝろといふものはちよとにわか
 らんものなるぞ

此ノ章ノ大意ハ人心ノ知リ難キコトヲ示サレタルナリ
 ひさのこゝろハ人心ナリちよとにわからんものなるぞトハ容易ニ知ルベカラズトノ意ナリ
 六下り目第三章ニハみなせかいのむねのうちかがみのごとくにうつるなりト言ヒテ人心秘密ノ洞觀スベキコトヲ顯示シ本章ニハ人心ノ知リ難キコトヲ顯示セラレタリ是自ラ前後相違スルモノニアラズヤ
 曰ハク前者ハ教祖ノ靈眼ノ洞觀スル所ヲ示サレタルナリ後者ハ我等教徒ノ凡眼ノ察知スル所ヲ示サレタルナリ然ラバ本章ハ教祖何ノ必要アリテ之ヲ教訓セラレタルカ曰ハク凡人ハ外忠良ニシテ内狡詐ナルモノアリ外柔弱ニシテ内剛強ナルモノアリ外賢智ニシテ内愚劣

ナルモノアリ外粗野ニシテ内精密ナルモノアリ外面ノ容貌言語行動ニ徴シテ内面ノ善悪邪正誠偽ヲ知ラント欲スルハ豈凡眼ノ能クスル所ナランヤ然レドモ教會ヲ監督シ布教ニ従事スル任務アルモノハ天下多數ノ人物ニ接スルヲ以テ人ヲ知ラザル可カラズ人ヲ知ラズシテ之ガ爲ニ誤ラル、時ハ後悔ストモ何ゾ及バン是教祖ノ此ノ教訓アル所以ナリ然ラバ如何ニシテ可ナルベキカ曰ハク我唯至誠ヲ以テ人ニ對スルノミ我至誠ヲ以テ人ニ對スレバ人モ亦至誠ヲ以テ我ニ對セン此ノ如クナレバ一時或ハ姦曲狡詐ナル輩ニ欺カル、コトアリトモ我ノ至誠透徹スレバ彼終ニ我ニ感化セラル、ニ至ルベシ未ダ靈眼ヲ有シ給ハザリシ以前ノ教祖ハ蓋シ此ノ如クナリシナリ是豈我等ノ模範ニアラズヤ

二ッふしぎなたすけをしてるれどあらはれで
るのぢいまはじめ

此ノ章ノ大意ハ天啓ノ教教祖ニヨリテ成立セルコトヲ示サレタルナリ
ふしぎなたすけハ前釋ノ如シあらはれでるのがいまはじめトハ神天啓ノ教ヲ全世界ニ垂レ給フハ教祖ノ教ヨリ始マルト言フ意ナリ
神其ノ人間救濟ノ原動力タル方面ヲ顯シテ全世界ニ恩寵ヲ與ヘ給フハ素ヨリ教祖天啓ノ教ニ始マルト雖モ斯ノ時ヨリ以前ニハ救濟ノ恩寵ヲ與ヘ給ハザリキトハ云フベカラズ又靈化ヲ蒙リシ者無シト云フベカラズ然レドモ其ノ靈化ハ天啓ト協同セザル靈化ナリシガ故ニ個人ニ對シテハ勢力アリシカドモ救濟ノ恩寵人類ニ宣布シテ宇内通行ノ宗教タルニ至ラザリキ古來ノ宗教皆然ラザルハナシ然ルニ今神ハ教祖ニ救濟者タルベキ天職ヲ與ヘテ教ヲ宣布セシメ給ヘリ是ニ於イテ神ノ御名ハ我等ニ唱ヘラレ天啓ノ教ハ宇内通行ノ宗教トナルニ至レリ

三ツみづのなかなるこのどろろはやくいたして
もらひたい

此ノ章ノ大意ハ我等ガ欲塵ヲ去ル切望ヲバ譬喩ヲ以テ示サレタルナ
リ
みづのなかトハ即チ我等人間ノ心中ヲ言フナリどろろハ即チ泥ニシ
テ我等ノ欲塵ニ喩ヘラレタルナリはやくいだしてもらひたいトハ速
ニ我等ノ欲塵ヲ去リテ神ノ清淨ナル意志ニ一致セシメ給ハンコトヲ
切望ストノ意ナリ
神ハ活動ニ現ル、上ニ於イテハ宇宙萬有ノ變化ヲ示シ給ヘドモ本體
ニ至リテハ恒久不變ナリ故ニ其ノ一切善ハ終始變ズルコトナシ神ノ
清淨トハ此ノ一切善ヲ言フナリ然レバ我等人間ハ欲塵ヲ去リテ神ノ
意志ト一致スレバ何時ニテモ神ノ清淨ニ復スルコトヲ得ベシ然レド
モ我等ノ自力ニテ欲塵ヲ去ルハ到底不可能ノ事ナリ況ンヤ神ノ清淨

ニ復スルニ於イテチヤ然ラバ如何ニシテ欲塵ヲ去ルベキカ如何ニシ
テ神ノ清淨ニ復スベキカ必ズ罪惡及ビ禍害ノ觀念ヲ起シ救濟ノ要求
ヲ生ジテ神ノ恩寵ニ仰賴セザルベカラズ然ル後ニ始メテ欲塵ヲ去ル
コトヲ得ベキノミ神ノ清淨ニ復スルコトヲ得ベキノミ

四ツよくにきりないどろみづやこゝろすみさ
れどくらくや

此ノ章ノ大意ハ我等ノ心神清淨ニ復スレバ此ノ世界即チ最上樂土
ナルコトヲ示サレタルナリ
よくにきりないどろみづやトハ我等ノ心欲塵限リナク兢起スレバ此
ノ世界即チ泥海ナリト言フ意ナリこゝろすみされどくらくやトハ我
等ノ心清淨ナレバ此ノ世界即チ最上樂土ナリトノ意ナリ
最上樂土ノ解説ハ四下リ目第九章ノ下ニ詳カナリ

五ッ いつくまでもこのことははなしのたねに
なるほとに

此ノ章ノ大意ハ教祖ガ天啓ノ教ヲ奉受シテ之ヲ世界ニ宣布セラレタルハ天長地久ニ人類最大ノ眞理トシテ世ニ語ラルベキコトヲ示サレタルナリ
いつくまでもハ即チ無窮ニナリこのことはトハ教祖ガ天啓ヲ奉受セラレタルヲ言フナリはなしのたねになるほとにトハ我等人間ノ一大事トシテ世ニ語ラル、ヲ言フナリ
古來幾多偉人ノ行爲ハ人間ノ模範トシテ世ニ傳ヘラレ又其ノ思想ハ人間ノ教訓トシテ世ニ傳ヘラル皆是萬代不滅ナリ而シテ東洋ノ人ハ久シク西洋偉人ノ行爲及ビ思想ヲ知ラザリシカドモ人生ノ價值ヲ失ハズ西洋ノ人ハ亦久シク東洋偉人ノ行爲及ビ思想ヲ知ラザリシカドモ亦人生ノ價值ヲ失ハザリシハ是其ノ互ニ絶對的ニ必要ナラザリシ

ヲ知ルベシ獨教祖ノ教ニ至リテハ全世界人類一タビ救濟ノ要求ヲ生ジタルモノニハ皆必要ナルモノナレバ將來全世界ニ通ジテ天長地久ニ人類最大ノ眞理トシテ語ラル、モノハ實ニ教祖ノ教ナリ是ヲいついつまでもはなしのたねになるトハ謂フナリ

六ッ むといことばをたしたるものはやくたすけ
をいそぐから

此ノ章ノ大意ハ教祖ノ大慈悲心ヲ示サレタルナリ
むといことばをだしたるもトハ嚴酷ナル語ヲ用井タルモト言フ意ナリはやくたすけをいそぐからトハ一日モ早く我等ニ救濟ノ恩寵ヲ與ヘント急ギ給フガ故ニ斯ク嚴酷ナル語ヲ用井ラレタリトノ義ナリ
神ノ慈悲ハ無限ニシテ人間救濟ノ原動力トナリ給フ而シテ我等人類ノ中ニ在リテ最モ神ノ慈悲ヲ體セラレタルハ教祖ナリ然レバ教祖ハ我等ノ幸福ヲ見テハ之ヲ喜ビ我等ノ不幸ヲ見テハ之ヲ悲ミ給フコト

世ノ慈母ガ其ノ赤子ヲ愛スルガ如シ豈好ンデ我等ニ對シテ嚴酷ナル語ヲ用井給ハンヤ其ノ已ムヲ得ズシテ嚴酷ナル語ヲ用井給ヘルハ一日モ早ク我等ニ救濟ノ恩寵ヲ與ヘ給ハントノ慈悲ニ出デタルヲ知ルベキノミ

教祖ガ嚴酷ナル語ヲ用井ラレタル實例ハ何レニ於イテ之ヲ見ルベキカ序歌第四章四下リ目第壹章同第六章五下リ目第六章等ナルベシ是他人ニアリテハ通常ノ語ナルヲ教祖ハ以テ嚴酷ノ語トセラレタリ其ノ溫柔謙遜ノ盛徳ヲ觀ルベキナリ

七ッなんざするのこともろからわがみうらみであるはどに

此ノ章ノ大意ハ諸ノ苦患ハ多ク我等自心ノ所造ナルコトヲ示サレタルナリ
なんざするのこともろからトハ諸ノ苦患ハ多ク我等ノ心ヨリ生ズル

故ニト言フ意ナリわがみうらみであるはどにトハ自ラ怨ムベクシテ他ヲ怨ムベカラズトノ義ナリ
罪惡及ビ禍害ハ盡ク我等人間ノ心ノ所造ナリトハ謂ヒ得ベカラザレドモ多クハ心ノ所造ナリト謂フヲ得ベシ何トナレバ上ニ解説セルガ如ク自然界ノ苦ノ如キ老死ノ苦ノ如キ愛別ノ苦ノ如キ自由ヲ得ザル苦ノ如キハ即チ是我等人間ガ此ノ世界ニ係屬スル必然ノ苦ナレドモ八個ノ欲塵ヨリ生ズル一切罪惡ノ苦患ハ生理的ト心理的トチ問ハズ皆是我等ガ心ノ所造ナレバナリ而シテ天啓ノ教ヲ信受シテ安心立命確立スルトキハ自然界ノ苦老死ノ苦愛別ノ苦自由ヲ得ザル苦ノ如キモ永遠不滅ナル希望ノ爲ニ征服セラレテ復心理的苦患タラザルベシ然レバ天啓ノ教ヲ信受セザレバ苦患繼續スベケレドモ天啓ノ教ヲ信受スレバ苦患消滅スベキナリ之ヲ要スルニ苦患ノ繼續スルハ天啓ノ教ヲ信受セザル罪ニシテ是亦我等心ノ所造ナリ

八ッやまひはつらいものなれどもをしりたるものはない

此ノ章ノ大意ハ疾病ハ苦患ナレドモ世人疾病ノ源ヲ知ラザルコトヲ示サレタルナリ

やまひはつらいものなれどトハ疾病ハ苦患ナレドモト言フ意ナリもををしりたるものはないトハ疾病ノ本源ヲ知リタルモノハナシトノ義ナリ

本章及ビ次章ノ旨趣ハ總括シテ之ヲ下ノ第十章ノ下ニ解説スベシ

九ッこのたびまではいちれつにやまひのものはしれなんだ

此ノ章ノ大意ハ我等疾病ノ本源ハ教祖ガ天啓ヲ受ケテ救済ノ教ヲ宣布シ給フ迄ハ知ラレザリシコトヲ示サレタルナリ

このたびまではトハ教祖ノ教ヲ宣布シ給ヒタル初ヲ言フナリいちれつハ前釋ノ如シやまひのものはしれなんだトハ疾病ノ本源世ニ知ラレザリキト言フ義ナリ

十ッこのたびあらはれたやまひのものはころから

此ノ章ノ大意ハ我等疾病ノ本源ハ多ク心ノ所造ナルコトヲ示サレタルナリ

このたびハ上釋ノ如シやまひのものはころからトハ疾病ノ本源ハ心ニ在リト言フ意ナリ

疾病ノ本源ハ心ニ在リト言フヲ以テ一ノ天啓トセラレタルバ心ト病トノ關係ニ至リテハ今日醫學ガ既ニ發見シタル理法ノ外更ニ一層微密ノ關係アルヲ知ルベシ今述義者ノ意ヲ以テ之ヲ解説センニ上ニ一言シタルガ如ク多クノ心理的苦痛ハ變ジテ生理的苦痛タラントスル

傾向アルモノナリ又多クノ生理的苦痛ハ變ジテ心理的苦痛タラント
 スル傾向アルモノナリ是蓋シ心身關係ノ理法ニ基ク者ナリカノ八個
 ノ欲塵ハ皆是第一ニハ心ノ苦痛ヲ生ズル原因ニシテ轉ジテ又身ノ苦
 痛ヲ生ズル原因ナルヲ知ルベシ然レドモ是多クノ疾病ニ就キテ言フ
 モノニシテ總ベテノ疾病ニ就キテ言フモノニアラザルベシ何トナレ
 バ疾病ノ或ルモノハ外界種々ノ禍ト同シク自然界ノ苦ニ屬スレバナ
 リ

我ガ天理教ハ一大宗教ナリ精神界ノ大革命ヲ以テ自ラ任ズルモノナ
 リ罪惡及ビ禍害ヲ擺脫スルヲ以テ目的トスルモノナリ豈世間ノ醫ニ
 代リテ疾病ヲ治療スルヲ以テ事トセンヤモシ我ガ天理教ヲ以テ或ル
 意味ニ於ケル醫ナリトセバ醫ノ醫ナリト稱スルコソ適當ナラメ何ト
 ナレバ我ガ天理教ハ神ノ恩寵ニヨリテ罪惡及ビ禍害ノ本源ヲ斷除ス
 ルヲ以テ目的トスレバナナリ然レバ罪惡及ビ禍害ノ外ニ發生シ人力ヲ
 以テ排除スベキモノハ之ヲ世ノ國家ニ委託スルガ如ク疾病ノ現ニ發

生シ世間ノ學術ニヨリテ治療スベキモノハ之ヲ世ノ醫藥ニ委託スル
 モノナリ要スルニ人力ニヨリテ排除セラル、罪惡及ビ禍害ハ人力ニ
 ヨリテ之ヲ排除シ唯人力ニヨリテ排除スベカラザル罪惡及ビ禍害ノ
 本源ハ非人力的救濟即チ神ノ救濟ニ依頼スルナリ是ノ如クナレバ疾
 病既ニ生シテ醫藥ヲ用ウルヲ教徒ニ禁ズルガ如キハ獨國法ニ觸ル、
 ノミナラズ神ノ救濟ヲ以テ本領トスル宗教トシテ斷ジテ之ヲ爲スベ
 キニ非ザルナリ

從來我ガ天理教ガ總ベテノ禍害中獨疾病ト特殊ノ關係ヲ有スルガ如
 ク世人チシテ誤解ヲ生ゼシメタルモノハ是二下リ目第七章及ビ第八
 章ニ解説シタルガ如ク變態不完全苦痛ノ三大意義ニヨリ疾病ヲ以テ
 總ベテノ禍害ヲ代表セシムルニヨルナリ此ノ代表ノ意義ヲ明ニ理會
 スルモノハ再ビ此ノ誤解ヲ生ゼザル可キナリ

十一 下り目

一ッひのもとしよやしきのかみのやかたのち
ばさため

此ノ章ノ大意ハ信仰ヲ鞏固ニシテ心ノ改造ヲ行ヒ以テ國家ノ富強教
會ノ隆盛ヲ期スベキコトヲ譬喩ヲ以テ示サレタルナリ
ひのもこハ日本ナリしよやしきハ教會本部所在ノ地名ナリかみのや
かたハ神殿ナリちばさためトハ地固ノ事ナリ
神殿ヲ建築セントスルモノハ先ヅ地固ヲ行ヒテ其ノ基礎ヲ鞏固ニス
心ヲ改造セント欲スルモノハ先ヅ信仰ヲ定メテ其ノ根底ヲ確立ス本
章ハ即チ心ノ改造ヲ以テ神殿ノ建築ニ比シ地固ヲ以テ信仰ノ基礎ヲ
定ムルニ喩ヘラレタルナリ其ノ心ノ改造ヲ神殿ノ建築ニ比セラレタ
ルハ二下り目第二章ニ解説シタルガ如ク欲塵ノ爲ニ汚壤腐蝕セラレ
タル我等ノ心ヲ修復シテ智徳ノ光輝ヲ發セシメ神ノ住ミ給フベキ清

淨ナル宮殿トスルガ故ナリ而シテ本章ノ譬喩ハ獨是ノミニ止マラズ
 更ニ一步ヲ進メテ心ノ改造ヲ地固ニ比シ國家ノ經營ト教會ノ結成ト
 ナリテ神殿ノ建築ニ比セラレタリ蓋シ國家ノ經營成リテ其ノ富強増
 進シ寰宇ニ雄視スルニ至ル所以ノモノハ獨財力ノ充實兵備ノ完成人
 口ノ増殖版圖ノ擴張等ノ如キ物質的發達ノ致ス所ノミニ非ズ主トシ
 テ敬神尊皇仁愛勤儉等ノ美德即チ精神的發達ニ因ラズンバアラズ而
 シテ此等ノ美德ハ實ニ人心ノ改造ヨリ生ジ來ルナリ是人心ノ改造ヲ
 基礎トシテ國家ノ富強ヲ期スベキ所以ナリ人心既ニ改造セラレ、ト
 キハ國家ノ富強ヲ來スノミナラズ教會到ル處ニ結成セラレ本教ハ終
 ニ世界ノ宗教ヲ統一スルニ至ルベシ是人心ノ改造ヲ基礎トシテ教會
 ノ隆盛ヲ期スベキ所以ナリ然ラバ何ナリテ神殿ヲ我が國家ノ譬喩ト
 セラレタルヲ知ルカ曰ハクかみのやかたニ冠スルニひのもごノ語ヲ
 以テセラレタルハ是其ノ明証ニ非ズヤ日本ノ神殿ハ即チ日本帝國ノ
 表象ナリ國家ヲ神殿ト稱シテ之ヲ聯結セルハ皇國ハ現御神トマシマ

ス 天皇陛下ノ高天原ニ千木高知リ下津磐根ニ宮柱太知リ立テ、天
 壤無窮ニ統治シ給フ所ナレバナリ又何ナリテ神殿ヲ以テ我が教會ノ
 譬喩トセラレタルヲ知ルカ曰ハクかみのやかたニ冠スルニしよやし
 きノ語ヲ以テセラレタルハ是亦其ノ明証ニ非ズヤ庄屋敷ナル神殿ト
 ハ我が天理教會ノ表象ナルコト言ヲ俟タザルナリ抑モ神殿ト稱シテ
 人心ニ比シ日本ノ神殿ト稱シテ日本帝國ニ比シ庄屋敷ノ神殿ト稱シ
 テ我が天理教會ニ比セラレタルハ其ノ言微ニシテ其ノ旨甚ダ深シ玩
 味セザルベカラズ
 凡ソ我が天理教徒タル者ハ教祖ノ導キ給フガ隨ニ信仰ノ心ヲ鞏固ニ
 シテ神ノ救濟ノ恩寵ヲ迎ヘ其ノ靈化ヲ被リテ心ノ改造ヲ成就シ又之
 ナリテ國家經營ノ基礎トナシ其ノ富強ヲ増進シテ皇威ヲ宇内ニ發揚
 シ又之ヲ以テ教會結成ノ基礎トナシ其ノ隆盛ヲ致シテ世界ノ宗教ヲ
 統一セシメンコト猶堅固ナル地盤ノ上ニ萬人ノ環瞻景仰スベキ巍然
 タル一大神殿ヲ建立スルガ如クナラザルベカラザルナリ

二ツふうふそろうてひのきしんこれがない
ちものたねや

此ノ章ノ大意ハ夫婦力ヲ戮セテ献身的労働ニ従事スルハ善福ノ本源ナルコトヲ示サレタルナリ
ふうふそろうてひのきしんトハ夫婦相共ニ力ヲ戮セテ献身的労働ニ従事スルヲ言フナリこれがだいいちものたねやトハ救済ノ恩寵ヲ被ル本源ニシテ又國家富強ノ基ナリトノ義ナリ
夫婦ノ和合ハ本教ノ最モ重シトスル所ナリ而シテ其ノ互ニ力ヲ戮セテ献身的労働ニ従事スルハ心ヲ道ニ一ニスルモノニシテ精神的結合是ヨリ強固ナルハナシ此ノ精神的結合ハ神人ノ結合ヲ成シテ救済ノ恩寵ヲ迎フルニカアルコト序歌第二章及ビ四下リ目第二章ニ解説シタルガ如シ又献身的労働ノ永久不滅的ナル救済ノ恩寵ヲ迎フル所以ナルコト三下リ目第八章ニ之ヲ解説セリ本章ハ實ニ此ノ精神的結合

ニ加フルニ献身的労働ヲ以テス豈救済ノ恩寵ヲ被ル最大本源ニ非ズヤ而シテ夫婦和睦シテ献身的労働ニ従事スルハ唯一身幸福ノ本ナルノミナラズ國家富強ノ源亦此ニ在ルナリ
前章ニハ信仰ヲ以テ心ノ改造ノ基礎トスベキヲ示シ本章以下第八章ニ至ルマデ皆献身的労働ニ關スル事ヲ示サレタリ是信仰ハ献身的労働ト相伴フニ非ザレハ其ノ勢力甚ダ微弱ナルヲ以テ反覆丁寧ニ献身的労働ノ事ヲ顯示シ以テ信仰ノ義ヲ完全ニセラレタルナリ又此ノ献身的労働ノ始ニ本章アルモノハ序歌第二章ニ夫婦和合ノ顯示アルガ如ク我が救済教ノ最モ重ンズル所ナルヲ以テナリ

三ツみればせかいがたんぐともつこになうて
ひのきしん

此ノ章ノ大意ハ世人ノ献身的労働ニ従事スルモノ漸ク多クナレルコトヲ示サレタルナリ

みればせかいがだんくミトハ世人ノ献身的労働ニ従事スルモノ漸ク多キヲ見ルトノ意ナリもつこになうてトハ春ヲ擔ヒテトイフコトニテ卑賤ノ業ニ服シテ辛苦ヲ辭セザルヲ云フ譬喩ナリ春ヲ擔フヲ以テ譬喩トセラレタルハ第一章ニ地固ノ譬喩ヲ用ヰラレタルニ因ルナリ

我等教徒ガ卑賤ノ業ニ服シ辛苦ヲ辭セズシテ献身的労働ニ従事シ社會及ビ國家ノ爲ニ働クハ相互ノ同情ヲ喚起スルコト是ヨリ大ナルハナシ精神的結合ニ關シテ夫婦ノ愛情ニ次グモノハ人類ノ同情ナリ是上章ニ夫婦ノ愛情ヨリ生ズル献身的労働ヲ示シ本章ニ又人類ノ同情ヲ進ムル献身的労働ヲ示サレタル所以ナリ抑モ献身的労働ハ三下リ目第八章ニ解説シタルガ如ク勞力又ハ事業ヲ以テ犠牲トシテ神ニ捧グルタイフ而シテ今之ヲ社會及ビ國家ニ對スル事業ニ用ヰタリ蓋シ私利私欲ノ念ヲ抛テテ社會及ビ國家ノ爲ニ竭スハ謂ハユル奉公ノ義務ニシテ最モ我ガ教同情ヲ主トスル旨趣ニ合スルナリ

本章ニ世界萬民ガ献身的労働ニ従事スルハ救濟ノ恩籠ヲ被ル本源ナリト明示セラレザルハ上章ト同一ノ旨趣ナレバ文義省略ニ從ハレタルノミ

四 ッよくをわすれてひのきしんこれがたい ちこえとなる

此ノ章ノ大意ハ献身的労働ハ私利私欲ナキヲ以テ第一義トスルコトヲ示サレタルナリ
よくをわすれてトハ私欲ヲ忘レテト言フ義ナリこれがたいちこえ
こなるトハ私欲ナキ献身的労働ハ救濟恩籠ノ種子ヲ培養スル所以ナ
リトノ意ナリ

献身的労働ニシテ自他共ニ欲望アリトセバ唯救濟ノ恩籠ヲ益享受セ
ントスル欲望アルノミ此ノ欲望ハ人類真正ノ欲望ニシテ八個人欲塵
トハ毫モ相涉ラザルモノナリ然レバ本章ノこえトハ即チ肥料ニシテ

蓋シ救濟ノ恩寵ヲバ一下リ目ノ如ク種子ニ譬ヘ献身の勞働ヲバ肥料ニ譬ヘテ献身の勞働ハ救濟ノ恩寵ヲ培養スルモノナルコトヲ顯示セラレタルナリ

他宗教ニハ往々此ノ世界ノ罪惡及ビ禍害ヲ見テ厭離ノ念ヲ生ジ人世ヲ幻視シ勞働ヲ輕ンズル傾向アルモノアリ之ニ反シテ我が救濟教ハ我等人類ハ罪惡及ビ禍害ニ對シ神ノ恩寵ニヨリ最後ノ戰勝ヲ奏スベシト教フルヲ以テ勞働ヲ重ンズル精神ヲ生ズ蓋シ献身の勞働ニアラザレハ獨一身ノ幸福一國ノ富強ヲ増進スルコト能ハザルノミナラズ抑モ又此ノ世界ハ即チ是最上樂土ナリトノ理想ヲ實現スルコト能ハザルナリ

五ッいつくまでもつちもちやまたあるならばわしもゆこ

此ノ章ノ大意ハ教徒先チ爭ヒテ献身の勞働ニ從事スルコトヲ示サレ

タルナリ

いつくまでもトハ其ノ久シキニ涉ルヲ言フ即チ社會及ビ國家ハ悠久ナルモノナレバ之ガ爲ニスル献身の勞働モ亦悠久ナルヲ言フナリつちもちトハ春ヲ擔フト同ジク卑賤ノ業ニ服シ辛苦ヲ辭セズシテ献身の勞働ニ從事スルコトノ譬喩ナリまだあるならばわしもゆこトハ其ノ事業猶繼續セバ我モ亦歡欣踊躍シテ献身の勞働ニ赴カントノ意ナリ

我等教徒ガ献身の勞働ニ赴クハ猶軍人ノ戰ニ赴クガ如シ軍人ハ軀命ヲ捐テザレバ戰フコト能ハザルガ如ク我等教徒ハ私欲ヲ抛テザレバ勞働スルコト能ハズ軍人ハ勇氣發揚セザレバ戰フコト能ハザルガ如ク我等教徒モ亦奮躍シテ先チ爭フニアラザレバ勞働スルコト能ハズ而シテ軍人ガ戰爭ノ目的ハ國家ノ爲ニ戰勝スルニ在リ我等教徒ガ勞働ノ目的モ亦神ノ恩寵ノ爲ニ戰勝スルニ在リ本章未ダ此ノ比喩ヲ舉ゲラレザレドモまだあるならばわしもゆこ一語ハ奮躍爭先ノ意ヲ

六ッむりにとめるやないほどにこゝろあるならたれなりと

此ノ章ノ大意ハ献身的労働ハ我等教徒ノ自由ニ任せ給フコトヲ示サレタルナリ

むりにとめるやないほどにトハ自ラ好ミテ來ルモノハ之ヲ拒ミ給ハザルヲ言フナリこゝろあるならたれなりトハ其ノ志アルモノハ誰人ニテモ献身的労働ニ従事スベシトノ意ナリ

教祖ハ之ヲ勸メ給ハズ亦之ヲ拒ミ給ハズ而シテ我等信仰ヨリ起リ其ノ事ニ従フハ眞ニ是ひのきしんナリ蓋シ之ヲ勸ムルトキハ私欲アルモノ或ハ其ノ中ニアルコトヲ免レザルベク之ヲ拒ムトキハ私欲ナキモノ或ハ其ノ志ヲ達スルコトヲ得ザルベシ而シテ此ノ二者ハ皆献身的労働ニ害アルナリ

七ッなにかめづらしつちもちやこれがきしん
となるならば

此ノ章ノ大意ハ献身的労働ナルトキハ卑賤ノ業務モ深廣ナル意義ヲ有スルコトヲ示サレタルナリ

なにかめづらしトハ擔土ノ如キ卑賤ナル労働ニ深廣ナル意義ヲ有スルヲ言フつちもちハ前釋ノ如ク卑賤ナル業務ニ服スルコトノ譬喩ナリこれがきしんとなるならばトハ此ノ卑賤ナル業務ニ服スルコトノ献身的労働タルヲ得バ必ず其ノ中ニ於イテ深廣ナル意義アルナラントノ義ナリ

擔土ノ如キ甚ダ卑賤ニシテ微小ナル事業モ满腔ノ赤誠ヲ以テ之ニ従事シ一毫モ私欲ノ其ノ間ニ存セザルトキハ即チ眞ニ献身的労働ノ義ニ適ヒ其ノ結果ハ一身ニアリテハ神ノ救済ノ恩寵ヲ迎フル本トナリ一國ニ在リテハ文化富強ノ基トナルベシ何トナレバ苟モ誠ヲ以テセ

バ一簣ノ擔土モ以テ幸福ノ地盤ヲ作ルベク以テ國家ノ基礎ヲ固ムルニ足ルベケレバナリ豈深廣ナル意義ナシトセンヤ若シソレ献身的勞働ナラザル事業ハ如何ニ高尚ニシテ且偉大ナリトモ私利私欲ノ念ヲ去ラザルガ故ニ教ノ爲國ノ爲毫モ益スル所無カルベキナリ

八ッやしきのつちをほりとりてところをかへるばかりやで

此ノ章ノ大意ハ献身的勞働ニ從フモノハ卑賤ノ業ヲ辭セザルベキコトヲ譬喩ヲ以テ示サレタルナリ

やしきハ屋敷ナリつちをほりとりてハ擔ハントスル土ヲ掘り取ルナリところをかへるばかりやでトハ此ノ所ノ土ヲ取りテ彼ノ所ニ運ブニ過ギズトノ意ナリ

前章ニハ擔土ヲ以テ卑賤ノ業ニ譬ヘ本章亦其ノ意ヲ受ケ地固ノ事ヲ假リテ義ヲ示サレタリ凡ソ地固ノ業タル甲處ノ土ヲ乙處ニ運ブニ過

ギザレバ其ノ事甚ダ單純界近ニシテ思慮ヲ勞スル所ナシ而モ其ノ献身的勞働ナル以上ハ自ラ深廣ナル意義ヲ有スルナリ故ニ我等教徒ノ献身的勞働ニ從事スル唯其ノ誠ノ足ラザルヲ憂ヘンノミ業務ノ如何ハ固ヨリ問フベキ所ニ非ザルナリ

第三章第五章及ビ前章ニハ地固ニ關スル擔土ノ事ヲ假リテ献身的勞働ヲ説キ本章亦地固ノ事ヲ假リテ献身的勞働ヲ示サレタリ是皆卑賤ノ業務ノ譬喩ナルコト前釋ノ如シ然レドモ又一ハ地固ノ事ヲ以テ總ベテノ献身的勞働ヲ代表セシメラレタルモノナリ凡ソ献身的勞働ヲ代表スルモノハ地固ノ事ニ如クハナシ地固ニハ左ノ意義アリ第一地固ハ造營ニ就キテ最大要事ナリ何トナレバ造營ノ地盤ニシテ鞏固ナラザランニハ如何ナル宏大壯麗ノ建物ヲ設クトモ動搖顛覆ヲ免レザルベケレバナリ然レドモ建築ノ功ハ顯レテ見ルベク地固ノ功ハ隱レテ見ルベカラズ凡ソ教祖ノ教ニ於イテ献身的勞働ニ從事スルモノハ顯レテ見ルベキ功ヲ擇マンヨリ寧口隱レテ見ルベカラザル功ヲ擇マ

ザルベカラズ然ラザレバ是未ダ献身的労働ノ意義ニ合フコト能ハザレバナリ第二地ノ粗密ト土ノ重量トハ一定不變ノ關係ヲ有ス若干ノ土量ヲ運搬セザレバ若干ノ地盤ヲ密固ニスルコト能ハズ是ノ如クシテ地固ノ事ハ労働効果俱ニ確實ナルコトヲ代表スルナリ凡ソ教祖ノ教ニ於イテ献身的労働ニ従事スルモノハ奇功ヲ貪ラズ虚名ヲ儉マズ労働効果俱ニ確實ナルコト地固ノ如クナラザルベカラズ第三地固ノ効果ハ萬人共同ナリ甲ハ乙ヨリ多ク働キタリ乙ハ甲ヨリ少ク働キタリト差別ノ存スルモノナシ要スルニ献身的労働ニ従事スルモノハ毫モ功ヲ争フ心アルベカラズ蓋シ功勞ノ大小ハ唯神之ヲ照鑒シ給フノミ地固ノ献身的労働ヲ代表スルハ以上三事ニ就キテ見ルベキナリ

九ッこのたびまではいちれつにむねがわからんざんねんな

此ノ章ノ大意ハ教祖天啓ノ教ヲ宣布シ給フ時マデハ世人未ダ全ク教

ノ奥義ヲ信受スルコト能ハザリシヲ示サレタルナリ
 このたびまでトハ天啓ノ教ヲ宣布セラレタル時ヲ指スナリいちれつにむねがわからんトハ世人一般未ダ天啓ノ教ヲ信受セズシテ闇黒ト懷疑トノ中ニ在ルヲ言フナリざんねんなハ誠ニ惜ムベシトノ意ナリ
 教祖天啓ノ教ヲ説キ救済ノ恩寵ヲ宣布シ給フ時ニ至ルマデハ世人未ダ教旨ヲ解セズ從ヒテ献身的労働ニ従事シテ救済ノ恩寵ヲ迎フルコトヲ知ラズ罪惡禍害ノ中ニ彷徨シタリキ而シテ今ハ世人漸ク教祖ノ教ヲ信シ献身的労働ニ従事スルモノ四方ニ競ヒ起ルニ至レリ然レバ此ニざんねんなト言ハレタルハ今日以前ノ世人ノ心ヲ歎セラレタルニテ今日以後ノ心ヲ悦ビ給ヘルハ亦言ヲ俟タザルナリ

十ッおとしはこえおかすおふんものをつくりとりやれたのもしやありがたや

此ノ章ノ大意ハ救済ノ恩寵ヲ感謝シ奉ルコトヲ我等ニ教ヘ給ヘルナ

こゝしハ救済ノ恩寵下レル歳ヲ言フナリこえおかずトハ肥料ヲ用
 ズシテト言フ義ナリじふぶんものをつくりこりトハ収穫豊富ナリト
 ノ義ナリやれたのもしやありがたやトハ神恩ノ依頼スベクシテ感謝
 ニ堪ヘズト言フ意ナリ
 人間ノ幸福國家ノ進運等ハ世人ノ同ジク目的トスル所ナレドモ神ノ
 特別ナル慈悲即チ救済ノ恩寵ニ依ラザレバ完全ニ之ヲ達スルコト能
 ハズ此ノ恩寵ハ萬善萬福ノ本源ニシテ生命アル種子ナリ故ニ人力ノ
 及バザル所モ能ク之ヲ達スルコトヲ得ルナリ之ヲ農作ニ譬フレバ一
 ハ肥料ヲ用井一ハ肥料ヲ用井ズシテ収穫豊饒ナルガ如シ今我等教徒
 教祖天啓ノ教ヲ信受シ献身的勞働ニ服シテ神ノ救済ノ恩寵ヲ迎ヘ人
 力以上ノ収穫ヲ得ルニ至レリ是實ニ神恩ノ依頼スベク感謝スベキ所
 以ナラズヤ

十二下り目

一ッいちにたいくのうかゞひになにかのこと
 もまかせおく

此ノ章ノ大意ハ教會及ビ教徒ノ指導ヲ以テ其ノ指導者タルベキ大工
 棟梁ノ聖職ニ任セ給フコトヲ示サレタルナリ
 いちにハ其ノ義專ラト言フニ同ジだいくのうかゞひになにかのこゝ
 もまかせおくとハ教會及ビ教徒ノ指導ニ關スル一切ノ事ヲ大工棟梁
 ノ聖職ヲ授ケラレタルモノニ任セ置クト言フ義ナリ
 上ニ教會ノ結成ヲ以テ造營ニ譬ヘラレタリ然レバ教祖ノ遺訓ヲ奉行
 シテ教會及ビ教徒ヲ指導スルモノハ是即チ大工棟梁ノ聖職ナリ
 二ッふしぎなふしんをするならばうかゞひた
 てゝいひつけよ

此ノ章ノ大意ハ心ノ改造モ教會ノ結成モ皆神意ニ依リテ之ヲ奉行スベキコトヲ示サレタルナリ

ふしぎなふしんとハ心ノ改造教會ノ結成ヲ言フナリうかゞひたて、いひつけよトハ神意ヲ仰ギテ之ヲ奉行セヨトノ意ナリ

大工棟梁ノ聖職ニ在ルモノガ教會及ビ教徒ニ關スル一切ノ事ヲ指導スル權能アルコト此ニ於イテ見ルベキナリ何トナレバ心ノ改造教會ノ結成悉ク其ノ指導ノ下ニ在レバナリ然ラバ大工棟梁ハ何ニ由リテ神意ヲ仰グベキカ曰ハク天啓ノ教ナリ天啓ノ外ニ神意ヲ仰グベキモノナキナリ

三ッみなせかいからたんぐときたるたいくにほひかけ

此ノ章ノ大意ハ教會ノ指導者タルベキ大工棟梁ノ聖職ヲ授クルニ堪フル材器アル者教會ニ來レバ意ヲ留メテ之ヲ薰陶スベキコトヲ示サ

レタルナリ

みなせかいからたんぐときたるだいくトハ他日大工棟梁ノ聖職ヲ授クルニ堪フル材器アルモノ漸々四方ヨリ教會ニ來ルヲ言フナリにほひかけトハ七下リ目第一章ニ解説シタルガ如ク微言ヲ以テ教ノ妙味ヲ悟ラシメ漸々之ヲ誘進セヨトノ義ナリ

四ッよきとくりやうががあるならばはやくこもとへよせておけ

此ノ章ノ大意ハ教會ノ指導者タルベキ大工棟梁ノ聖職ヲ授クルニ堪フルモノアラバ教會ノ中ニ招キ置クベキコトヲ示サレタルナリよきとくりやうトハ良棟梁ニシテ即チ大工ノ美稱ナリはやくこもとへよせておけトハ他日良棟梁タルベキ望ミアルモノハ速ニ之ヲ教會ノ中ニ招キ置ケトノ意ナリ

上章及ビ本章ノ旨趣ハ同一ナリ唯上章ハ良棟梁タルベキ望ミアルモ

ノヲシテ教ヲ聞カシムルコトヲ言ヒ本章ハ更ニ進ンデ之ヲ招キテ教會ノ中ニ置クベキコトヲ言ハレタリ是其ノ意淺キヨリ深キニ入レルナリ

抑モ本教ハ宇内公共ノ教ナレバ大工棟梁モ亦宇内公共ノ任ナリ故ニ教祖ノ大工棟梁タルベキ材器アルモノヲ求メ給フコト内外ヲ問ハズ親疎ニ間ナシ是ノ如クニシテ全世界人類ヲ包括スル教會ヲ設ケント欲シ給ヘリ教祖ノ規畫絶大ニシテ而モ大公無私ナルヲ見ルベキナリ

五 ッ いづれとよりやうがよにんいるはやくうかゝひたてゝみよ

此ノ章ノ大意ハ教會ノ指導者タルベキ大工棟梁ハ四人ヲ要スルコトヲ示サレタルナリ
いづれハ必定ナリこよりやうがよにんいるトハ四人ノ大工棟梁ヲ要スト言フ義ナリはやくうかゝひたてゝみよトハ速ニ神意ヲ奉ジテ之

ヲ定メヨトノ意ナリ

大工棟梁ノ聖職ニ在ルモノヲ四人ト定メラレタルハ如何ナル深意ナルカ知ルベカラズ或ハ四魂四徳ノ説ヲ以テ之ヲ解説セント試ムルモノアリ曰ハク荒魂ハ勇猛果斷ノ徳ナリ此ノ徳ヲ有スルモノニアラザレバ難ヲ排シ敵ヲ破ルコト能ハズ故ニ此ノ徳アルモノヲ教ニ用ウレバ即チ勇棟梁ヲ得ベキナリ和魂ハ和平仁愛ノ徳ナリ此ノ徳ヲ有スルモノニアラザレバ衆ヲ服シ人ヲ懷クルコト能ハズ故ニ此ノ徳アルモノヲ教ニ用ウレバ即チ仁棟梁ヲ得ベキナリ幸魂ハ福惠圓滿ノ徳ナリ此ノ徳ヲ有スルモノニアラザレバ好運ニ乗ジテ大事ヲ成スコト能ハズ故ニ此ノ徳アルモノヲ教ニ用ウレバ即チ福棟梁ヲ得ベキナリ奇魂ハ才智妙用ノ徳ナリ此ノ徳ヲ有スルモノニアラザレバ事ヲ謀リ變ニ應ズルコト能ハズ故ニ此ノ徳アルモノヲ教ニ用ウレバ即チ智棟梁ヲ得ベキナリト暫ク録シク参考ニ備フ

六ッむりにこゝとはいはんでないづれたんぐ
つきくるで

此ノ章ノ大意ハ教會ノ指導者タルベキ大工棟梁ノ聖職ヲ授クルニ堪
フルモノハ彼ガ自ラ來ルヲ待ナテ我ヨリ之ヲ強ヒザルコトヲ示サレ
タルナリ
むりにこいこはいはんでなトハ我ヨリ其ノ來ルヲ強ヒズト言フ意ナ
リいづれだんぐつきくるでトハ彼自ラ來ルベシトノ義ナリ
本章ノ旨趣ハ七下リ目第六章九下リ目第六章十一下リ目第六章ト同
一ナリ唯七下リ目第六章ハ救濟恩寵ノ信受ニ就キテ言ヒ九下リ目第
六章ハ教徒教ニ從フニ就キテ言ヒ十一下リ目第六章ハ献身的勞働ニ
就キテ言ヒ本章ハ大工棟梁ノ聖職ニ就キテ言ハレタリ是其ノ異ナル
所ナリ而シテ其ノ同シキ所ハ信仰ト意志トノ聯結ニ在リ蓋シ人ノ全
心ヲ主宰シテ行動ノ源タルモノハ意志ナリ此ノ意志ニシテ信仰ト聯

結セザレバ總ベテノ行動皆教ニ合ハザルナリ

七ッなにかめづらしこのふしんとかけたこと
ならきりはない

此ノ章ノ大意ハ心ノ改造モ教會ノ結成モ永遠無窮ノ事業ナルコトヲ
示サレタルナリ
なにかめづらしこのふしんとハ上ノ第二章ト同義ナリしかけたこと
ならきりはないトハ此ノ事業ヲ一タビ始ムレバ縣々トシテ繼續シ無
窮ニ至ルベシトノ義ナリ
心ノ改造教會ノ結成ハ我が天理教ノ大事業ニシテ人類世界ノ一大革
新ナリ然ルニ教祖ハ一日モ早ク此ノ大事業ヲ成就セシメントノ思召
ナレドモ皆是全世界ノ人類ニ關スルコトナレバ容易ニ其ノ成就ヲ望
ムベカラズ是本章此ノ事業ヲ一タビ始ムレバ縣々トシテ繼續シ無窮
ニ至ラントノ顯示アル所以ナリ

八ッやまのなかへとゆくならばあらきとうり
やうつれてゆけ

此ノ章ノ大意ハ創業開教ニハ勇氣アル指導者ヲ要スベキコトヲ譬喩
ヲ以テ示サレタルナリ

やまのなかトハ八下リ目第八章ノやまのなかト異ナリテ此處ニハ教
祖ノ教未ダ開ケザル地ニ喩ヘラレタルナリゆくとハ開教ノ爲ニ前往
スル意ヲ含ムあらきとうりやうトハ斧鋸ヲ用井斫伐ヲ事トスル樵夫
石工ノ類ニシテ此處ニハ勇氣アル大工棟梁ニ喩ヘラレタルナリつれ
てゆけトハ件ヒ行クベシトノ義ナリ

九ッこれはとぎいくととりやうやたてまへと
うりやうこれかな

此ノ章ノ大意ハ細匠ノ指導者モ經營ノ指導者モ勇氣アル指導者ト共

ニ教ノ有用ナル器ナルコトヲ譬喩ニテ示サレタルナリ

とぎいくととりやうトハ精細ナル仕事ナスル大工ナリたてまへと
うりやうトハ全局ノ仕上ナスル大工ナリかなハ即チ鉋ニシテ此ノ二
種ノ大工が使用スル器ナリ

人ノ資質ハ同シカラズ或ハ天性勇氣アリテ氣力壯鋭ナルモノアリ此
ノ種ノ人ヲ教ニ用ウレバ信仰熱烈ニシテ炎ユルガ如ク難險ヲ憚ラズ
危難ヲ避ケズ勇往猛進シテ教徒ヲ策勵シ教敵ヲ破摧シテ創業開教ノ
事業ニ任ズベシ是あらきとうりやうナリ或ハ器識宏深ニシテ思慮周
密ナルモノアリ此ノ種ノ人ヲ教ニ用ウレバ堅固ナル信仰ト明敏ナル
才能トヲ以テ教徒ヲ訓練シ教務ヲ整理シテ教會全體ヲ指導スル任務
ニ當ルベシ是たてまへととりやうナリ或ハ一事ニ長シ一藝ニ達スル
モノアリ此ノ種ノ人ヲ教ニ用ウレバ種々ノ方面ニ於イテ必要ナル働
キヲ顯スベシ是とぎいくととりやうナリ此ノ三種ノ人ハ資質ニ於イテ
同シカラザレドモ大工棟梁ノ聖職ヲ授ケラル、ニ及ビテハ皆是所長

ニ從ヒテ教ニ對シ有用ノ材器トナルベキモイナリ

十^トこのたびいぢれつにたいくのじんもそろひきた

此ノ章ノ大意ハ教會ノ指導者タルベキ三種ノ大工棟梁皆已ニ備ハリタルコトヲ示サレタルナリ

このたびハ教祖此ノ教訓ヲ垂レ給ヘル時ヲ指スナリだいくのにんとハ四人ノ大工棟梁ニアラズシテ三種ノ大工棟梁ナリ

教祖曰ハク教ヲ弘ムルハ易ク大工棟梁ヲ得ルハ難シト蓋シ多數ノ教徒ヲ招キタリトモ之ヲ薰陶シ之ヲ訓練シ之ヲ指導スル大工ナケレバ猶大軍ヲ集メテ之ヲ統率スル將帥ナキト一般ナラン將帥ナキ軍隊如何ニ多勢ナレバトテ豈能ク勝ヲ制シ敗ヲ救ハンヤ教祖救済ノ恩籠ヲ世界ニ宣布シ給ヒシ初ヨリ數十年間弟子ヲ養成セラレタルヲ以テ悉ク有用ノ材器ヲナシテ教ノ爲ニ非常ナル働ヲ顯シタリ是著キ事實ナ

リ而シテ尙教ハ弘メ易ク大工棟梁ハ得難シトノ歎ヲ發セラレタリ大工棟梁ノ重ンズベクシテ其ノ養成ノ忽ニスベカラザルコト此ニ於イテ見ル可キナリ

御神樂歌述義 終

明治三十九年十二月一日印刷
明治三十九年十二月三日發行

奈良縣山邊郡丹波市町大字三嶋

編輯者兼

中山新治郎

東京市神田區五軒町壹番地

印刷者

原繁造

東京市神田區五軒町壹番地

印刷所

原活版所

224
181

